

調布市

子どもの生活実態に関する調査
(ヤングケアラー実態調査)

報 告 書

令和5年3月

調布市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的と方法	1
(1) 調査の背景と目的	1
(2) 調査の対象と方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 配布・回収状況	2
◆ 調査結果の見方について	2
《参考》ヤングケアラーのイメージ（例）	3
2 調査結果の概要	4
(1) 世話をしている家族の有無	4
(2) 世話をしている相手	4
(3) 世話を必要としている理由	5
(4) 世話をしている頻度	6
(5) 世話をしている時間	6
(6) 世話をすることによる生活への影響	7
(7) 世話について感じていること	9
(8) 支援してほしいこと	9
(9) 希望する相談方法	11
(10) ヤングケアラーという言葉の認知	12
(11) ヤングケアラーの自覚	12
3 調査のまとめ	13

第2章 調査結果

1 小学生調査	15
(1) 基本情報	15
ア 学年	15
イ 性別	15
ウ 家族構成	16
エ 体調について	17
(2) ふだんの生活について	18
ア 学校を休むことがあるか	18
イ 遅刻や早退の有無	18
ウ 塾や習い事，クラブ活動，部活動などを行っているか	19
エ 学校生活の問題点	19
オ 悩みや困りごとの有無	20
カ 相談相手の有無	21
キ 相談先の認知状況	21
(3) 家族や家のことについて	22

ア	家族の世話をしているか	22
イ	世話をしている相手	23
ウ	世話を必要としている理由	24
エ	どのような世話をしているか	26
オ	一緒に世話をしている人	27
カ	世話をする頻度	28
キ	世話をすることで困ること	29
ク	世話をすることに大変さを感じているか	30
ケ	世話の悩みを相談したことがあるか	31
コ	相談した相手	32
サ	相談していない理由	33
シ	世話について聞いてくれる人がいるか	34
ス	学校や周りの大人にしてもらいたいこと	35
セ	希望する相談方法	36
2	中学生調査	37
(1)	基本情報	37
ア	学年	37
イ	性別	37
ウ	家族構成	38
エ	体調について	39
(2)	ふだんの生活について	40
ア	学校を休むことがあるか	40
イ	遅刻や早退の有無	40
ウ	塾や習い事，クラブ活動，部活動などを行っているか	41
エ	学校生活の問題点	42
オ	悩みや困りごとの有無	43
カ	相談相手の有無	44
キ	相談先の認知状況	44
(3)	家族や家のことについて	45
ア	家族の世話をしているか	45
イ	世話をしている相手	46
ウ	世話を必要としている理由	47
エ	どのような世話をしているか	49
オ	一緒に世話をしている人	50
カ	世話をする頻度	51
キ	世話をすることで困ること	53
ク	世話をすることに大変さを感じているか	54
ケ	世話の悩みを相談したことがあるか	54
コ	相談した相手	55
サ	相談していない理由	56

シ	世話について聞いてくれる人がいるか	57
ス	学校や周りの大人にしてもらいたいこと	57
セ	希望する相談方法	58
(4)	ヤングケアラーについて	58
ア	「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか	58
イ	「ヤングケアラー」という言葉を知った方法	59
ウ	自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか	60
(5)	自由意見	61
3	高校生世代調査	63
(1)	基本情報	63
ア	学年	63
イ	性別	63
ウ	家族構成	64
エ	健康状態	65
(2)	ふだんの生活について	66
ア	通学等の状況	66
イ	遅刻や早退の有無	66
ウ	部活動等への参加状況	67
エ	学校生活等の問題点	67
オ	悩みや困りごとの有無	68
カ	相談相手の有無	69
キ	相談先の認知状況	69
(3)	家族や家庭のことについて	70
ア	家族の世話をしているか	70
イ	世話をしている相手	71
ウ	世話を必要としている理由	72
エ	どのような世話をしているか	73
オ	一緒に世話をしている人	74
カ	世話をする頻度	75
キ	世話に費やす時間	76
ク	世話をすることで困ること	77
ケ	世話をすることに大変さを感じているか	78
コ	世話の悩みを相談したことがあるか	78
サ	相談した相手	79
シ	相談していない理由	80
ス	世話について聞いてくれる人がいるか	81
セ	学校や周りの大人にしてもらいたいこと	82
ソ	希望する相談方法	83
(4)	ヤングケアラーについて	84

ア 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか	84
イ 「ヤングケアラー」という言葉を知った方法	85
ウ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか	86
(5) 自由意見	86
4 大学生世代調査	90
(1) 基本情報	90
ア 年齢	90
イ 性別	90
ウ 家族構成	91
エ 健康状態	92
(2) ふだんの生活について	93
ア 通学状況	93
イ 遅刻や早退の有無	95
ウ 悩みや困りごとの有無	97
エ 相談相手の有無	98
(3) 家族や家庭のことについて	98
ア 家族の世話をしているか	98
イ 世話をしている期間等	99
ウ 世話をしている相手	103
エ 世話を必要としている理由	104
オ どのような世話をしているか	105
カ 世話をすることで困ること	106
キ 世話をすることに大変さを感じているか	108
ク 世話の悩みを相談したことがあるか	112
ケ 世話について聞いてくれる人がいるか	113
コ 学校や周りの大人にしてもらいたいこと	114
サ 希望する相談方法	115
(4) ヤングケアラーについて	116
ア 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか	116
イ 「ヤングケアラー」という言葉を知った方法	117
ウ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか	118
(5) 自由意見	119

資料編

1 小学生調査内容	123
2 中学生調査内容	131
3 高校生世代調査内容	140
4 大学生世代調査内容	149

第 1 章

調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 調査の背景と目的

ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があることから、実態の把握及び支援の強化が求められている。

本調査は、調布市におけるヤングケアラーと思われる子どもに関する状況を把握し、ヤングケアラーと思われる子どもの早期発見・支援につなげる仕組みづくりの検討を行うため、小中学生、及び高校生・大学生世代に対して実態調査を実施した。

(2) 調査の対象と方法

調査対象	対象者	調査方法
小学生	市立小学校 5年生、6年生児童	インターネット回答のためのQRコードを印字した依頼状を学校で配布し、学習用タブレット端末を用いて、学校にて回答。
中学生	市立中学校 全生徒	インターネット回答のためのQRコードを印字した依頼状を学校で配布し、学習用タブレット端末を用いて、学校にて回答。
高校生世代	令和5年1月4日時点で市内に住所登録のある高校1・2・3年生世代の市民	インターネット回答のためのQRコードを添付した依頼状を郵送配布し、個別のスマートフォンやタブレット端末等で回答。
大学生世代	令和5年1月4日時点で市内に住所登録のある大学1・3年生世代の市民	インターネット回答のためのQRコードを添付した依頼状を郵送配布し、個別のスマートフォンやタブレット端末等で回答。

(3) 調査期間

小中学生：令和5年1月25日～令和5年2月6日

高校生・大学生世代：令和5年2月13日～令和5年2月28日

(4) 配布・回収状況

調査の種類	配付数	回収数	回収率
小学生調査	3,615	2,865	79.3%
中学生調査	4,502	3,409	75.7%
高校生世代調査	5,681	1,123	19.8%
大学生世代調査	4,590	628	13.7%

◆ 調査結果の見方について

- 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)を全て合計しても、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがある。
- クロス集計などの表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が%(小数点第1位まで)を表示している。
- 回答結果を見やすくするために、グラフや表等で回答のなかった選択肢や無回答など一部の項目を省略している場合がある。
- 一部の設問では、国が行った調査*との比較を行っている。設問文は本市のものを表示しているので国の文言と異なる場合がある。

※国が行った調査

小学生調査＝小学生の生活についてのアンケート調査(令和3年度)

中学生調査＝中高生の生活実態に関するアンケート調査(令和2年度)

高校生世代調査＝同上

大学生世代調査＝大学生の生活実態に関するアンケート調査(令和3年度)

《参考》ヤングケアラーのイメージ（例）



しょうがい びょうき
障害や病気のある
かぞく か 家族に代わり、買い物・
りょうり そうじ せんたく
料理・掃除・洗濯など
かじ の家事をしている。



かぞく か おきな
家族に代わり、幼
いきょうだいの
せわ 世話をしている



しょうがい びょうき
障害や病気のある
いきょうだいの世
わ おみまも
話や見守りをして
いる



め はな かぞく
目を離せない家族の
みまも こえ
見守りや声かけなど
の気づかいをしている



にほんご だいいちげんご
日本語が第一言語で
かぞく しょうがい
ない家族や障害の
かぞく
ある家族のために
つうやく
通訳をしている



かけい きさ
家計を支えるため
るうどう して、障
害や病気のある
かぞく たす
家族を助けている



アルコール・やくぶつ
薬物・
ギャンブル問題
をかか 抱える家族に
たいおう 対応
している



がん なんびょう せいしん
がん・難病・精神
しつかん 疾患など慢性的
びょうき 病気の家族の
かんびょう 看病
をしている



しょうがい びょうき
障害や病気のある
かぞく みまわ
家族の身の回り
のせわ 世話をしている



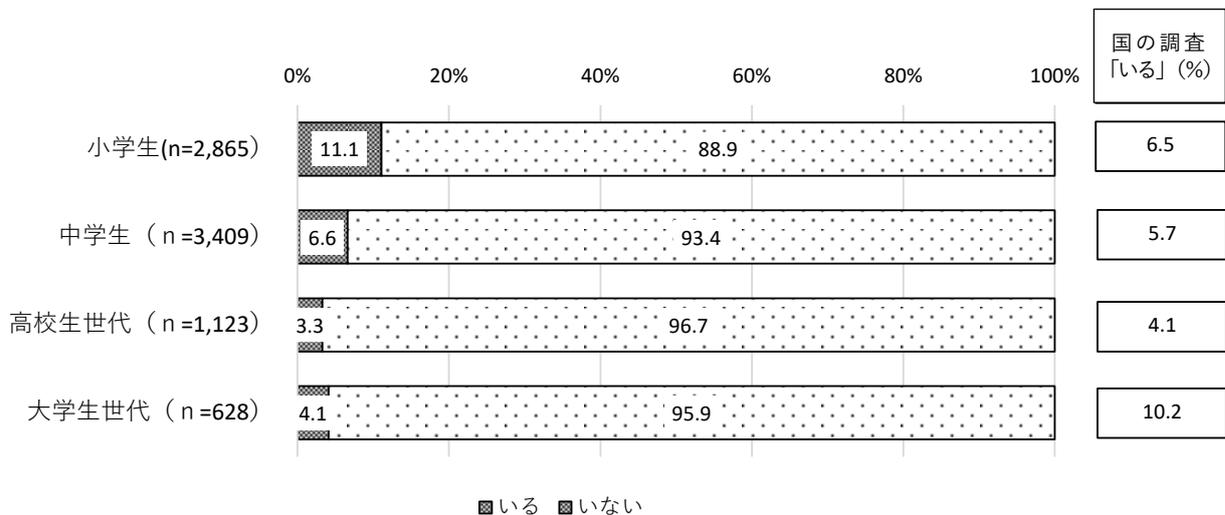
しょうがい びょうき
障害や病気のある
かぞく にゆうよく
家族の入浴や
かいじよ
トイレの介助をし
ている

イラスト出典元：厚生労働省ホームページ

2 調査結果の概要

(1) 世話をしている家族の有無

世話をしている人が「いる」と回答したものは、小学生が11.1%と最も多い。
 (大学生世代は、「現在いる」と「現在はいないが、過去にいた」の回答の合計)



(2) 世話をしている相手

小学生、中学生では「弟・妹」が、高校生世代では、「きょうだい」が、大学生世代では「祖母・曾祖母」が最も多い。

	母	父	祖母・ 曾祖母	祖父・ 曾祖父	兄・姉	弟・妹	その他 の人	無回答
小学生 (n=317)	18.0	13.6	7.6	3.5	5.7	47.6	7.9	24.3
中学生 (n=225)	10.2	8.9	6.2	1.8	4.0	37.8	8.4	36.0
高校生世代 (n=37)	16.2	10.8	5.4	5.4	37.8 (きょうだい)		8.1	37.8
大学生世代 (n=26)	19.2	7.7	23.1	11.5	19.2 (きょうだい)		11.5	26.9

(3) 世話を必要としている理由

【小学生調査】

お世話の相手が母・父では「わからない」、祖父母・曾祖父母では「高齢のため」、兄弟姉妹では「おさないため」が1位となっている。

	母・父 (n=61)	祖父母・曾祖父母 (n=25)	兄弟姉妹 (n=167)	その他の人 (n=25)
1位	わからない 62.3	高齢のため 56.0	おさないため 74.3	その他 48.0
2位	介護が必要 11.5	介護が必要 32.0	わからない 12.6	わからない 32.0
3位	その他 11.5	わからない 32.0	その他 9.6	おさないため 24.0

【中学生調査】

お世話の相手が祖父母・曾祖父母では「高齢のため」、兄弟姉妹では「幼いため」が1位となっている。

	母・父 (n=32)	祖父母・曾祖父母 (n=16)	兄弟姉妹 (n=92)	その他の人 (n=19)
1位	その他 31.3	高齢のため 50.0	幼いため 78.3	その他 68.4
2位	病気やけがのため 18.8	認知症のため 43.8	その他 12.0	幼いため 21.1
3位	介護が必要 15.6	介護が必要 37.5	知的障害のため 8.7	高齢のため 10.5
				介護が必要 10.5
	認知症のため 15.6			知的障害のため 10.5
				日本語が苦手なため 10.5

【高校生世代調査】

お世話の相手が祖父母・曾祖父母では「高齢のため」及び「認知症のため」、兄弟姉妹では「幼いため」が1位となっている。

	母・父 (n=7)	祖父母・曾祖父母 (n=4)	兄弟姉妹 (n=14)	その他の人 (n=3)
1位	その他 71.4	高齢のため 75.0	幼いため 50.0	高齢のため 33.0
2位	こころの病気のため 42.9	認知症のため 75.0	その他 28.6	介護が必要 33.0
3位	その他の病気やけがのため 28.6	介護が必要 25.0	知的障害のため 14.3	認知症のため 33.0
		こころの病気のため 25.0		こころの病気のため 33.0

第1章 2 調査結果の概要

【大学生世代調査】

お世話の相手が母・父では「こころの病気のため」、祖父母・曾祖父母では「認知症のため」が1位となっている。

	母・父 (n=7)	祖父母・曾祖父母 (n=8)	兄弟姉妹 (n=5)	その他の人 (n=3)
1位	こころの病気のため 57.1	認知症のため 75.0	その他 60.0	その他 66.7
2位	その他 28.6	高齢のため 50.0	幼いため 40.0	こころの病気のため 33.0
3位	身体障害のため 14.3	介護が必要 25.0		
	その他の病気やけ がのため 14.3	身体障害のため 25.0		
	日本語が苦手なため 14.3			

(4) 世話をしている頻度

世話をしている頻度はいずれの世代も「ほぼ毎日」が最も多い。

	ほぼ毎日	週に 3～5日	週に 1～2日	1か月に 数日	その他	無回答
小学生(n=317)	39.7	14.8	13.9	7.6	3.2	20.8
中学生(n=225)	35.1	10.7	10.7	7.1	3.1	33.3
高校生世代(n=37)	29.7	18.9	5.4	10.8	0.0	35.1
大学生世代(n=26)	42.3	15.4	11.5	7.7	3.8	19.2

(5) 世話をしている時間

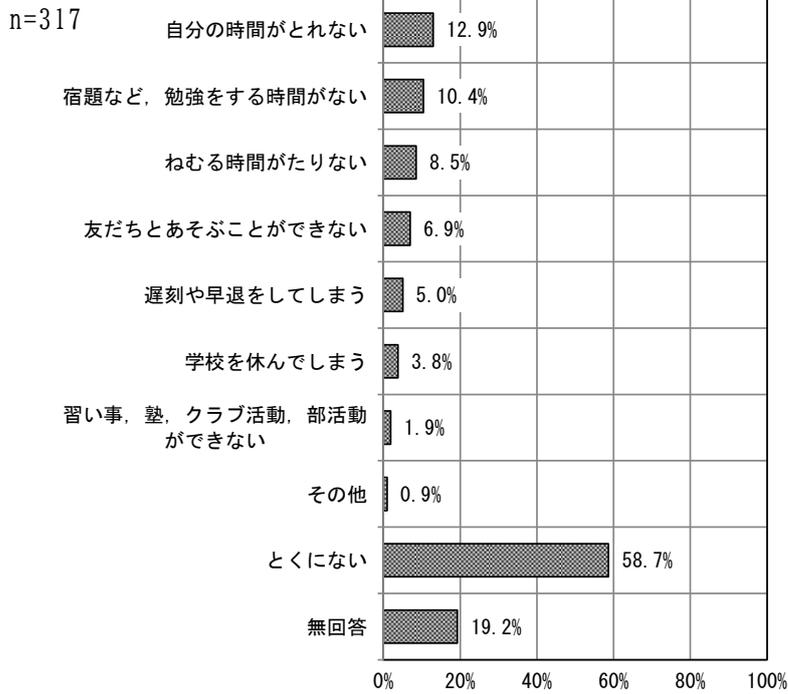
世話をしている時間はいずれの世代も「2時間未満」が最も多い。

	2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上	その他	無回答
小学生(n=317)	46.7	13.6	7.9	7.9	0.6	24.0
中学生(n=225)	37.8	12.0	6.2	7.1	0.4	36.4
高校生世代(n=37)	32.4	24.3	0.0	2.7	0.0	40.5
大学生世代(n=26)	42.3	15.4	3.8	11.5	0.0	26.9

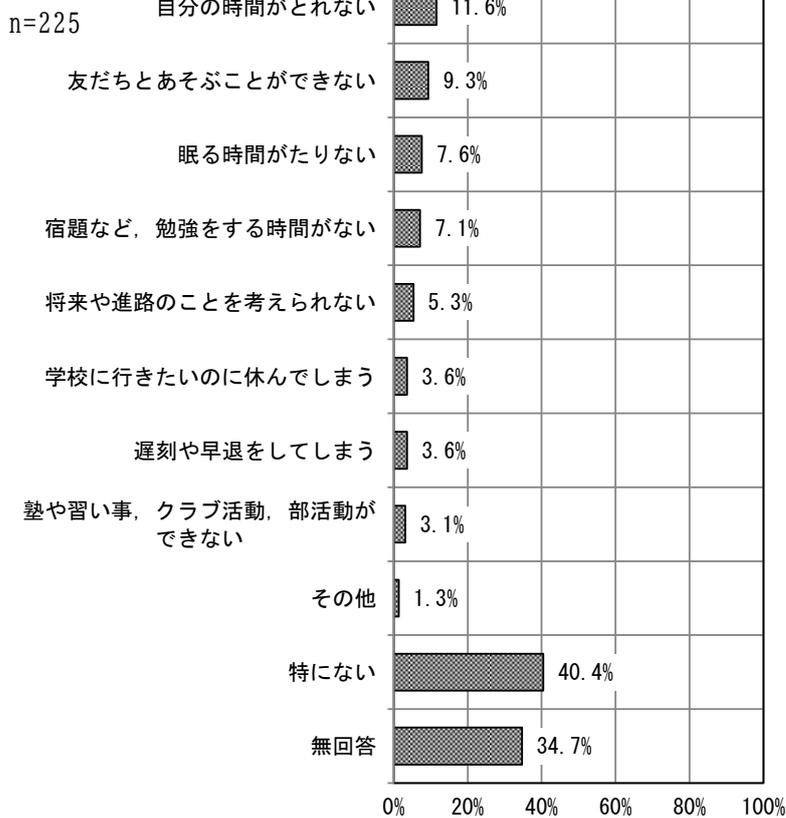
(6) 世話をすることによる生活への影響

いずれの世代も「自分の時間がとれない」が最も多い。

小学生調査



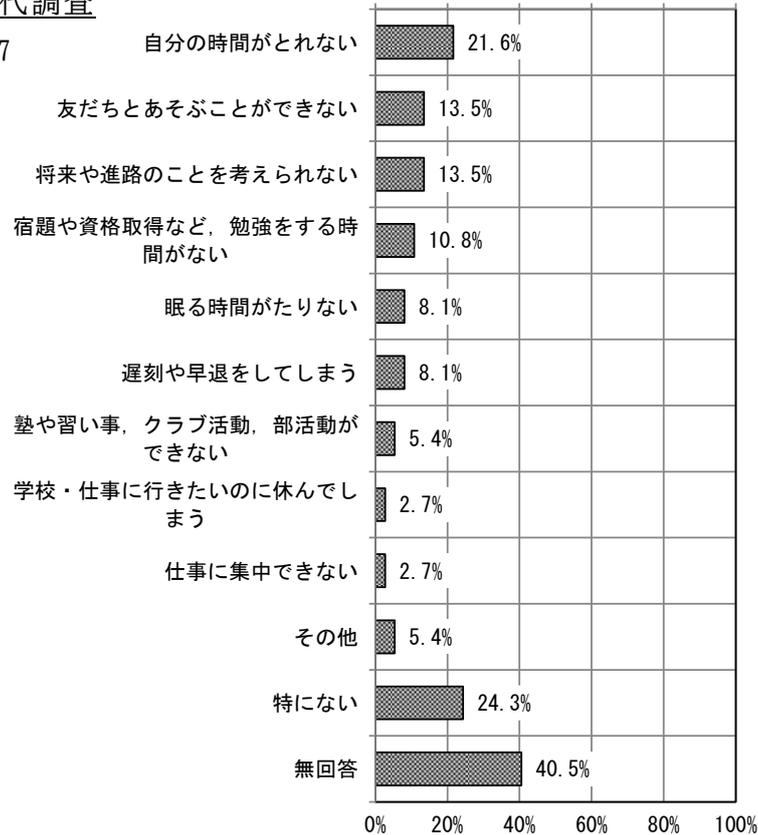
中学生調査



第1章 2 調査結果の概要

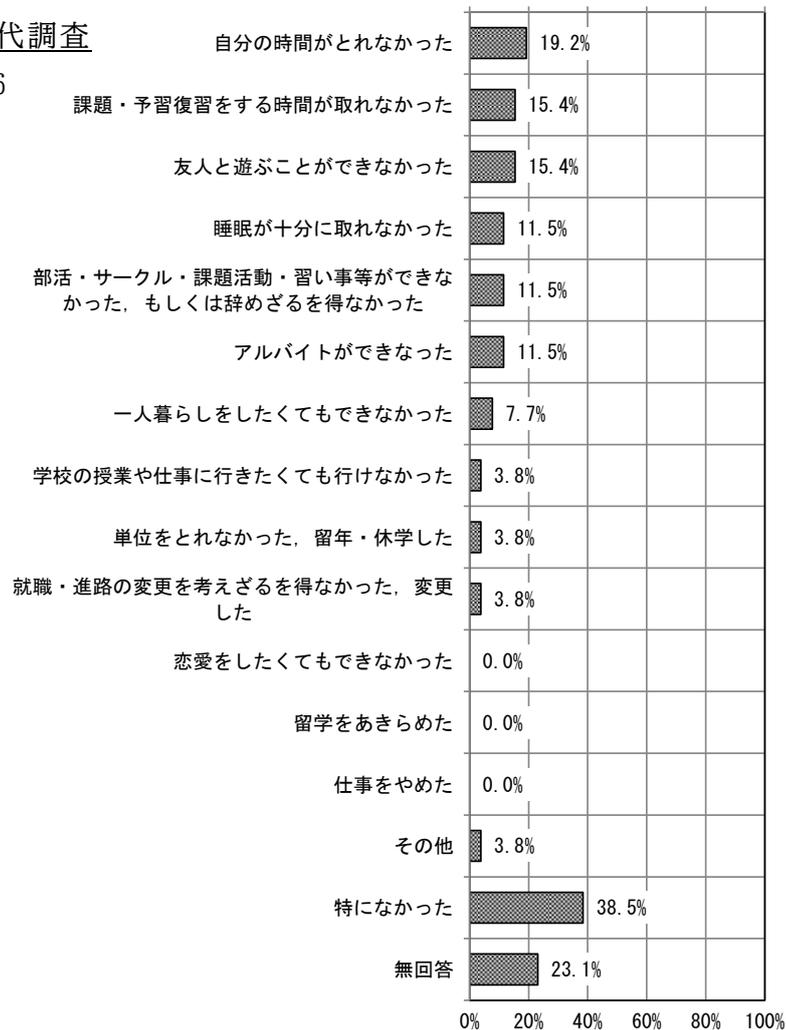
高校生世代調査

n=37



大学生世代調査

n=26



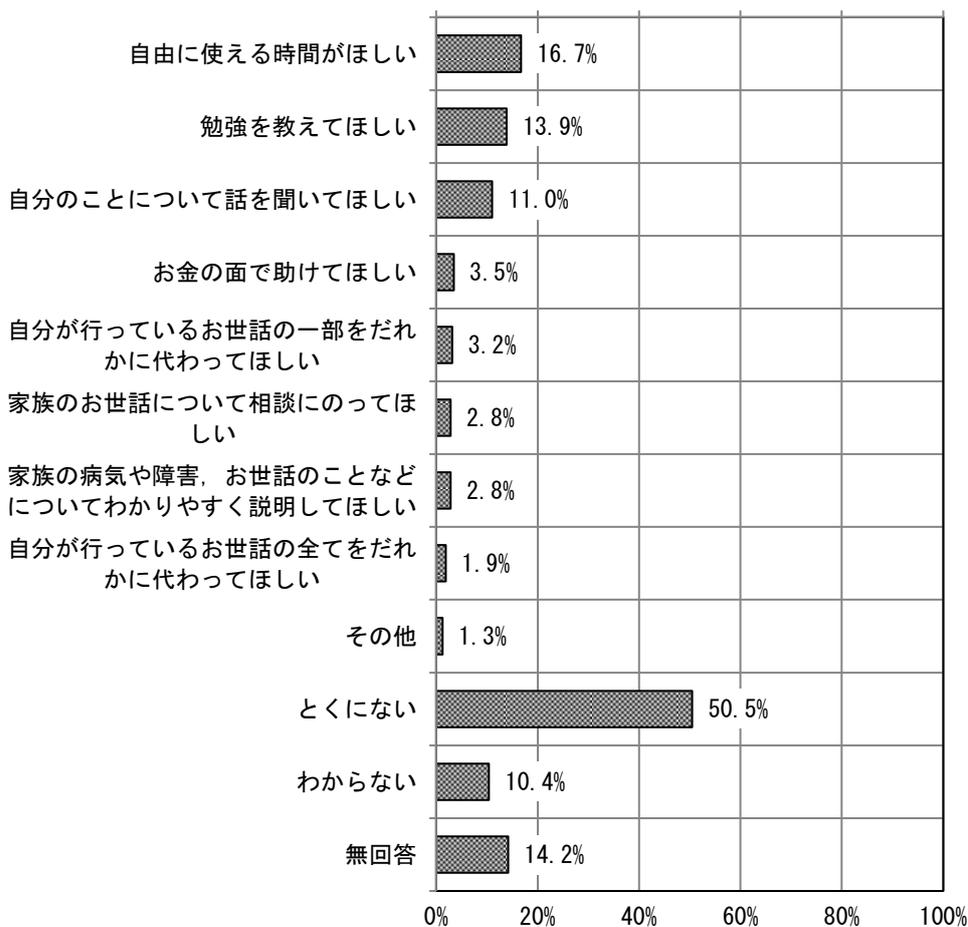
(7) 世話について感じていること

いずれの世代も「特に大変さは感じていない」が最も多い。

	体力の面で 大変	気持ちの 面で大変	時間の 余裕がない	特に大変さは 感じていない	無回答
小学生(n=317)	12.3	16.1	13.9	49.8	21.1
中学生(n=225)	12.0	14.2	15.1	38.2	33.8
高校生世代(n=37)	10.0	21.6	24.3	29.7	35.1
大学生世代(n=26)	7.7	26.9	30.8	34.6	23.1

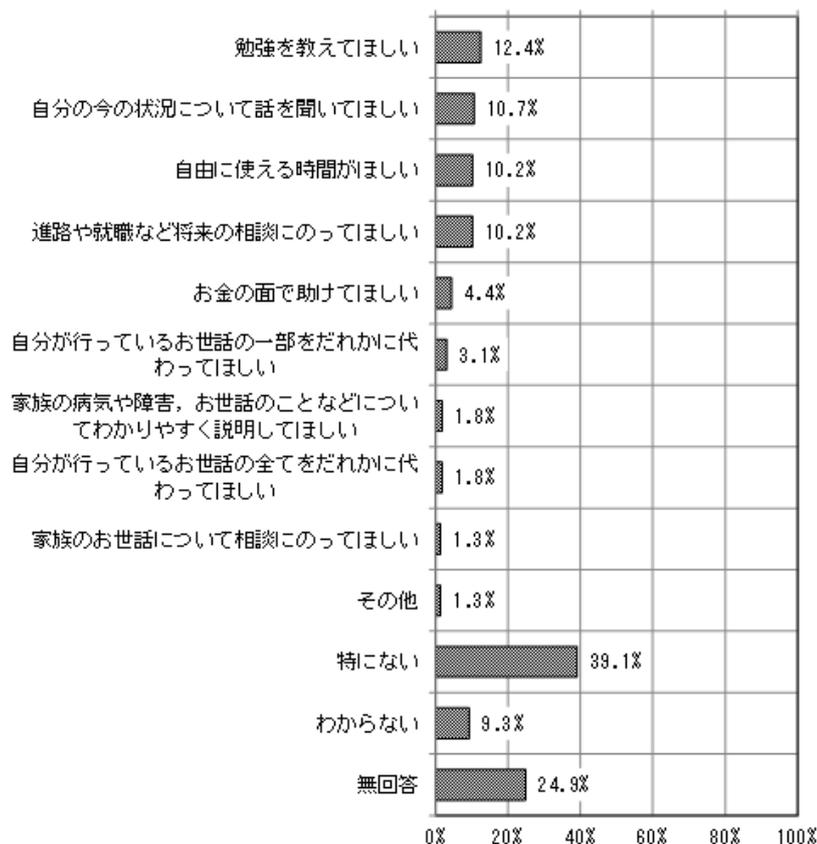
(8) 支援してほしいこと

小学生調査 n=317 「自由に使える時間がほしい」が最も多く、次いで「勉強を教えてほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」となっている。

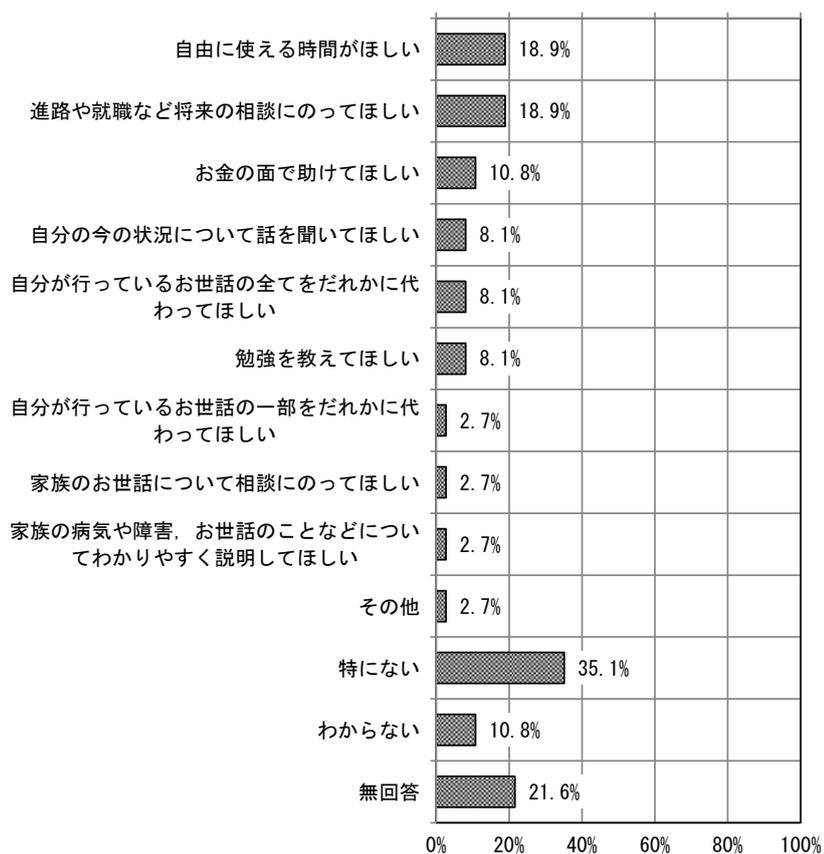


第1章 2 調査結果の概要

中学生調査 「勉強を教えてほしい」が最も多く、次いで「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「自由に使える時間がほしい」となっている。
n=225



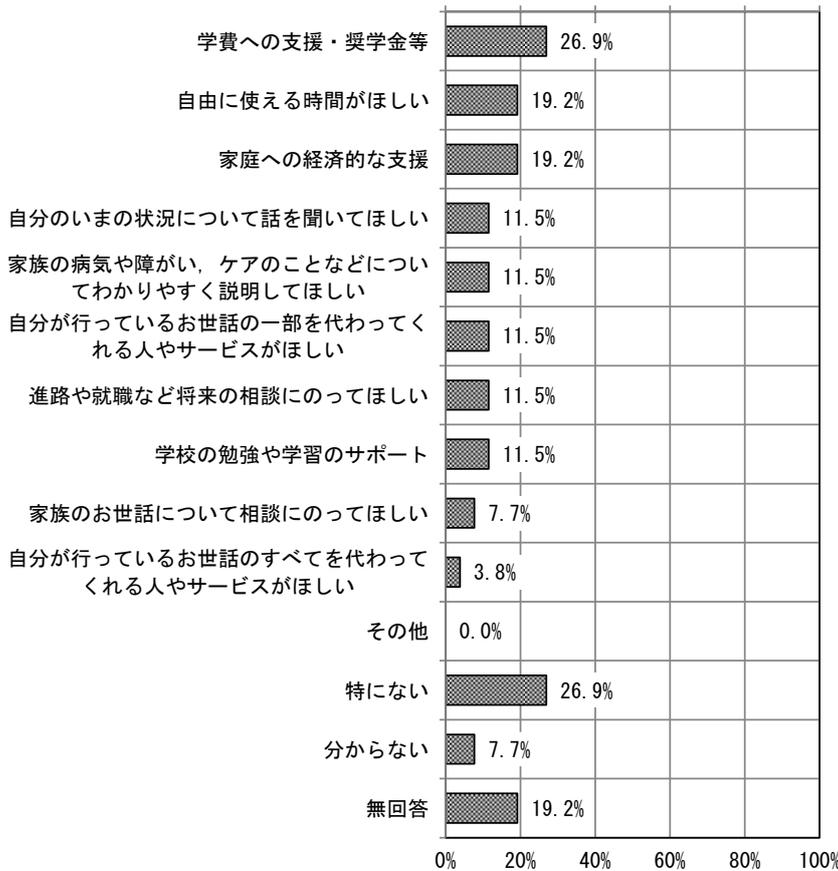
高校生世代調査 「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が最も多く、次いで「お金の面で助けてほしい」となっている。
n=37



大学生世代調査

n=26

「学費への支援・奨学金等」が最も多く、「自由に使える時間がほしい」「家庭への経済的な支援」が次いでいる。



(9) 希望する相談方法

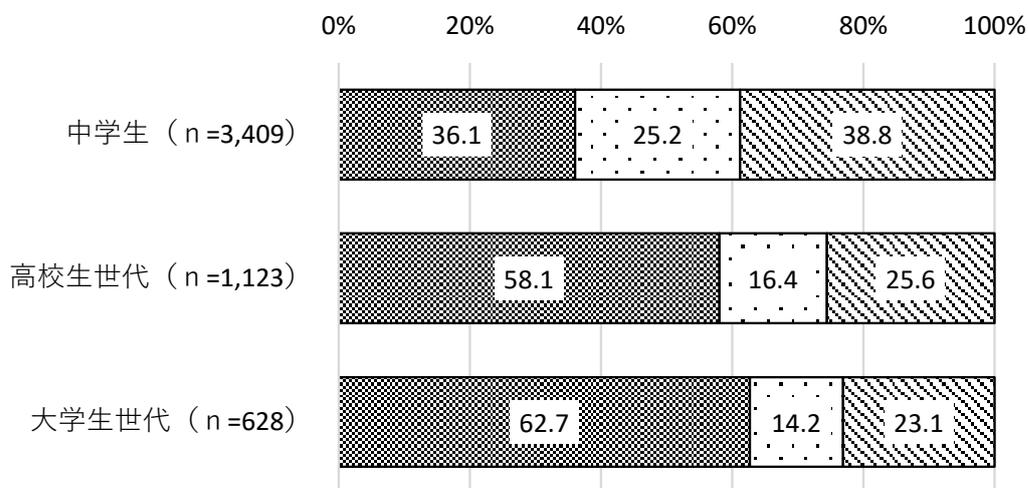
「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。

小学生，中学生，大学生世代では「直接会って」が最も多く，高校生世代では「その他」が最も多くなっている。

	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
小学生(n=36)	86.1	16.7	25.0	8.3	5.6	0.0
中学生(n=25)	68.0	44.0	24.0	12.0	0.0	0.0
高校生世代(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
大学生世代(n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

(10) ヤングケアラーという言葉の認知

中学生は「聞いたことはない」が最も多く、高校生世代，大学生世代は「聞いたことがあり，内容も知っている」が最も多い。



- 聞いたことがあり，内容も知っている
- 聞いたことはあるが，内容は知らない
- ▨ 聞いたことはない

(11) ヤングケアラーの自覚

「お世話している」かつ「あてはまる」のは，回答者全数に対してそれぞれ，中学生では0.8%，高校生世代では0.4%，大学生世代では0.6%（過去にいたは0.3%）となっている。

世代	お世話している人の有無		ヤングケアラーにあてはまると思うか			
			あてはまる※	あてはまらない	わからない 答えたくない	無記入
中学生 (n=3,409)	いる	225人 6.6%	27人 0.8%	113人 3.3%	62人 1.8%	23人 0.7%
	いない	3,184人 93.4%	31人 0.9%	2,715人 79.6%	397人 11.6%	41人 1.2%
高校生 (n=1,123)	いる	37人 3.3%	5人 0.4%	15人 1.3%	12人 1.1%	5人 0.4%
	いない	1,086人 96.7%	7人 0.6%	1,011人 90.0%	65人 5.8%	3人 0.3%
大学生 (n=628)	現在いる	18人 2.9%	4人 0.6%	7人 1.1%	6人 1.0%	1人 0.2%
	現在はいないが 過去にいた	8人 1.3%	2人 0.3%	4人 0.6%	1人 0.2%	1人 0.2%
	いない	602人 95.9%	5人 0.8%	555人 88.4%	37人 5.9%	5人 0.8%

※ 大学生は「かつてあてはまった」を含む

3 調査のまとめ

世話をしている人が「いる」と回答したものは、小学生が11.1%（9人に1人）、中学生6.6%（15人に1人）、高校生世代3.3%（30人に1人）、大学生世代2.9%（34人に1人、過去にいた人を含めると4.1%）であった。国の調査結果と比べると、小中学生では高いものの、高校生・大学生世代では低くなっていて、小学生では1.7倍高く、大学生世代では約半分と大きく異なる。

小学生から高校生世代までは、「弟・妹（きょうだい）の世話」が多く、その背景として、祖父母との同居が少なく核家族が多いという調査結果にあわせ、現在の保育園や学童クラブの利用状況に現れているように共働き世帯等が多いことから、きょうだいの世話をする必要のあるものと推察できる。

世話の状況は、「ほぼ毎日している」者が最も多い一方で、「2時間未満」と短時間の者、「世話をすることによる生活への影響」や「世話のきつき」を感じていない者が多いことから、家族としての役割分担やお手伝いの範疇のものが多くと推察される。一方で、「1日4時間以上」のお世話をしている者や「きつきを感じている者」、具体的な「支援を求めている者」がいるため、そのような家庭への支援を研究し進めていく必要があると考える。

また、「今の自分の話を聞いてほしい」、「直接会って話を聞いてほしい」との声が多く、子どもが気軽に安心して相談できる場を研究し、設置していく必要がある。

ヤングケアラーの自覚については、各年代とも1%かそれ以下であったが、世話をしている人はいないと答えた中でも「ヤングケアラーにあてはまる」と回答した者がいることから、ひとり親や共働きで忙しい親に代わって家事やきょうだいの世話をしている人が答えにくかったことなどが推察される。

また、ヤングケアラーの認知は、国の調査時点より進んでいると思われるが、「どのような状態ならヤングケアラーなのか」、「どのような状況なら相談したほうがいいのか」というようなことが、子どもたちにも浸透していないと、自ら相談することには繋がらないため、子どもたちへのヤングケアラーの周知が必要である。

さらに、自由意見では、さまざまな意見を聞くことができ、子どもの意見を聞くことの重要性を改めて感じたほか、このような調査も自身を見つめ直し、辛い気持ちを吐き出す場の一つになることがわかった。

今回の調査により、子どもの生活状況やヤングケアラーの実態の概要が明らかになった。今後はより具体的な状況を把握し、困難を抱えた子ども・若者が安心して過ごせるよう、個々に応じた支援策を進めていく必要がある。

第2章

調 查 結 果

1 小学生調査

(1) 基本情報

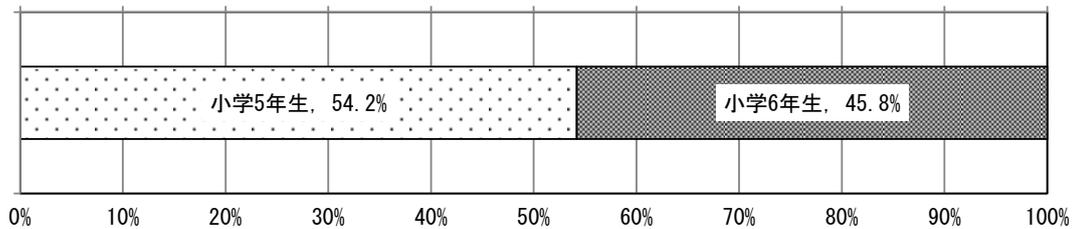
ア 学年

問1. あなたの学年を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「小学5年生」が54.2%、「小学6年生」が45.8%となっている。

小学生調査

n=2,865



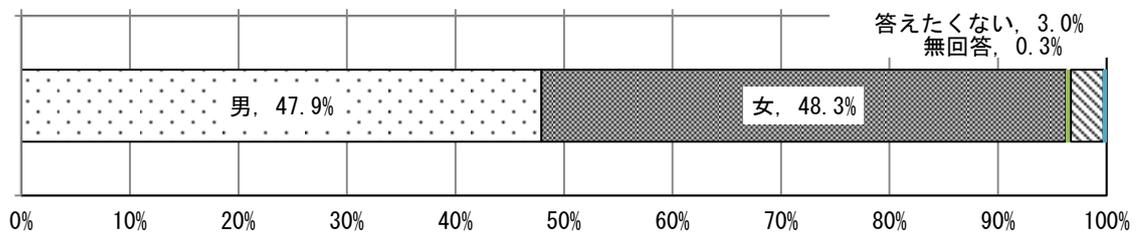
イ 性別

問2. あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「男」が47.9%、「女」が48.3%となっている。

小学生調査

n=2,865

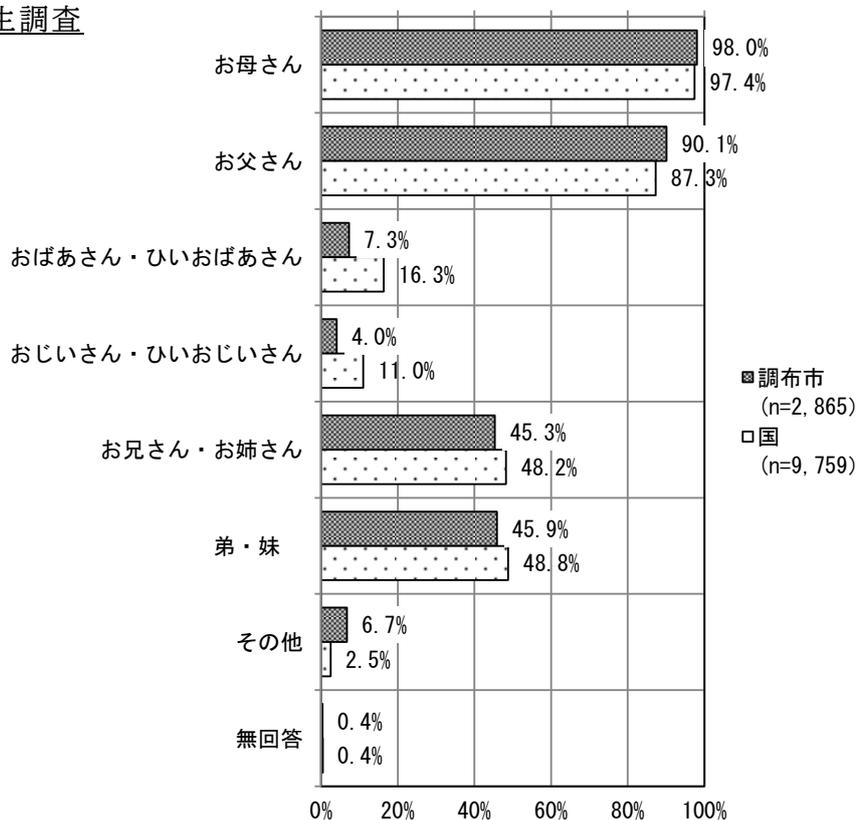


ウ 家族構成

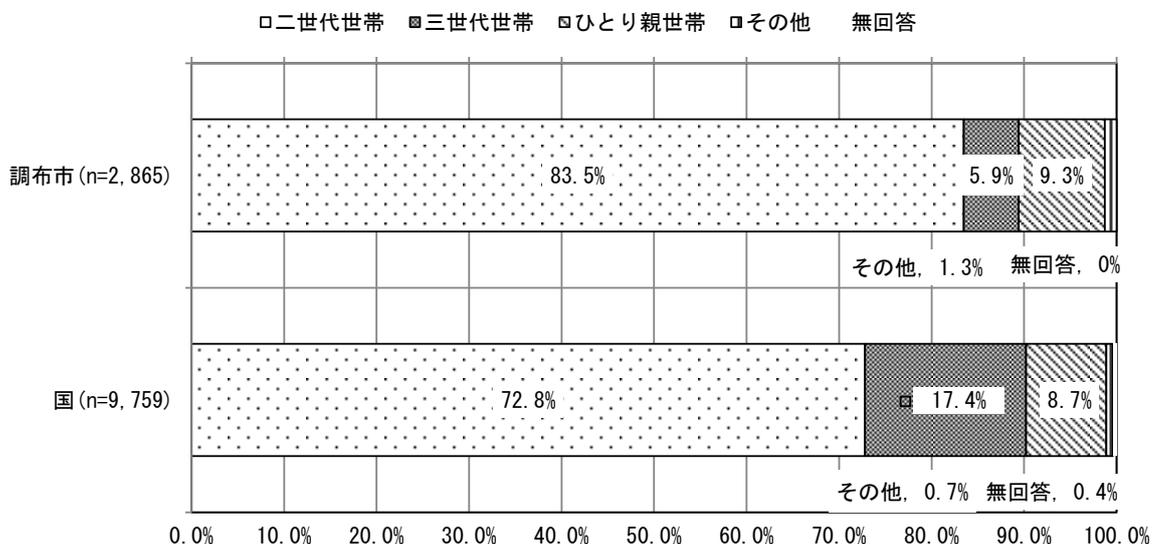
問3. 今、いっしょに住んでいる人について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「()人」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

「お母さん」が98.0%、「お父さん」が90.1%、「弟・妹」が45.9%、「お兄さん・お姉さん」が45.3%となっている。祖父母・曾祖父母との同居は国調査と比べて割合が低くなっている。

小学生調査



回答内容によって世帯構成を整理すると、「二世帯世帯」は83.5%、三世帯世帯（両親が二人ともいて、祖父・祖母・曾祖父・曾祖母の誰かがいる）は5.9%、ひとり親世帯（父と母のどちらか一人がいらない）は9.3%となっている。

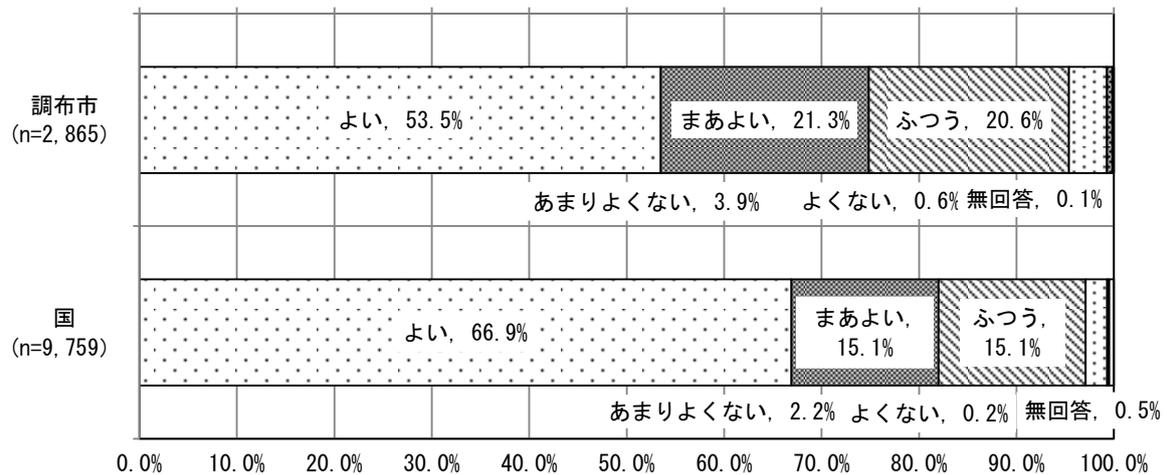


工 体調について

問 4. あなたの健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「よい」が 53.5%、「まあよい」が 21.3%、「ふつう」が 20.6%、「あまりよくない」が 3.9%、「よくない」が 0.6%となっている。

小学生調査



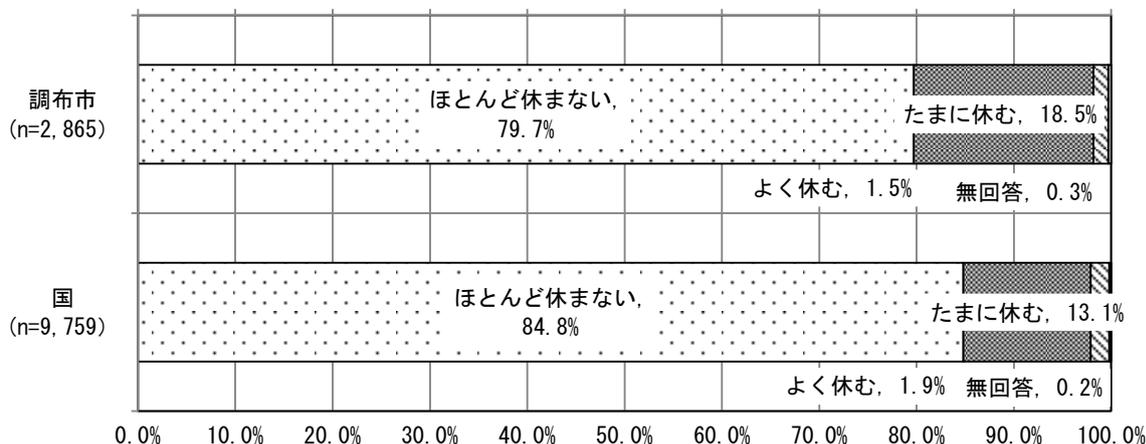
(2) ふだんの生活について

ア 学校を休むことがあるか

問 5. 学校を休むことがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんど休まない」が79.7%、「たまに休む」が18.5%、「よく休む」が1.5%となっている。

小学生調査



イ 遅刻や早退の有無

問 6. 学校に遅刻をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

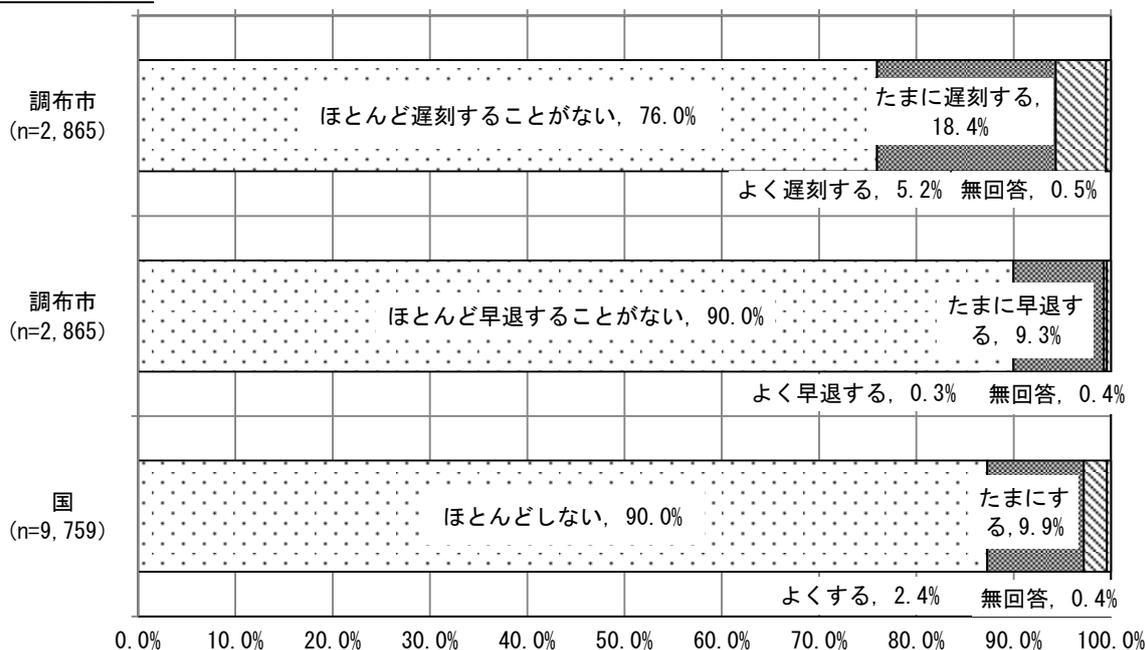
「ほとんど遅刻しない」が76.0%、「たまに遅刻することがある」が18.4%、「よく遅刻する」が5.2%となっている

問 7. 学校を早退をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんど早退することがない」が90.0%、「たまに早退することがある」が9.3%、「よく遅刻する」が0.3%となっている。

※ 国の調査では、遅刻と早退を一つの質問で尋ねている。

小学生調査

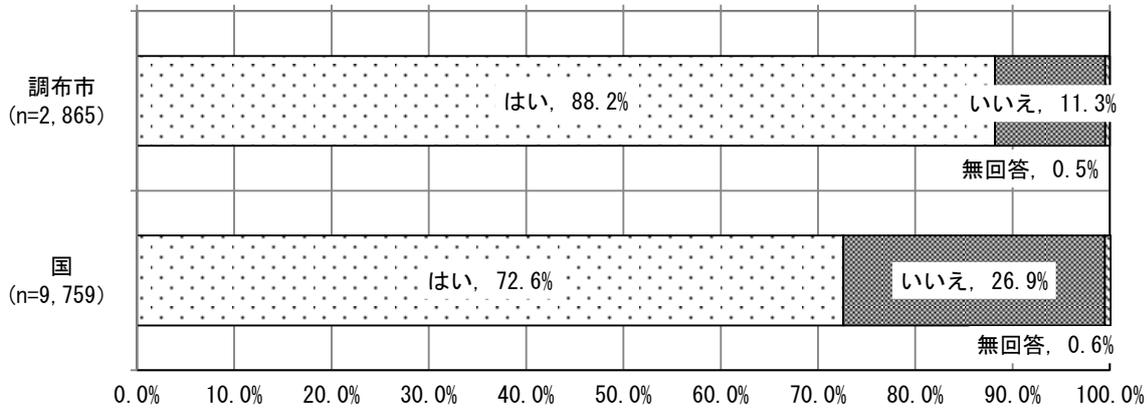


ウ 塾や習い事，クラブ活動，部活動などを行っているか

問 8. 放課後，習い事，塾，クラブ活動などを行っていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「はい」が88.2%，「いいえ」が11.3%となっている。

小学生調査

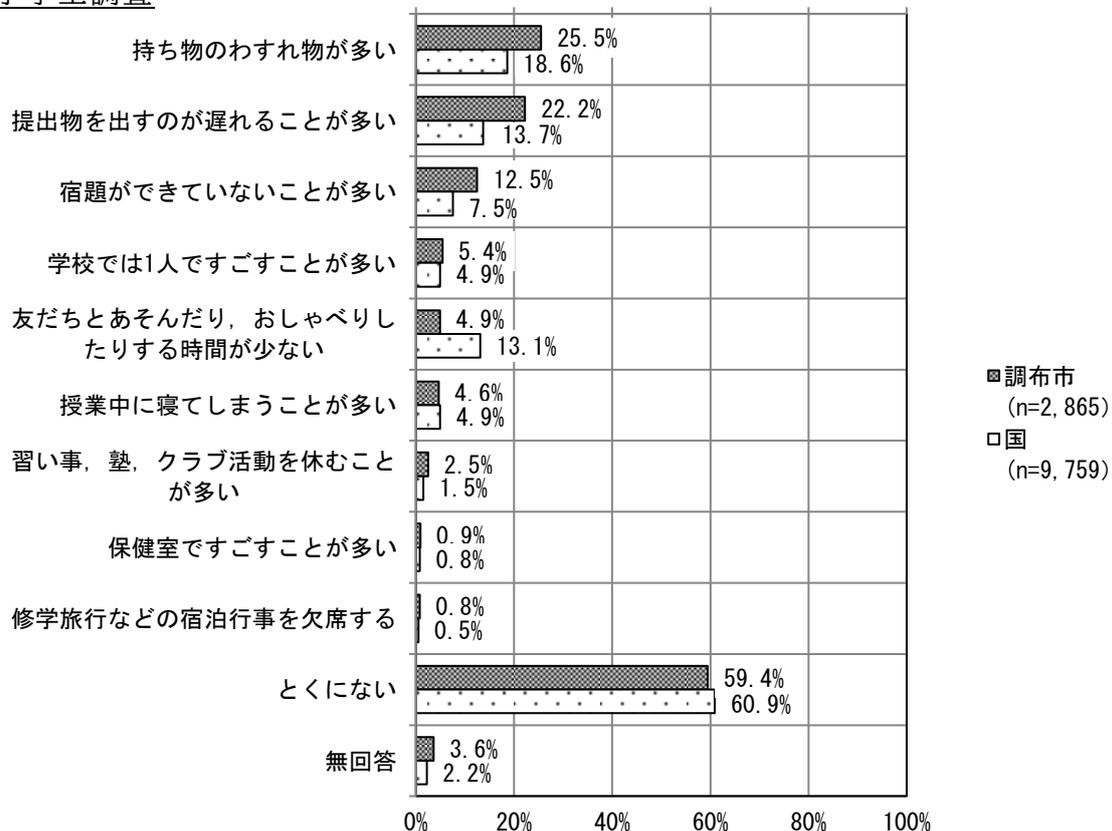


エ 学校生活の問題点

問 9. ふだんの学校生活において，あてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「持ち物のわすれ物が多い」が25.5%と最も多く，次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が22.2%，「宿題ができていないことが多い」が12.5%となっている。「とくにない」は59.4%となっている。

小学生調査

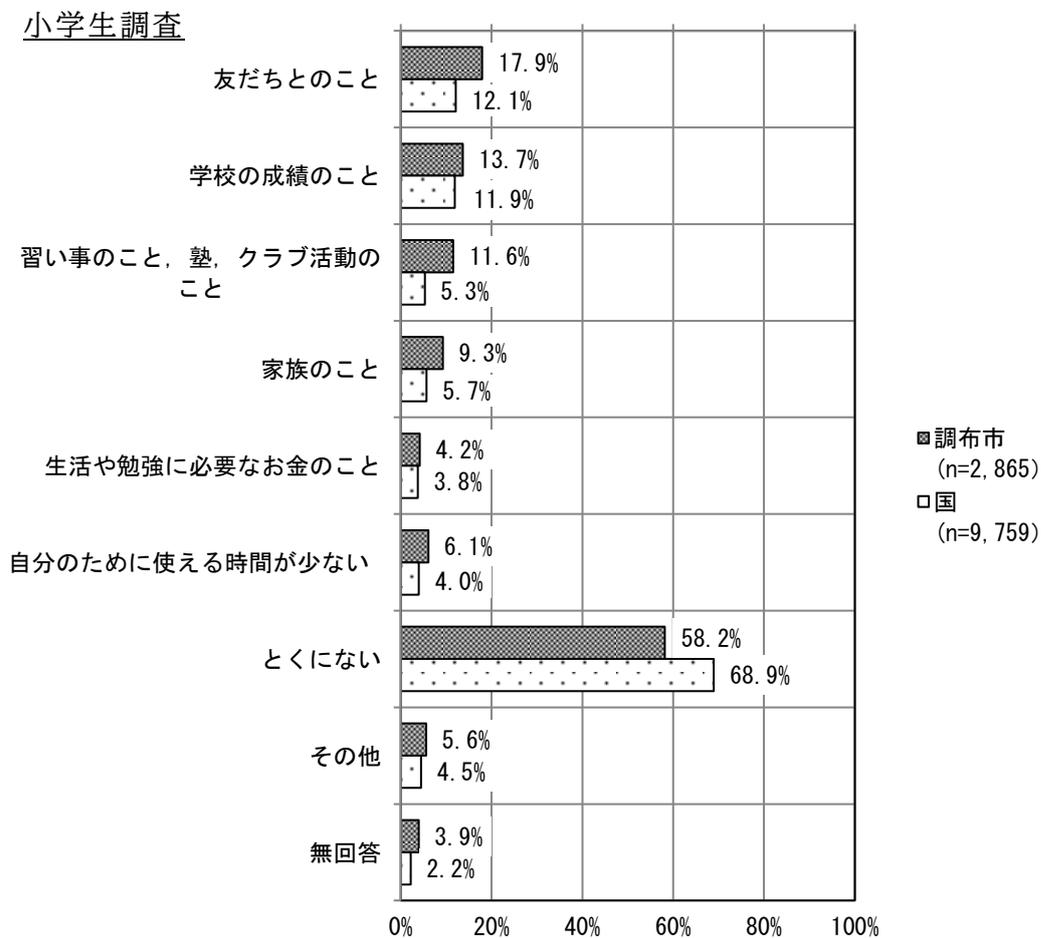


第2章 1 小学生調査

オ 悩みや困りごとの有無

問 10. 今、なやんでいることがありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「友だちのこと」が17.9%と最も多く、次いで「学校の成績のこと」が13.7%、「習い事のこと、塾、クラブ活動のこと」が11.6%となっている。「とくにない」は58.2%となっている。

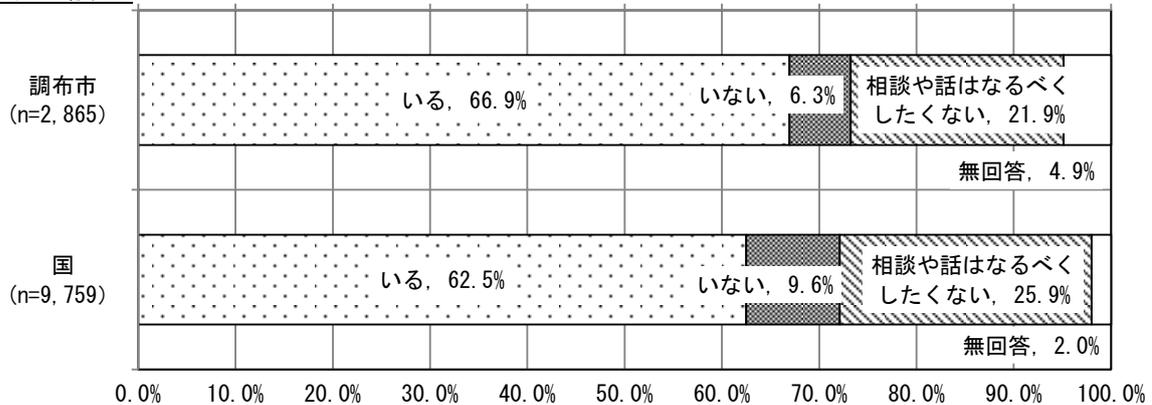


カ 相談相手の有無

問 11. 問 10 のような「なやみ」や「こまっていること」があるとき、話を聞いてくれる人がいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が66.9%と最も多く、次いで「相談や話はなるべくしたくない」が21.9%、「いない」が6.3%となっている。

小学生調査



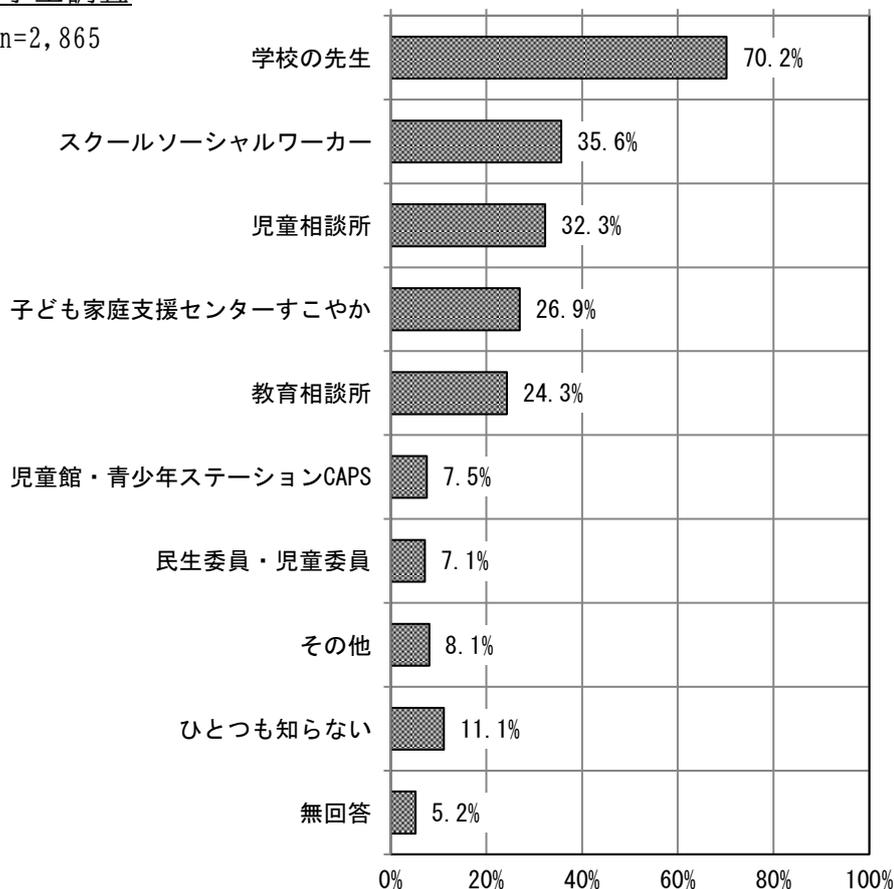
キ 相談先の認知状況

問 12. 「なやみ」や「こまっていること」について、家族以外に相談できるところを知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

「学校の先生」が70.2%と最も多く、次いで「スクールソーシャルワーカー」が35.6%、「児童相談所」が32.3%、「子ども家庭センターすこやか」が26.9%、「教育相談所」が24.3%となっている。「ひとつも知らない」は11.1%となっている。

小学生調査

n=2,865

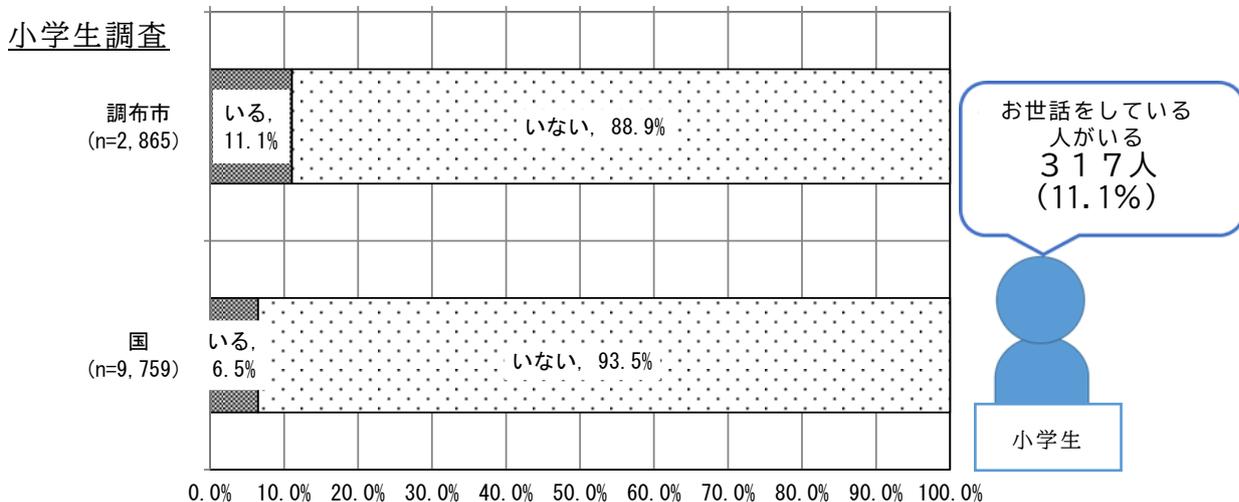


(3) 家族や家のことについて

ア 家族の世話をしているか

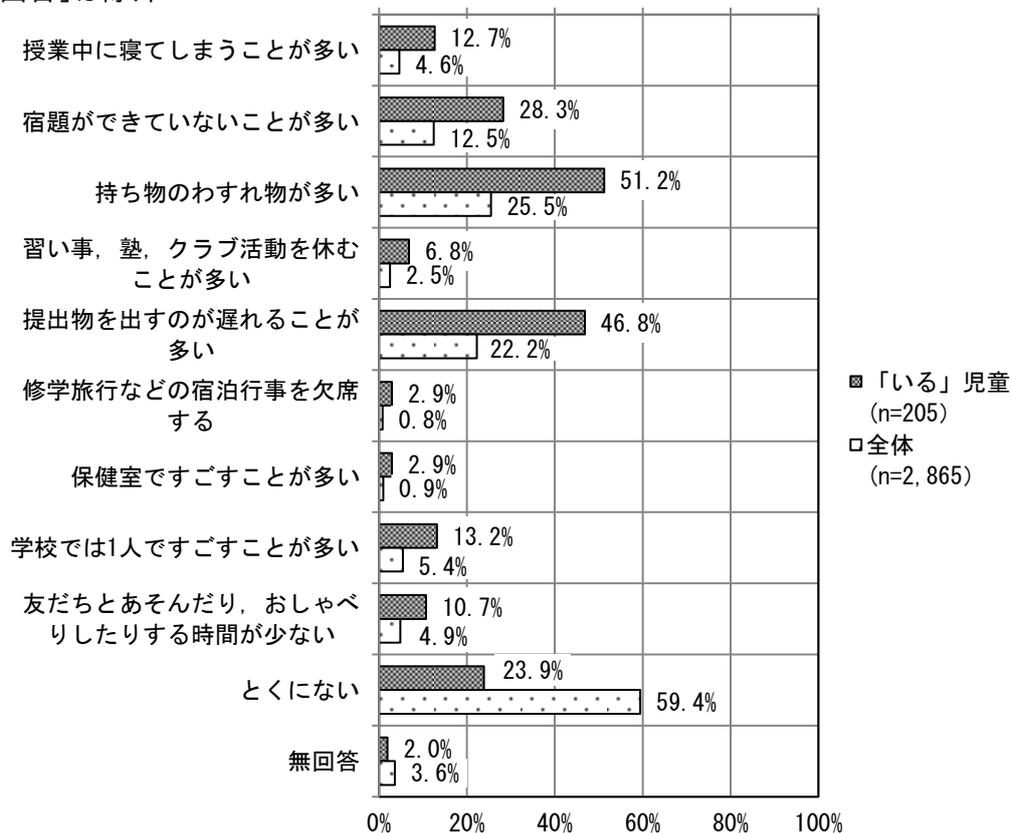
問 13. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が11.1%、「いない」が88.9%となっている。



本設問で、お世話をしている人が「いる」と回答した児童※の間 9「ふだんの学校生活において、あてはまるもの」の回答状況を再集計したところ、以下のような結果となった。「とくにない」の回答は、児童全体では59.4%だったが、お世話をしている人が「いる」と回答した児童では23.9%にとどまっている。

※ 問9が「とくにない」か「無回答」で、かつ、問10(今、悩んでいることや困っていること)が「とくにない」か「無回答」は除外



イ 世話をしている相手

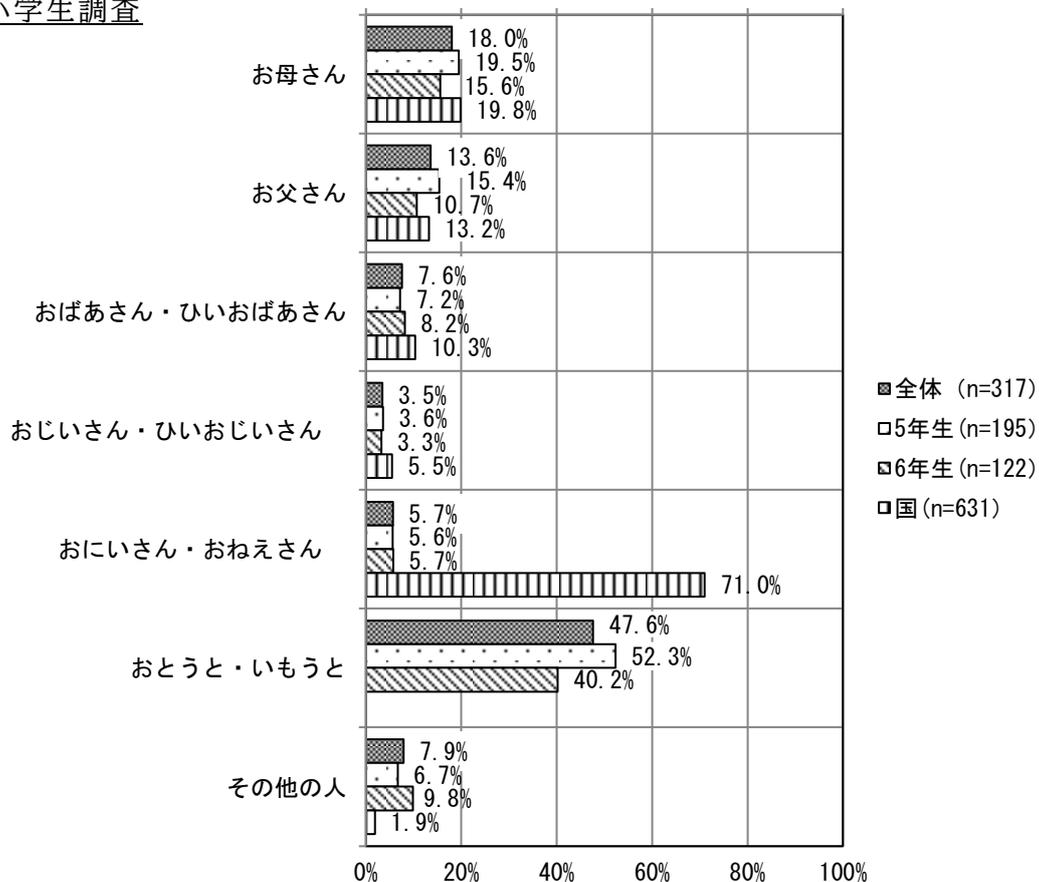
問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。

問 14 あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「おとうと・いもうと」が 47.6% と最も多く、次いで「お母さん」が 18.0%、「お父さん」が 13.6% となっている。

※ 国の調査では「おにいさん・おねえさん」と「おとうと・いもうと」を合わせて「きょうだい」としているため、下図では「おにいさん・おねえさん」に「きょうだい」の数値を表示している。

小学生調査



ウ 世話を必要としている理由

世話をしている対象 必要な理由	15-a 父母	15-b 祖父母 曾祖父母	15-c 兄弟姉妹	15-d その他の人
回答者数	61人 (100%)	25人 (100%)	167人 (100%)	25人 (100%)
高齢のため(65歳以上)	6.6%	56.0%		4.0%
幼いため			74.3%	24.0%
介護が必要	11.5%	32.0%	3.6%	16.0%
認知症のため	1.6%	16.0%		4.0%
身体障害のため	3.3%	8.0%	1.2%	4.0%
知的障害のため	1.6%	4.0%	3.0%	4.0%
こころの病気のため	6.6%	4.0%	1.8%※	4.0%
依存症のため	4.9%	4.0%		4.0%
その他の病気やけがのため	8.2%	24.0%		8.0%
日本語が苦手なため	6.6%	4.0%	1.8%	4.0%
その他	11.5%	4.0%	9.6%	48.0%
わからない	62.3%	32.0%	12.6%	32.0%

※ 兄弟姉妹では選択肢が「病気のため」となっている。

問 15-a この質問は、問 14 で、「お母さん」「お父さん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「お母さん」「お父さん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「わからない」が 62.3%、「介護が必要」、「その他」が 11.5%となっている。

※「その他」の回答例

仕事が忙しいため

りゅうまち (手・足がぱんぱんにはれる)

父→幼稚

仕事で遅く、お母さんたちがやれる余裕がないから

家事が多いから

学校関係で

問 15-b この質問は、問 14 で、「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「高齢のため」56.0%となっている。

※「その他」の回答はなかった。

問 15-c この質問は、問 14 で、「おにいさん・おねえさん」「おとうと・いもうと」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「おにいさん・おねえさん」「おとうと・いもうと」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「おさないため」が 74.3%、「その他」が 9.6%となっている。

※「その他」の回答例

妹だから

親が仕事で忙しいため

父と母がお仕事でいないときにお世話をしている

勉強が苦手だから

めんどくさいから

勉強の手伝い

お母さんたちは仕事で遅いし、妹がお腹すいたり風邪引いたりするから

まだ3年生だから

お母さんが忙しいから

生活のため

ネガティブ

バカだから

喧嘩

問 15-d この質問は、問 14 で、「その他の人」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。その人は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「おさないため」が 24.0%、「介護が必要」が 16.0%となっている。

※その他の回答例

親が具合の悪い時に家事をやっている。

家事などを両親がする時間があまり多くないため

赤ちゃん

犬だから

犬→排出物を取ったりご飯、おやつをあげたり、お風呂に入れる!

インコ、金魚ペット

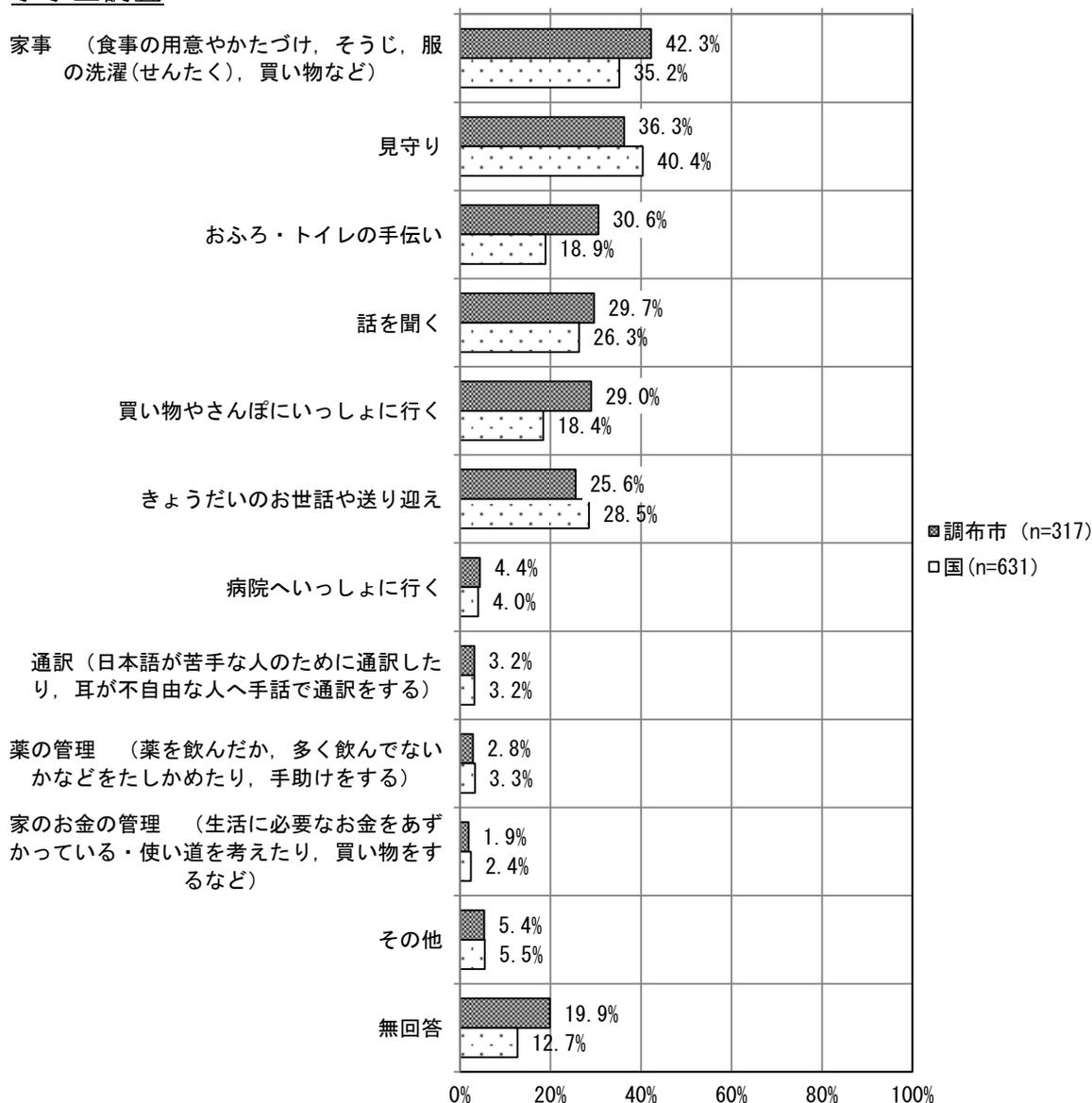
第2章 1 小学生調査

エ どのような世話をしているか

問 16 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合にはあてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家事」が42.3%と最も多く、次いで「見守り」が36.3%、「おふろ・トイレの手伝い」が30.6%、「話を聞く」が29.7%、「買い物やさんぽにいっしょに行く」が29.0%、「きょうだいのお世話や送り迎え」が25.6%、となっている。

小学生調査



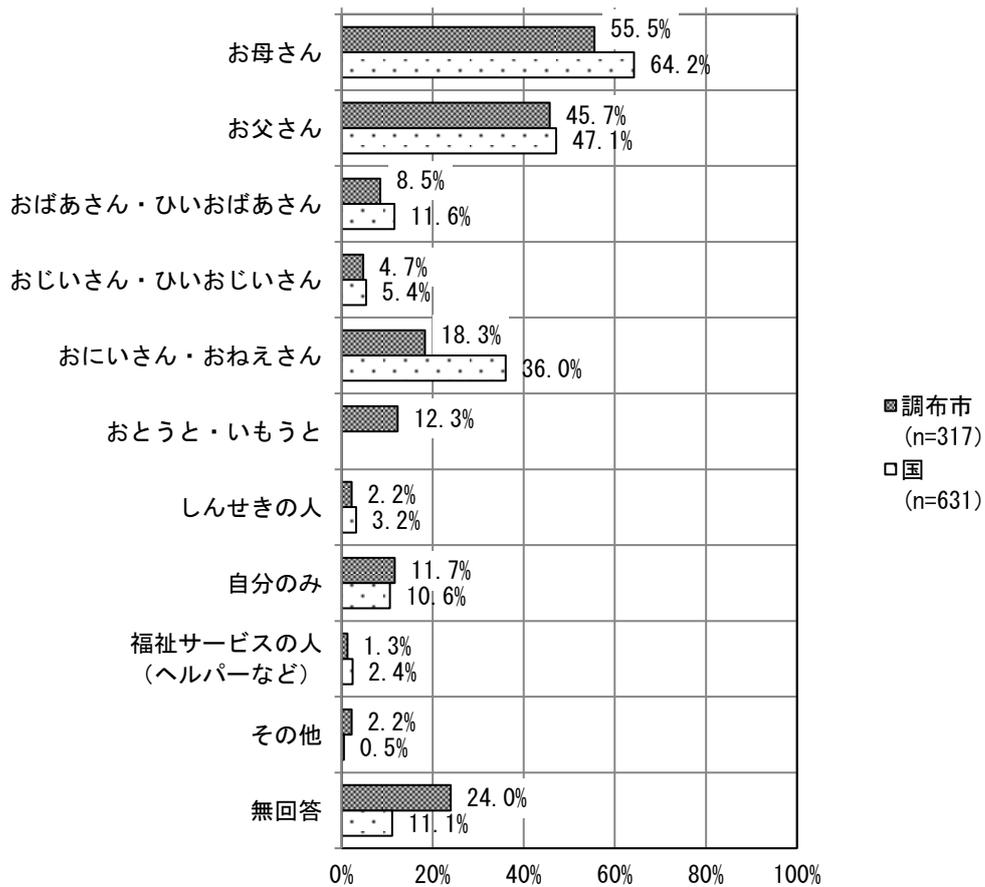
オ 一緒に世話をしている人

問 17. あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合にはあてはまるもの全てにチェックをしてください。

「お母さん」が 55.5%と最も多く、次いで「お父さん」が 45.7%となっている。

※ 国の調査では「おにいさん・おねえさん」と「おとうと・いもうと」を合わせて「きょうだい」としているため、下図では「おにいさん・おねえさん」に「きょうだい」の数値を表示している。

小学生調査



第2章 1 小学生調査

カ 世話をする頻度

問 18. あなたは何歳(さい)からお世話をしていますか。

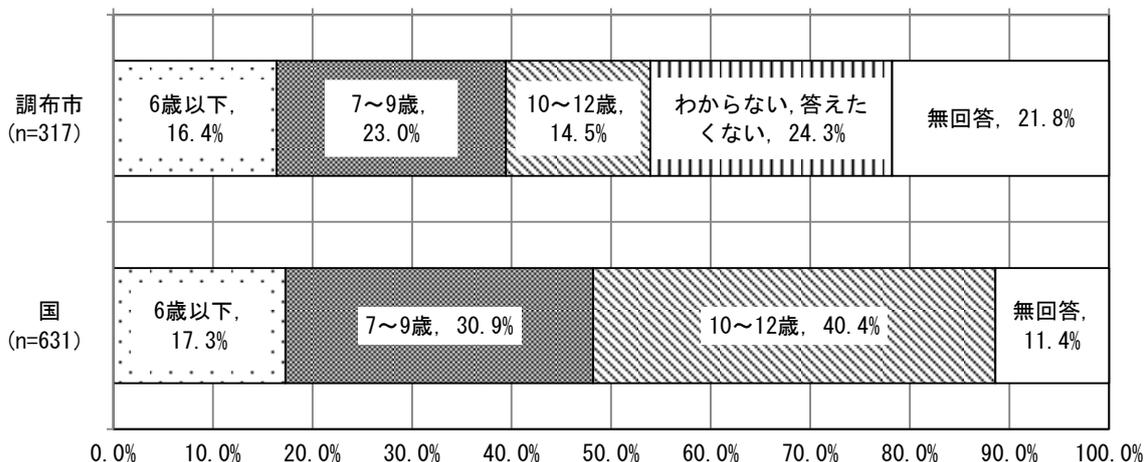
※はっきりとわからない場合は、だいたいの年で教えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

6歳以下が16.4%、7～9歳が23.0%、10～12歳が14.5%となっている。

小学生調査

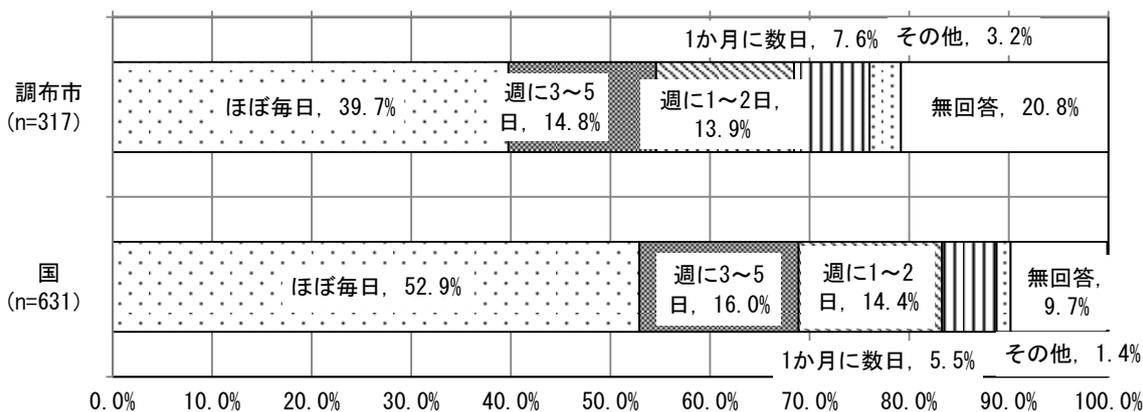
n=317



問 19. あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほぼ毎日」が39.7%と最も多く、次いで「週に3～5日」が14.8%、「週に1～2日」が13.9%、「1か月に数日」が7.6%となっている。

小学生調査

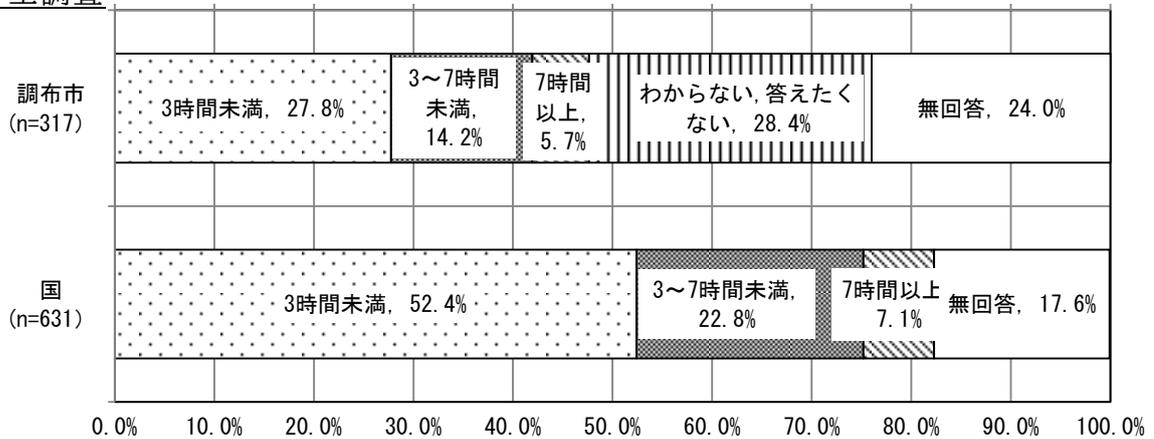


問 20. あなたは1日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

「3時間未満」が27.8%、「3時間以上7時間未満」が14.2%、「7時間以上」が5.7%となっている。

小学生調査

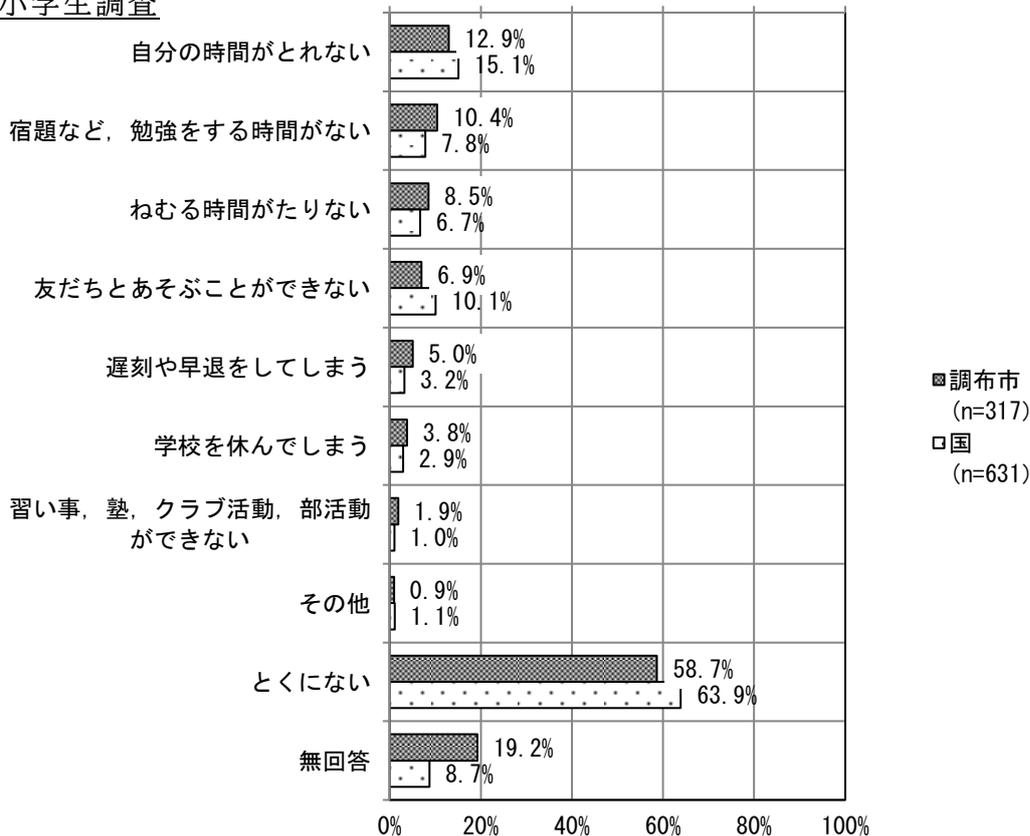


キ 世話をすることで困ること

問 21. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自分の時間がとれない」が12.9%と最も多く、次いで「宿題など、勉強をする時間がない」が10.4%、「ねむる時間が足りない」が8.5%となっている。「とくにない」は58.7%となっている。

小学生調査



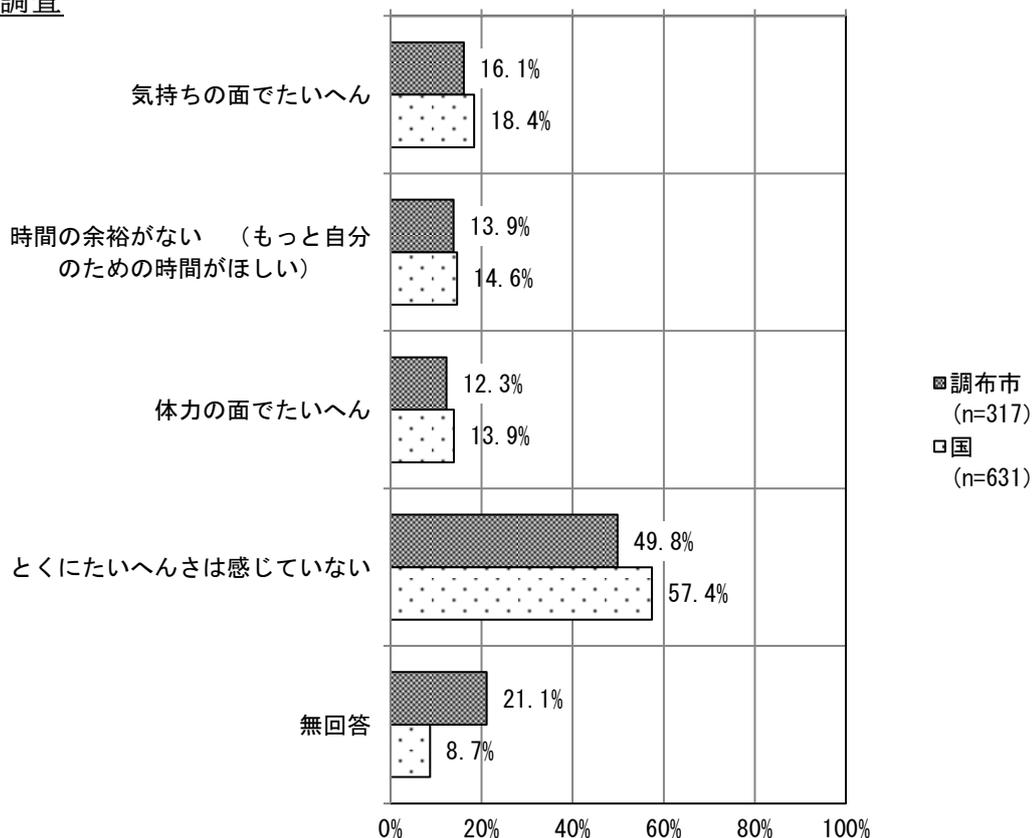
第2章 1 小学生調査

ク 世話をすることに大変さを感じているか

問 22. お世話をすることにたいへんさを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

「とくにたいへんさは感じていない」が49.8%と最も多く、次いで「気持ちの面でたいへん」が16.1%、「時間の余裕がない(もっと自分のための時間がほしい)」が13.9%、「体力の面でたいへん」が12.3%となっている。

小学生調査

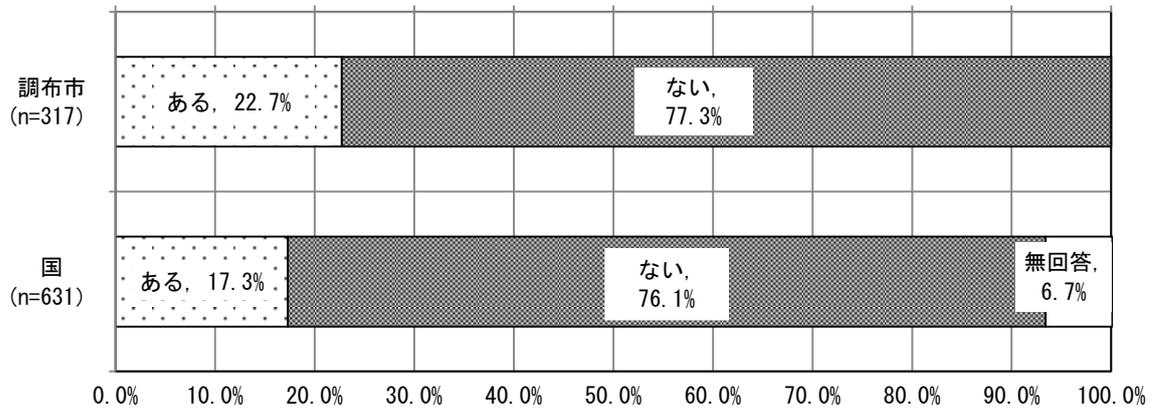


ケ 世話の悩みを相談したことがあるか

問 23. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ある」が22.7%、「ない」が77.3%となっている。

小学生調査



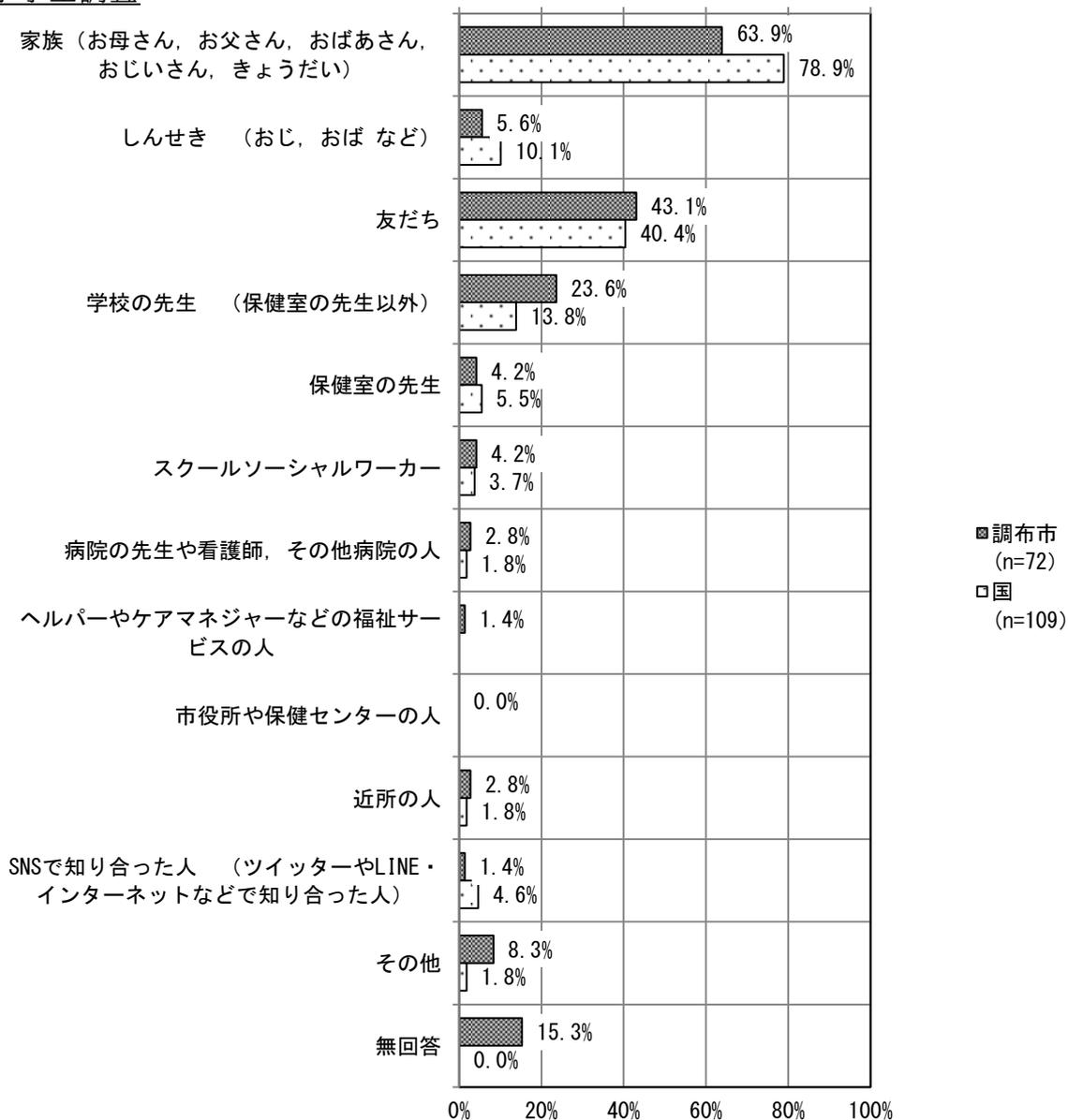
第2章 1 小学生調査

コ 相談した相手

問 24. 問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家族」が 63.9% と最も多く、次いで「友だち」が 43.1%、「学校の先生」が 23.6% となっている。

小学生調査

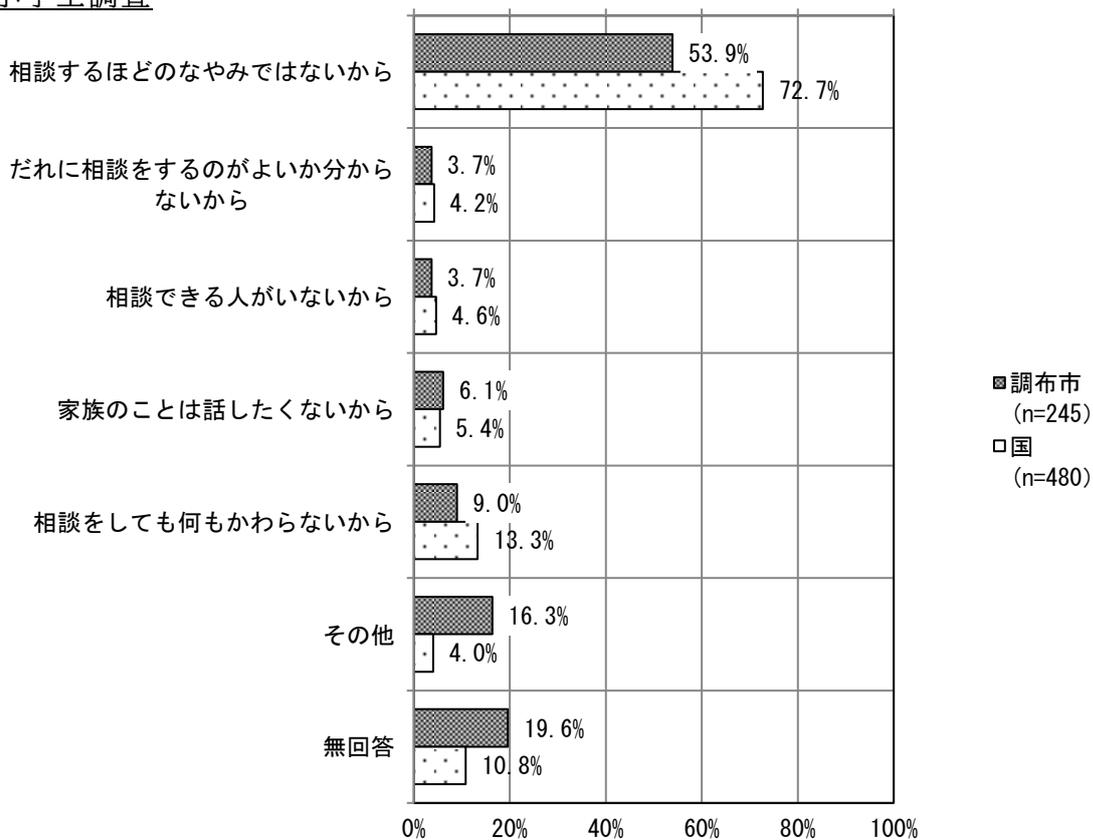


サ 相談していない理由

問 25. 問 25 と問 26 は，問 23 で，お世話をしている家族のことや，お世話のなやみをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「相談するほどの悩みではないから」が 53.9% と最も多く，次いで「相談をしても何もかわらないから」が 9.0%，「家族のことは話したくないから」が 6.1% となっている。「その他」の回答の自由記述では，「悩んでいないから」という趣旨のものが多数であった。

小学生調査



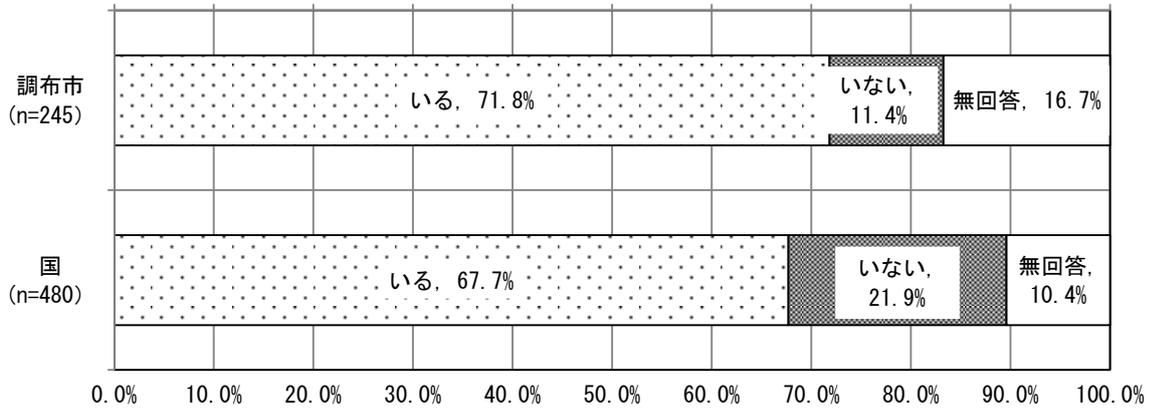
第2章 1 小学生調査

シ 世話について聞いてくれる人がいるか

問 26. お世話をしている家族のことや、お世話のなやみをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が71.8%、「いない」が11.4%となっている。

小学生調査

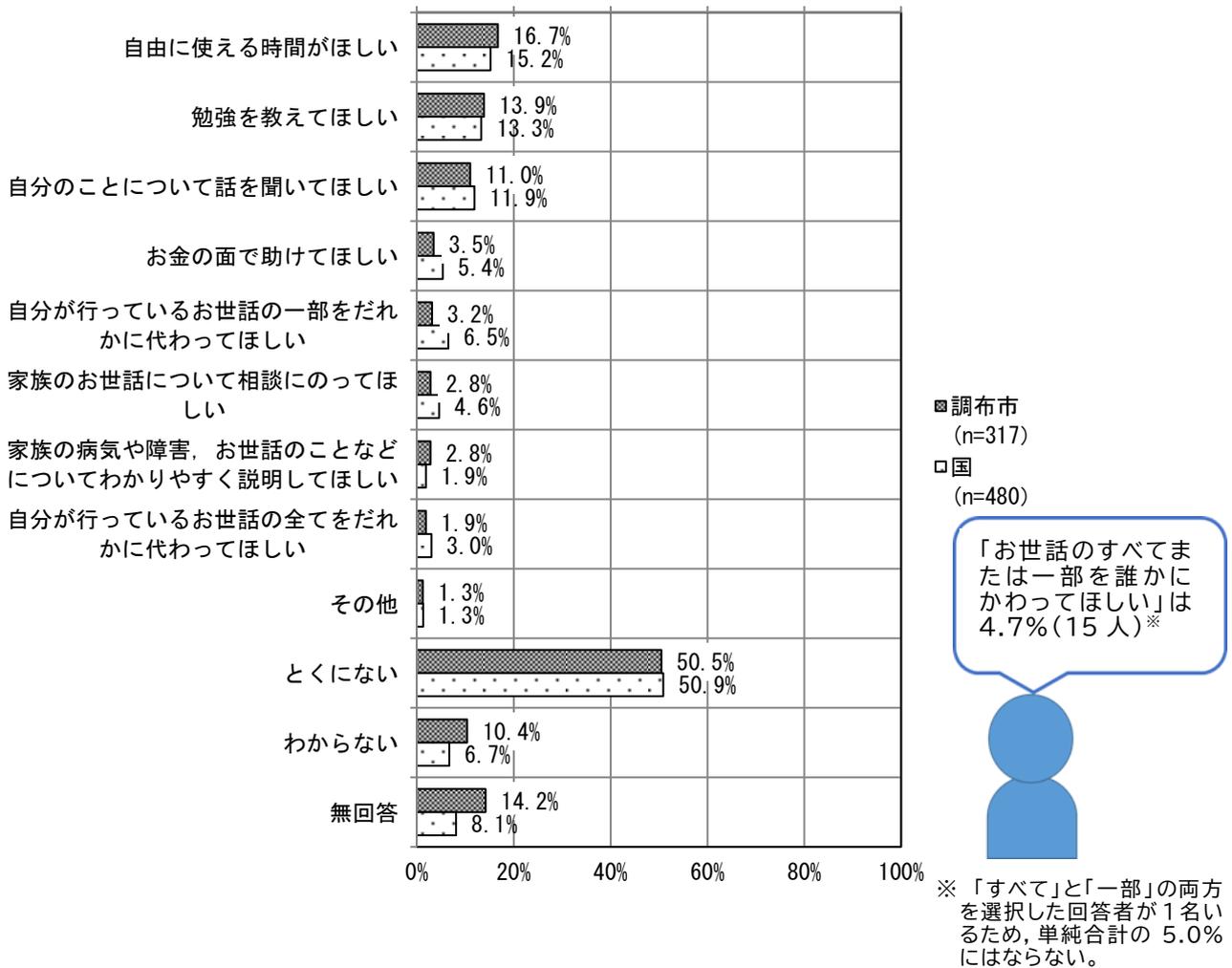


ス 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

問 27. 学校やまわりの大人にしてもらいたいことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自由に使える時間がほしい」が 16.7%と最も多く、次いで、「勉強を教えてほしい」が 13.9%、「自分のことについて話を聞いてほしい」が 11.0%となっている。「とくにない」は 50.5%となっている。

小学生調査



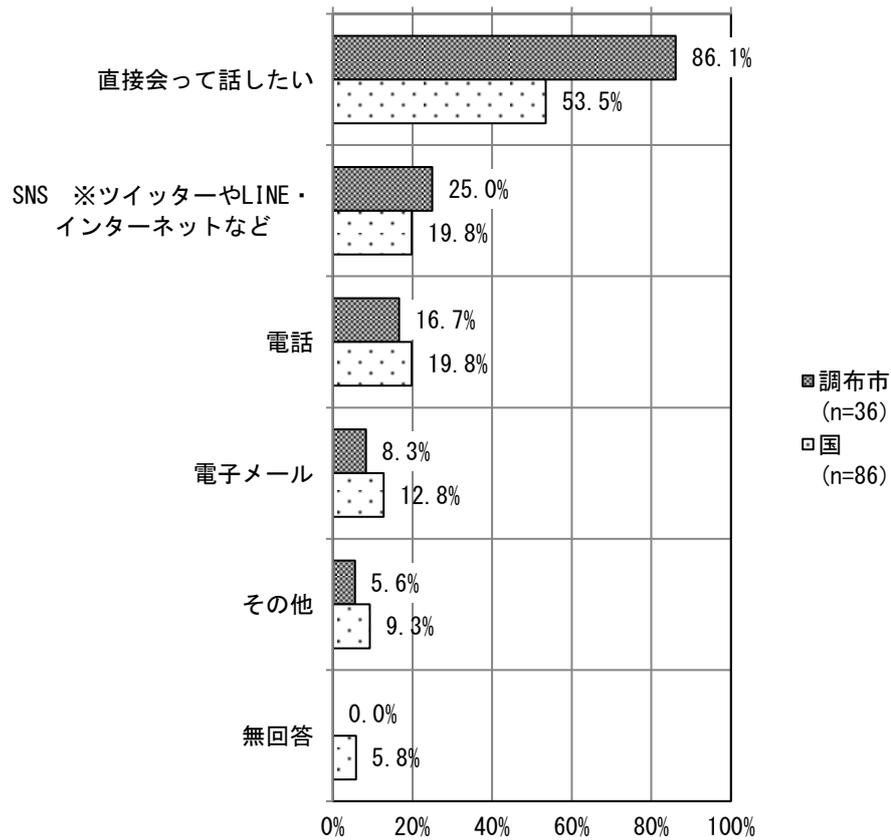
第2章 1 小学生調査

セ 希望する相談方法

問 28. 問 27 で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「直接会って話したい」が 86.1%と最も多く、次いで「SNS」が 25.0%、「電話」が 16.7%となっている。

小学生調査



2 中学生調査

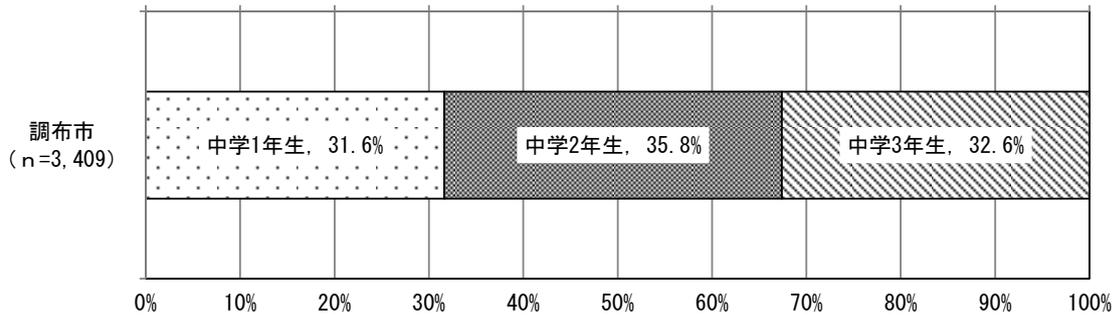
(1) 基本情報

ア 学年

問 1. あなたの学年を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「中学1年生」が31.6%、「中学2年生」が35.8%、「中学3年生」が32.6%となっている。

中学生調査

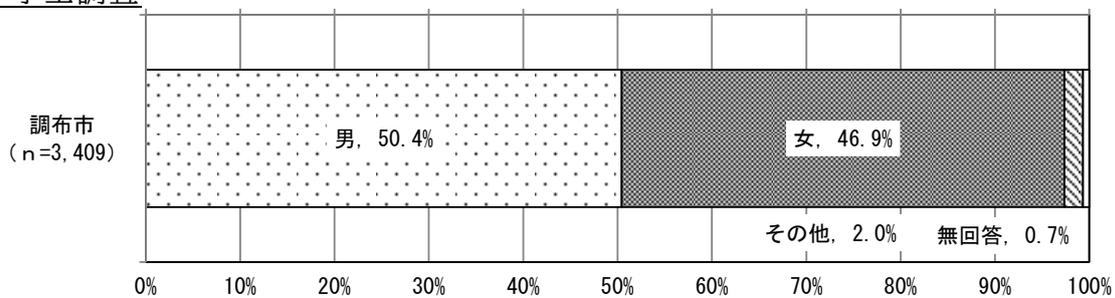


イ 性別

問 2. あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「男」が50.4%、「女」が46.9%となっている。

中学生調査



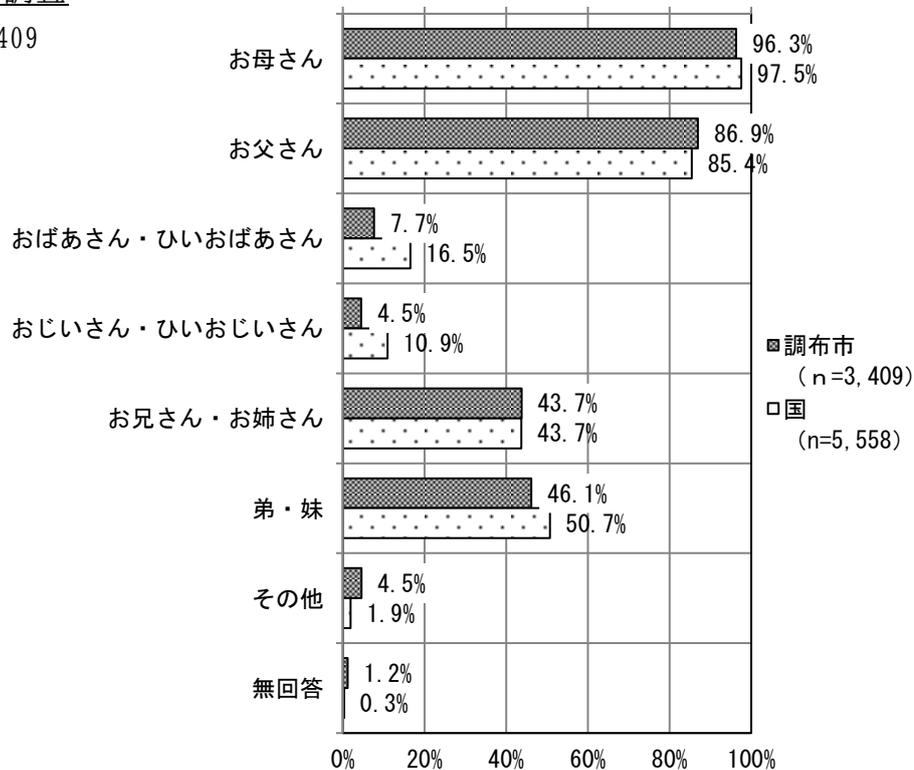
ウ 家族構成

問3. 今、いっしょに住んでいる人について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「()人」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

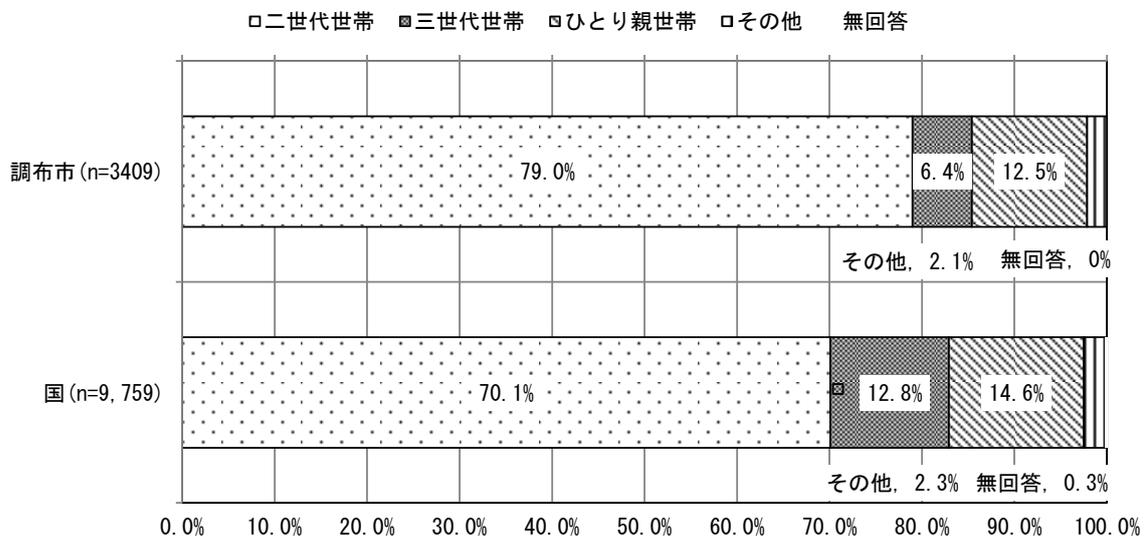
「お母さん」が96.3%と最も多く、次いで「お父さん」が86.9%、「弟・妹」が46.1%、「お兄さん・お姉さん」が43.7%となっている。

中学生調査

n=3,409



回答内容によって世帯構成を整理すると、「二世帯世帯」は79.0%、三世帯世帯（両親が二人ともいて、祖父・祖母・曾祖父・曾祖母の誰かがいる）は6.4%、ひとり親世帯（父と母のどちらか一人がいない）は12.5%となっている。

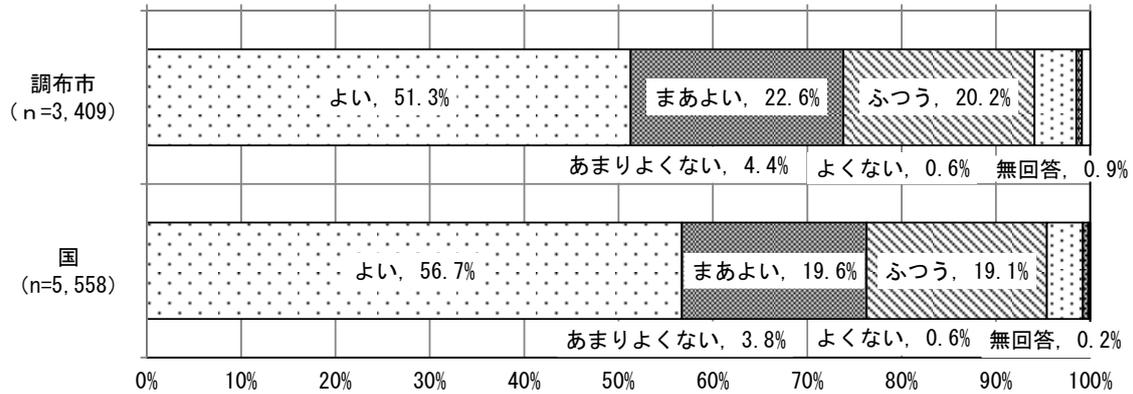


エ 体調について

問 4. あなたの体調について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「よい」が51.3%と最も多く、次いで「まあよい」が22.6%、「ふつう」が20.2%、「あまりよくない」が4.4%となっている。

中学生調査



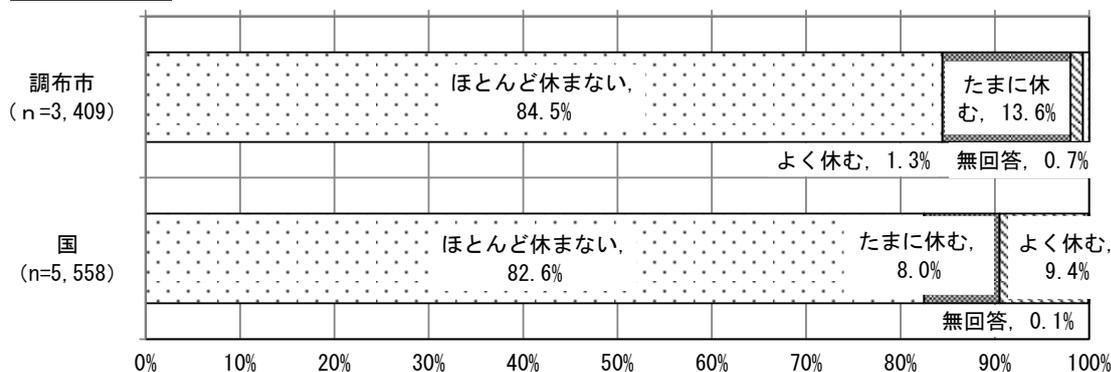
(2) ふだんの生活について

ア 学校を休むことがあるか

問 5. 学校を休むことがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんど休まない」が84.5%と最も多く、次いで「たまに休む」が13.6%、「よく休む」が1.3%となっている。

中学生調査



イ 遅刻や早退の有無

問 6. 学校に遅刻をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

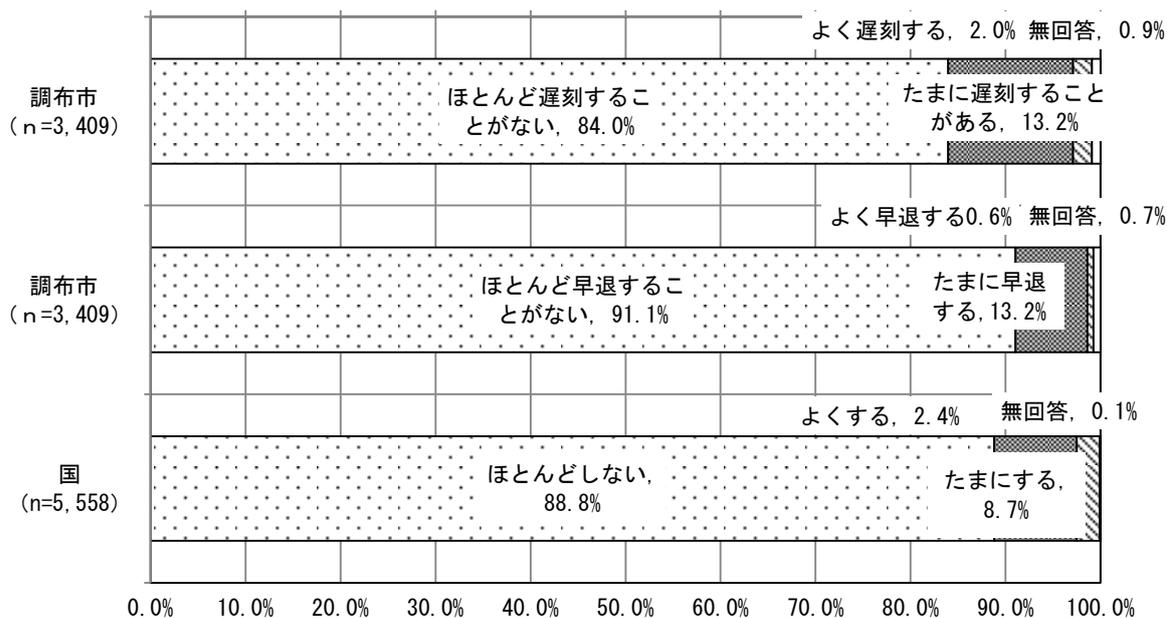
「ほとんどしない」が84.0%と最も多く、次いで「たまにする」が13.2%、「よくする」が2.0%となっている。

問 7. 学校を早退をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんど早退することがない」が91.1%と最も多く、次いで「たまに早退することがある」が13.2%、「よく早退する」が0.6%となっている。

※ 国の調査では、遅刻と早退を一つの質問で尋ねている。

中学生調査

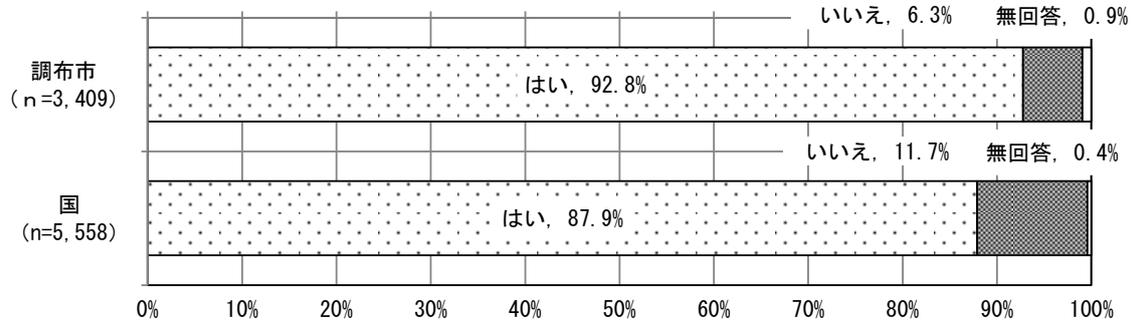


ウ 塾や習い事，クラブ活動，部活動などを行っているか

問 8. 放課後，塾(じゅく)や習い事，クラブ活動，部活動などを行っていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「はい」が92.8%，「いいえ」が6.3%となっている。

中学生調査



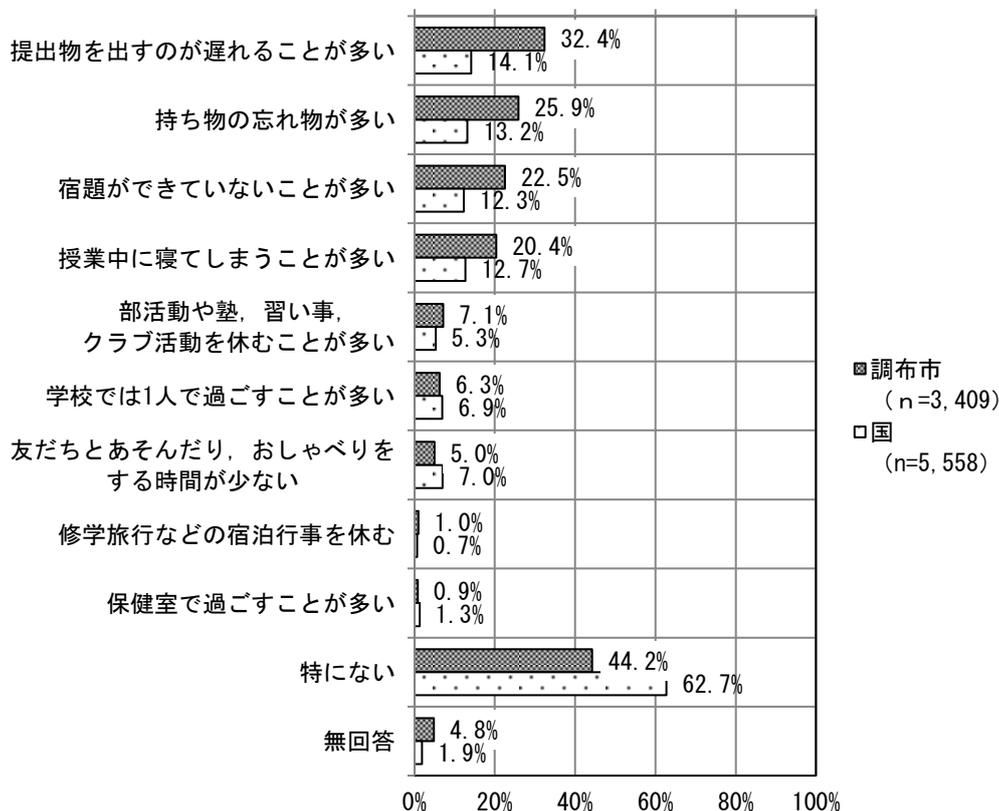
※ 国の調査では「部活動(学外での活動を含む)」に参加していますか」と質問している

工 学校生活の問題点

問 9. ふだんの学校生活において、あてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「提出物を出すのが遅れることが多い」が32.4%と最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が25.9%、「宿題ができていないことが多い」が22.5%、「授業中に寝てしまうことが多い」が20.4%となっている。「特にない」は44.2%となっている。

中学生調査

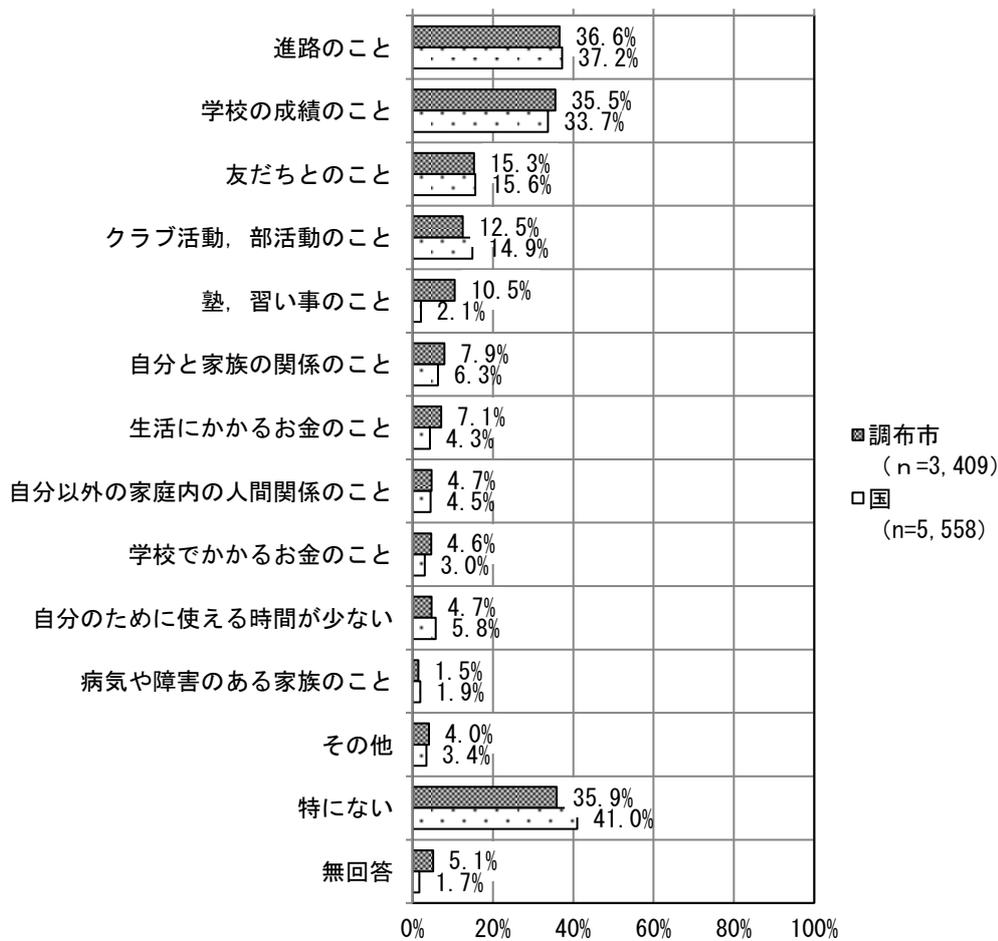


オ 悩みや困りごとの有無

問 10. 今、悩んでいることや困っていることはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「進路のこと」が36.6%と最も多く、次いで「学校の成績のこと」が35.5%、「友だちのこと」が15.3%となっている。「特にない」は35.9%となっている。

中学生調査



カ 相談相手の有無

問 11. 問 10 のような「悩み」や「困っていること」があるとき、相談をしたり、話を聞いてくれる人が近くにいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 82.4%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が 12.3%となっている。

中学生調査

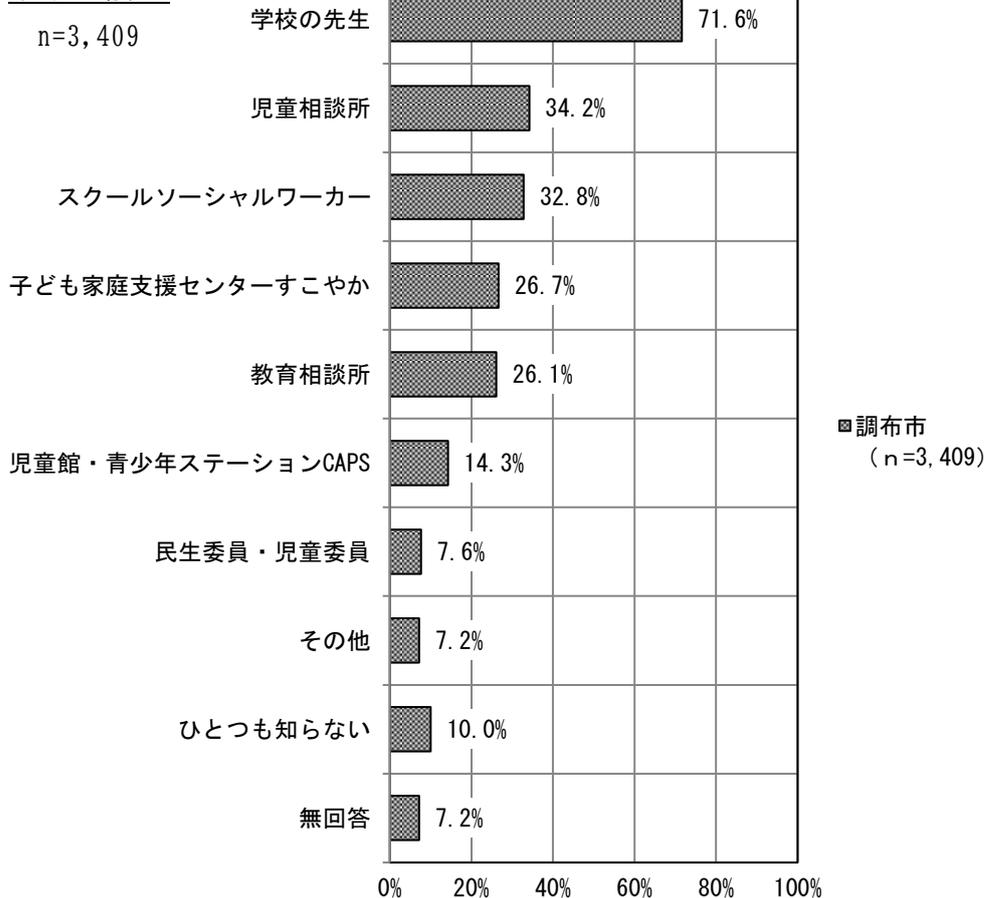


キ 相談先の認知状況

問 12. 「悩み」や「困っていること」について、相談できるところを知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

「学校の先生」が 71.6%と最も多く、次いで「児童相談所」が 34.2%、「スクールソーシャルワーカー」が 32.8%、「子ども家庭支援センターすこやか」26.7%、「教育相談所」が 26.1%となっている。「ひとつも知らない」は 10.0%となっている。

中学生調査



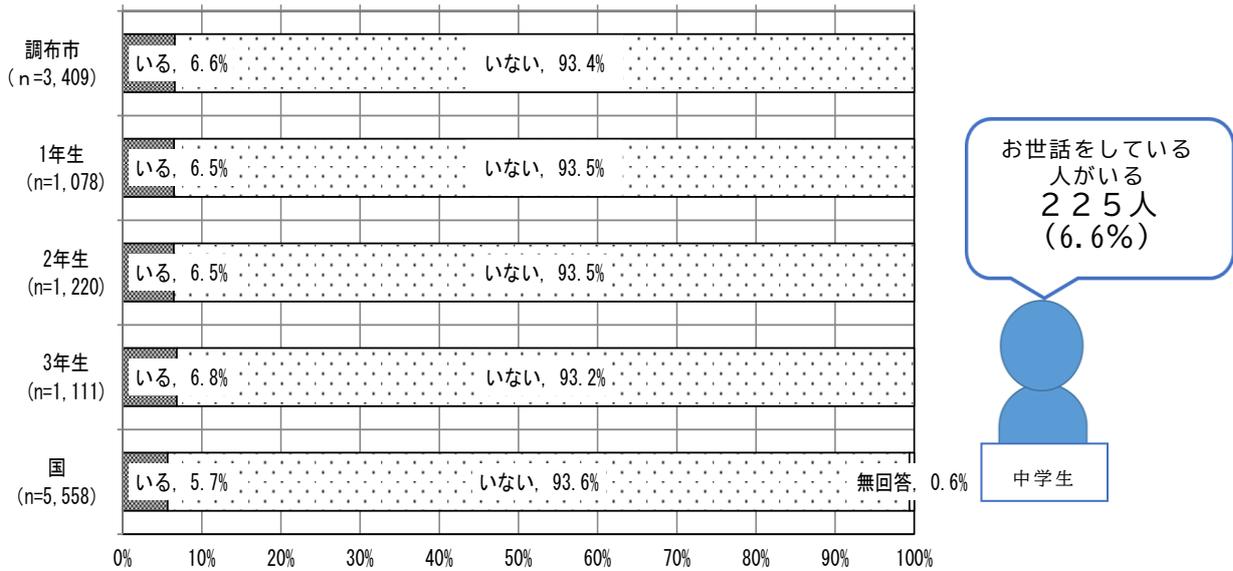
(3) 家族や家のことについて

ア 家族の世話をしているか

問 13. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。(ここで言う「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などです。)

「いる」が6.6%、「いない」が93.4%となっている。

中学生調査



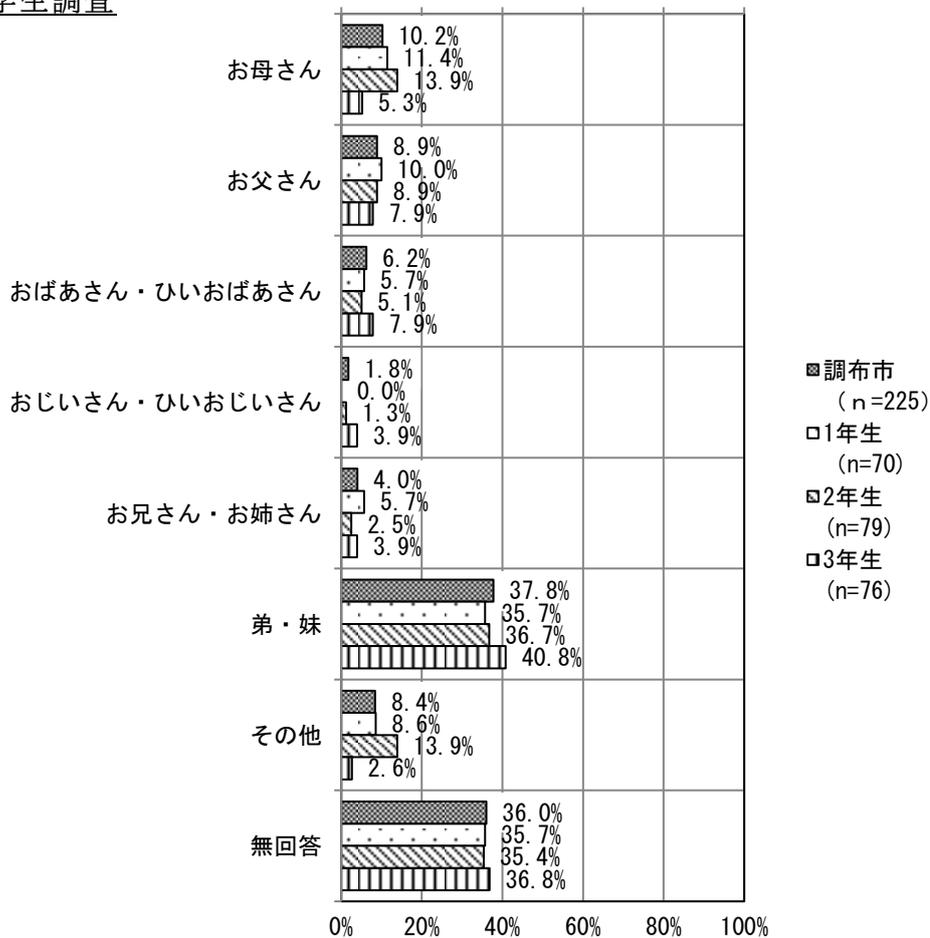
第2章 2 中学生調査

イ 世話をしている相手

問 14. 問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「弟・妹」が 37.8% と最も多く、次いで「お母さん」が 10.2%、「お父さん」が 8.9%、「おばあさん・ひいおばあさん」が 6.2% となっている。

中学生調査



ウ 世話を必要としている理由

世話をしている対象 必要な理由	15-a 父母	15-b 祖父母 曾祖父母	15-c 兄弟姉妹	15-d その他の人
回答者数	32人 (100%)	16人 (100%)	92人 (100%)	19人 (100%)
高齢のため(65歳以上)	12.5%	50.0%		10.5%
幼いため			78.3%	21.1%
介護が必要	15.6%	37.5%	4.3%	10.5%
認知症のため	15.6%	43.8%		5.3%
身体障害のため	9.4%	18.8%	3.3%	5.3%
知的障害のため	9.4%	6.3%	8.7%	10.5%
病気のため			3.3%	
こころの病気のため	12.5%	18.8%		5.3%
依存症のため	6.3%	6.3%		5.3%
その他の病気やけがのため	18.8%	6.3%		5.3%
日本語が苦手なため	12.5%	12.5%	4.3%	10.5%
その他	31.3%	6.3%	12.0%	68.4%
無回答	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%

問 15-a. この質問は、問 14 で、「お母さん」「お父さん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「お母さん」「お父さん」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「その他の病気やけがのため」が 18.8%と最も多く、次いで「介護が必要」、「認知症のため」がともに 15.6%、「高齢のため」、「こころの病気のため」、「日本語が苦手なため」がいずれも 12.5%となっている。

【「その他」の回答例】

- ・母親しかいないので仕事で家事をする時間がないという理由で家事を任されています。
- ・シングルマザーの親が仕事で忙しいため
- ・洗い物が大変だからあと洗濯機
- ・忙しい
- ・たくさん話をする。
- ・仕事が忙しいから。

第2章 2 中学生調査

問 15-b. この質問は、問 14 で、「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「高齢のため」が 50.0%と最も多く、次いで「認知症のため」が 43.8%、「介護が必要」が 37.5%となっている。

問 15-c. この質問は、問 14 で、「お兄さん・お姉さん」「弟・妹」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「お兄さん・お姉さん」「弟・妹」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「幼いため」が 78.3%と最も多く、他の選択肢はいずれも少数となっている。

【その他の回答例】

- ・勉強
- ・片付け
- ・料理が作れないから
- ・ただ単に忙しいスケジュールだから
- ・自分のことを自分でやろうとしないため
- ・小さな頃から支え合って生きてきたから
- ・親が仕事で忙しくて、姉は部活で忙しいから
- ・きちんとした礼儀ができない時があるから

問 15-d. この質問は、問 14 で、「その他」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。その人は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「その他」が 68.4%と最も多く、次いで「幼いため」が 21.1%となっている。

【その他の回答例】

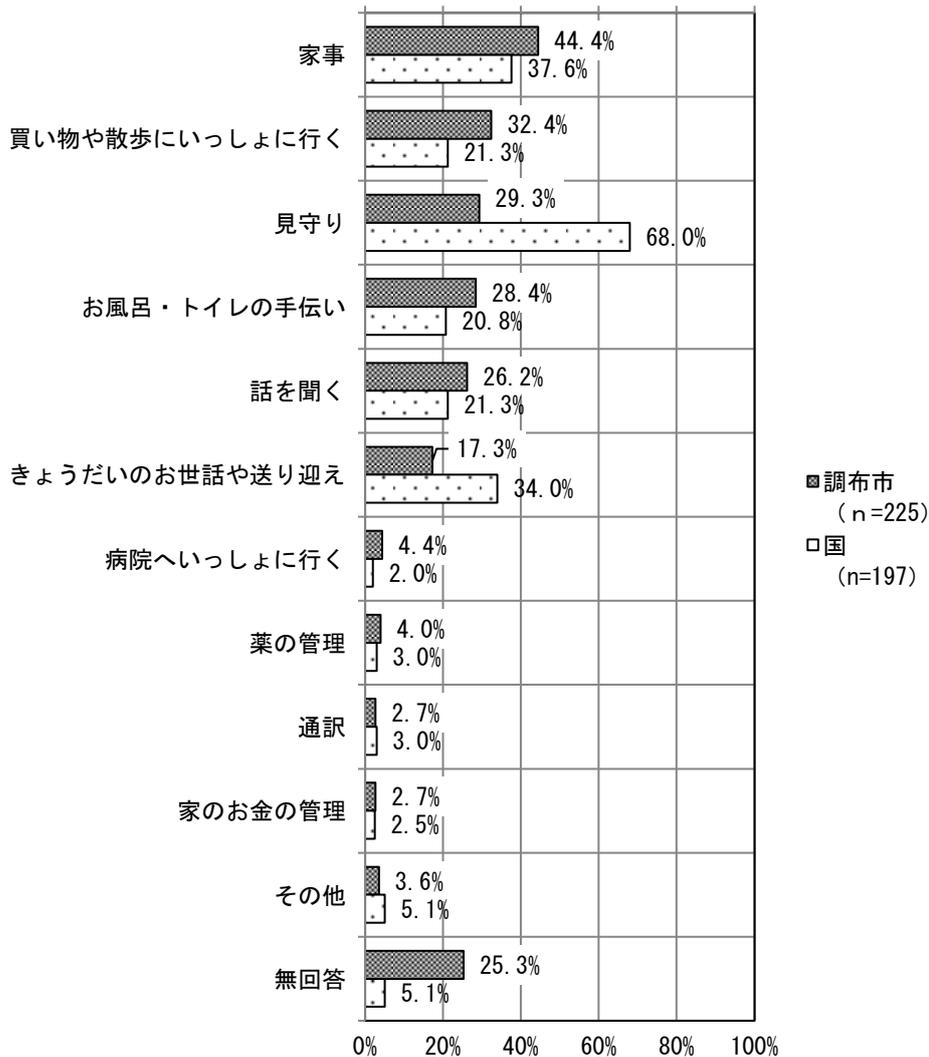
- ・猫の餌
- ・親の負担をへらすため
- ・猫だから
- ・猫
- ・犬のお世話
- ・犬であるため
- ・一人でできることが少ないから
- ・犬

エ どのような世話をしているか

問 16. あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家事」が44.4%と最も多く、次いで「買い物や散歩にいっしょに行く」が32.4%、「見守り」が29.3%、「お風呂・トイレの手伝い」が28.4%、「話を聞く」が26.2%となっている。

中学生調査



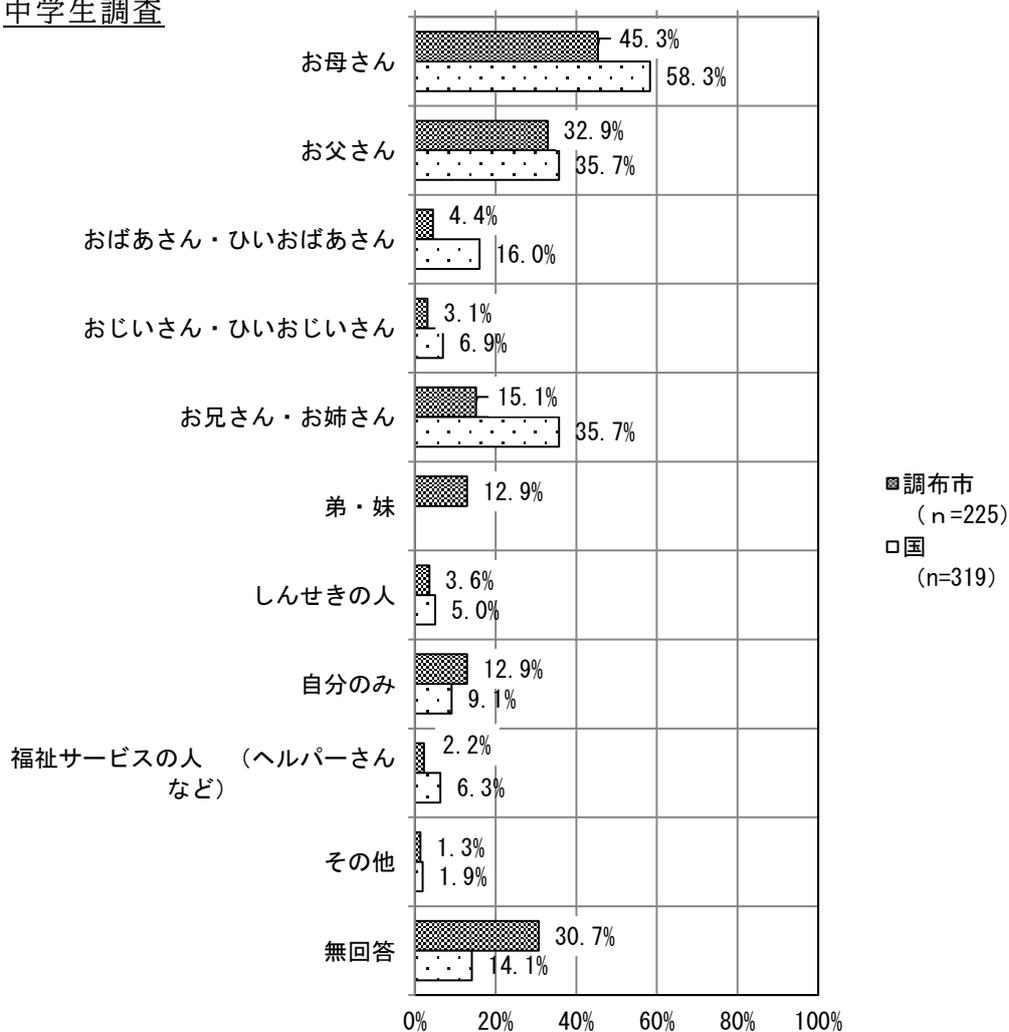
オ 一緒に世話をしている人

問 17. あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「お母さん」が45.3%と最も多く、次いで「お父さん」が32.9%となっている。

※ 国の調査では「お兄さん・お姉さん」と「弟・妹」を合わせて「きょうだい」としているため、下図では「おにいさん。おねえさん」に「きょうだい」の数値を表示している。

中学生調査



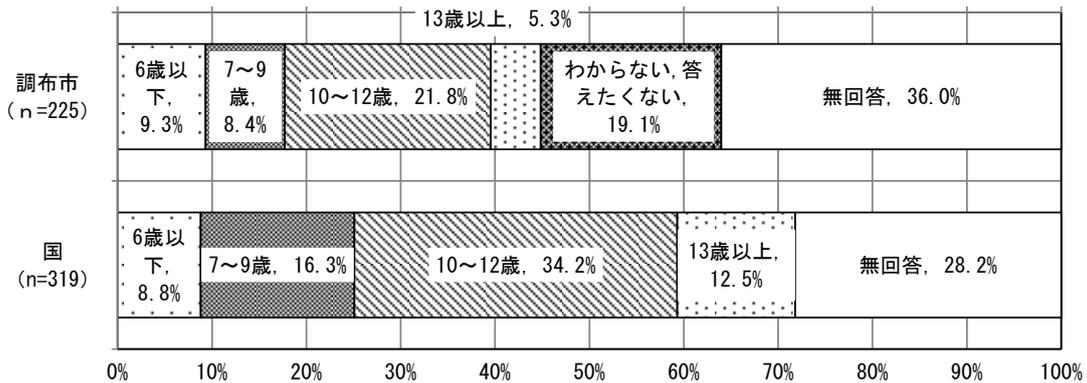
カ 世話をする頻度

問 18. あなたは何歳(さい)からお世話をしていますか。

※はっきりとわからない場合は、だいたいの年で教えてください。

10～12歳が21.8%で最も多く、6歳以下が9.3%、7～9歳が8.4%、13歳以上が5.3%となっている。

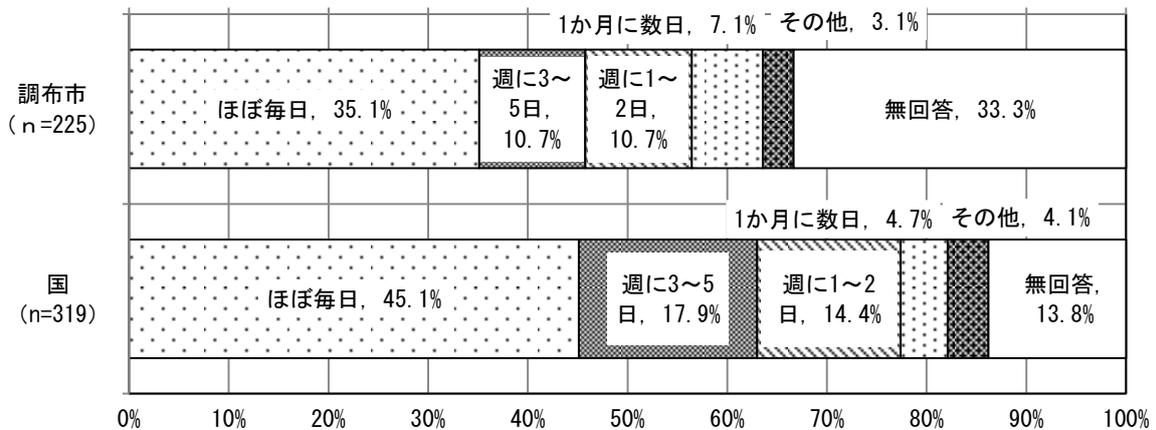
中学生調査



問 19. あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほぼ毎日」が35.1%と最も多く、次いで「週に3～5日」、「週に1～2日」がともに10.7%、「1か月に数日」が7.1%となっている。

中学生調査



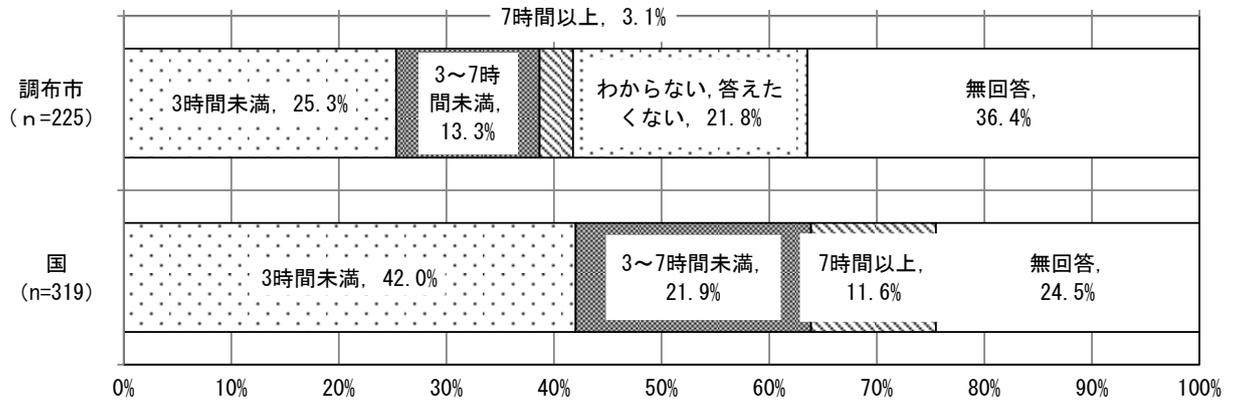
第2章 2 中学生調査

問 20. あなたは1日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

「3時間未満」が25.3%、「3時間以上7時間未満」が13.3%、「7時間以上」が3.1%となっている。

中学生調査

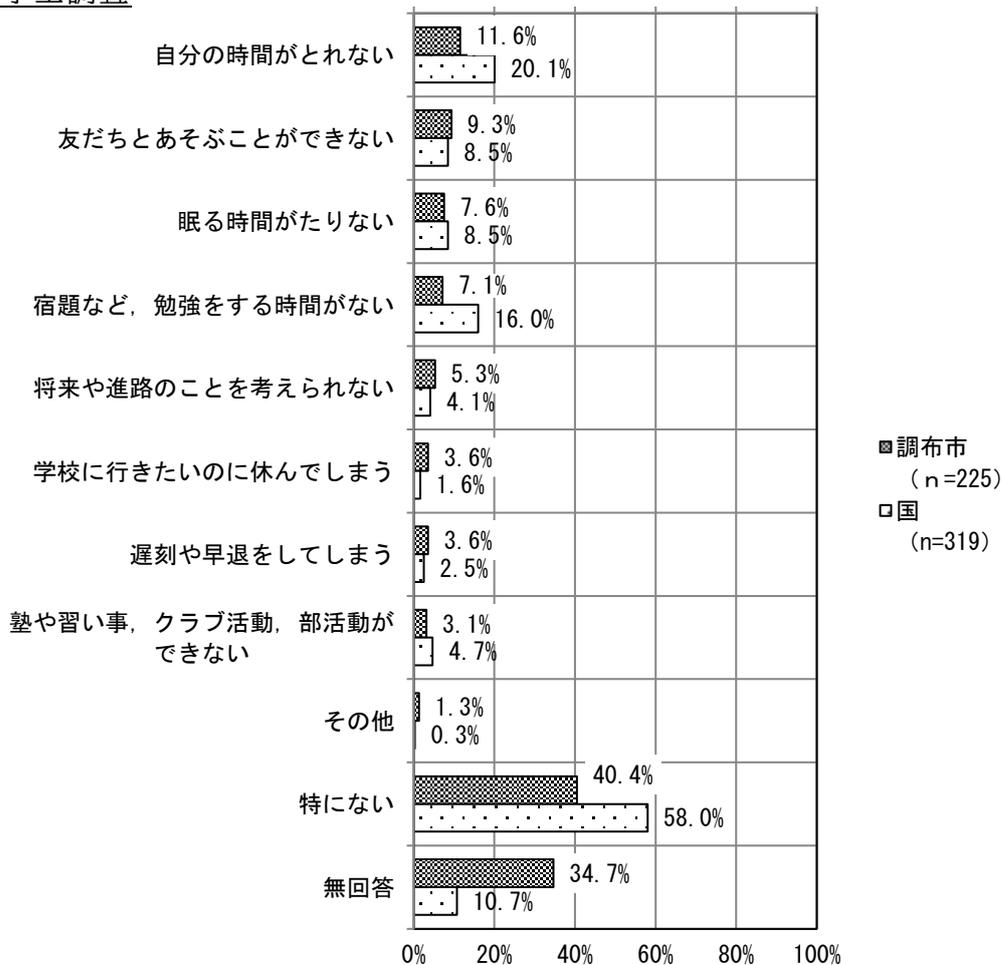


キ 世話をすることで困ること

問 21. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自分の時間がとれない」が11.6%と最も多く、次いで「友だちとあそぶことができない」が9.3%となっている。「特にない」は40.4%となっている。

中学生調査



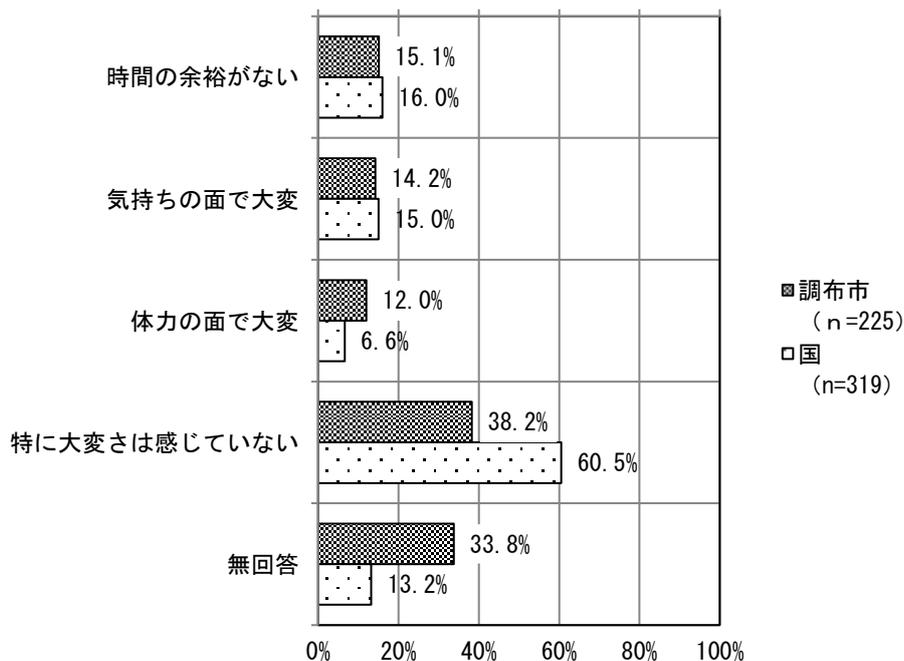
第2章 2 中学生調査

ク 世話をすることに大変さを感じているか

問 22. お世話をすることに大変さを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

「特に大変さは感じていない」が 38.2%と最も多く、次いで「時間の余裕がない（もっと自分のための時間がほしい）」が 15.1%、「気持ちの面で大変」が 14.2%、「体力の面で大変」が 12.0%となっている。

中学生調査

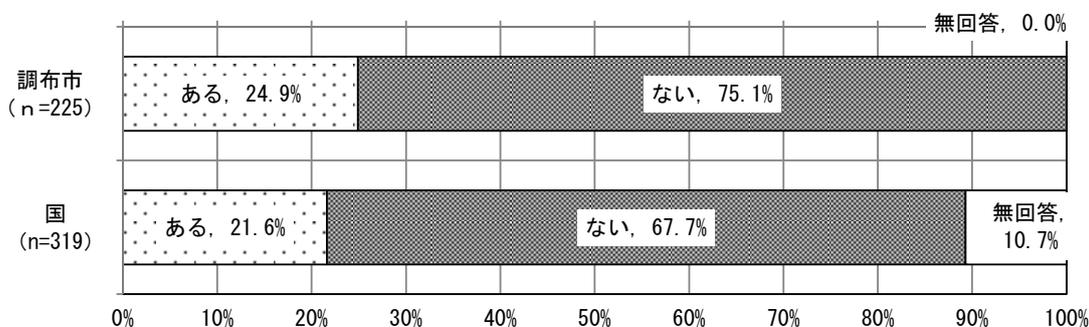


ケ 世話の悩みを相談したことがあるか

問 23. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ある」が 24.9%、「ない」が 75.1%となっている。

中学生調査

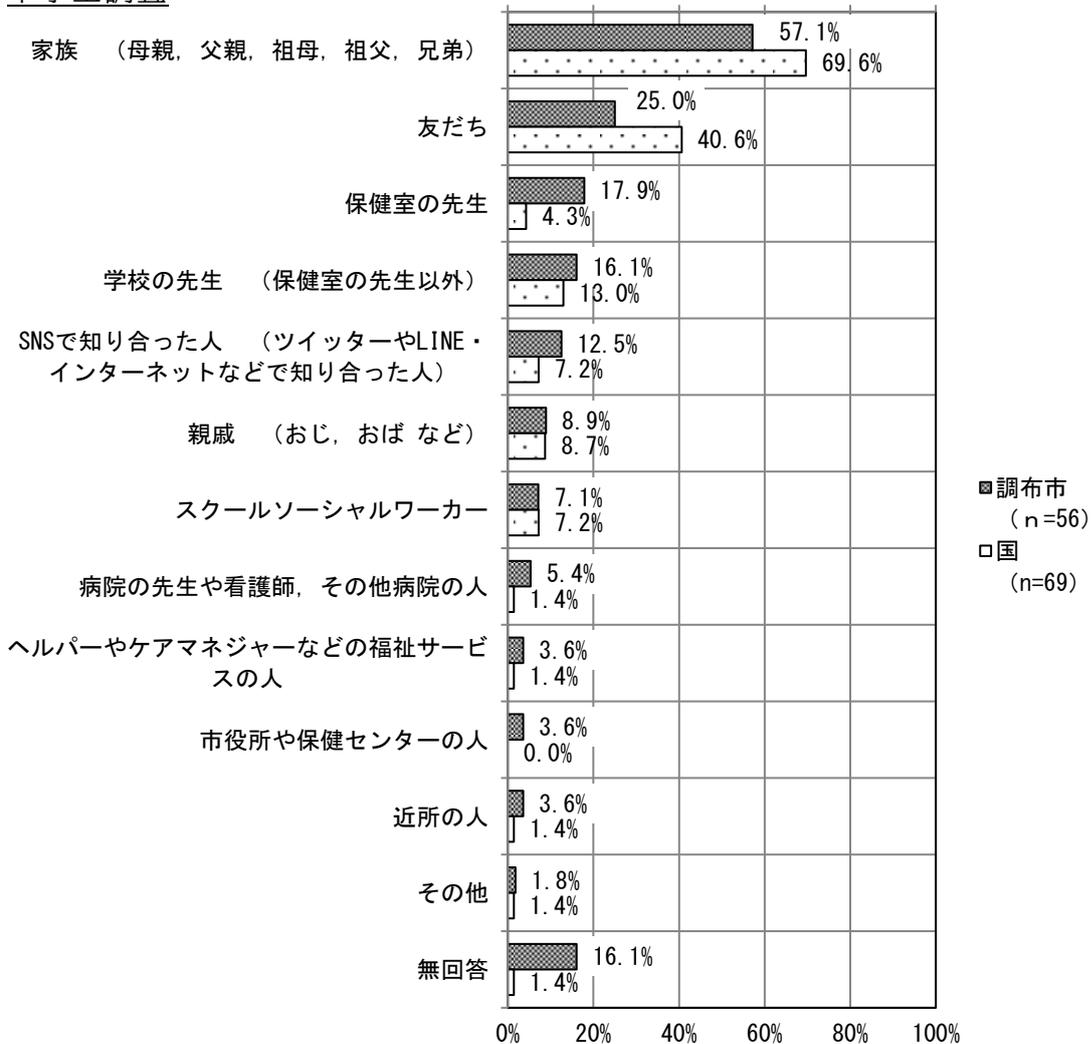


コ 相談した相手

問 24. 問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家族」が 57.1%と最も多く、次いで「友だち」が 25.0%、「保健室の先生」が 17.9%、「学校の先生（保健室の先生以外）」が 16.1%となっている。

中学生調査

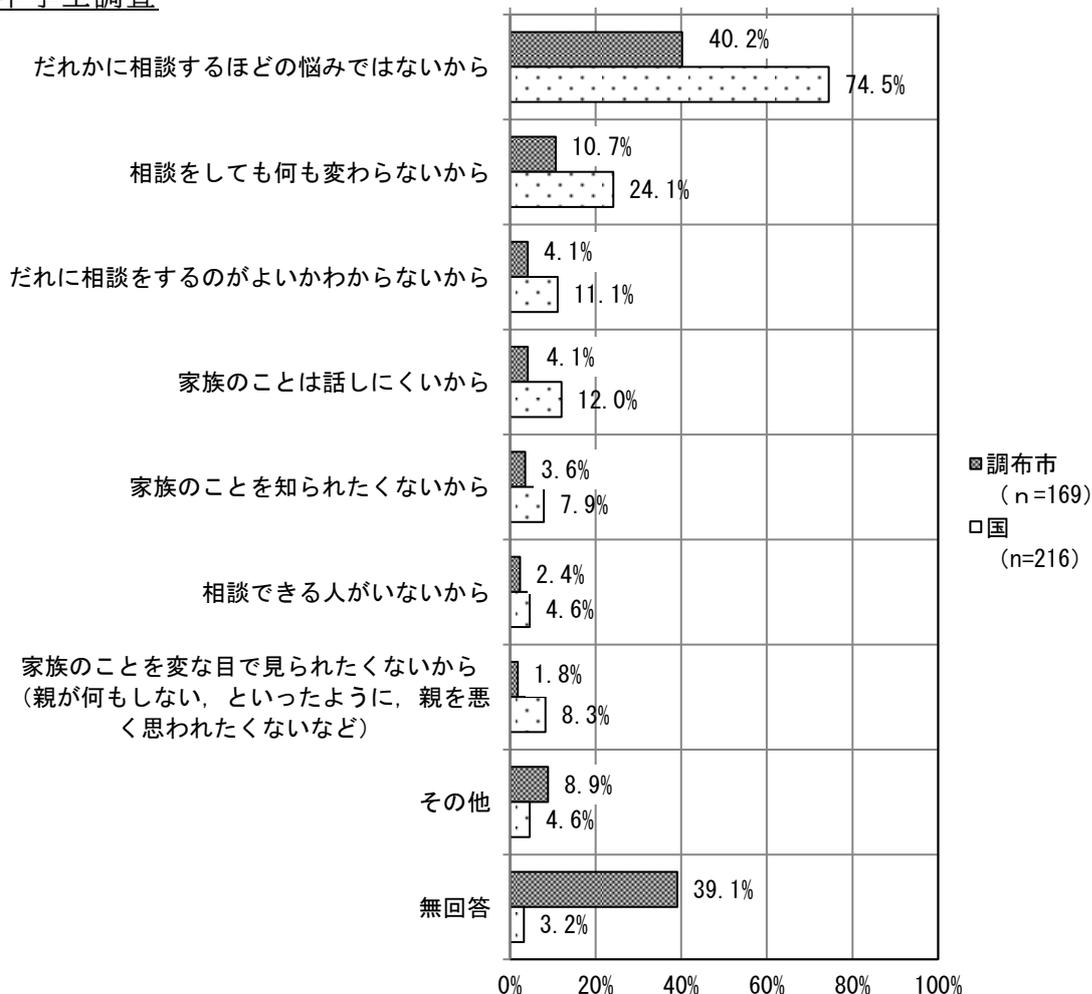


サ 相談していない理由

問 25. 問 25 と問 26 は、問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「だれかに相談するほどこまっていないから」が 40.2% と最も多く、次いで「相談をしても何も変わらないから」がそれぞれ 10.7% となっている。

中学生調査

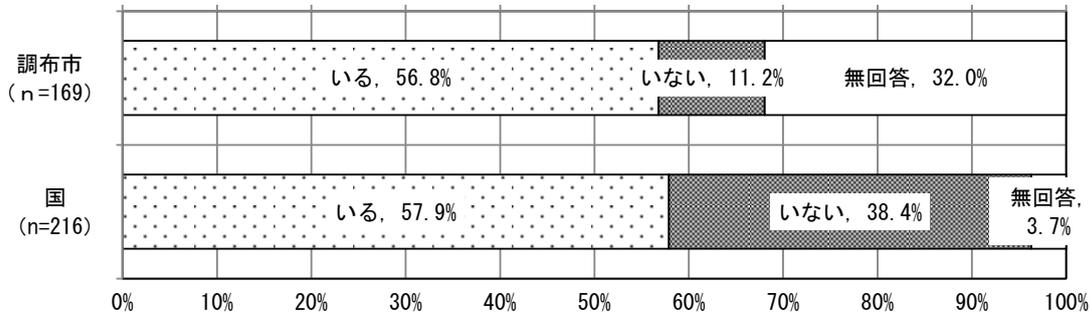


シ 世話について聞いてくれる人がいるか

問 26. お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が56.8%、「いない」が11.2%となっている。

中学生調査

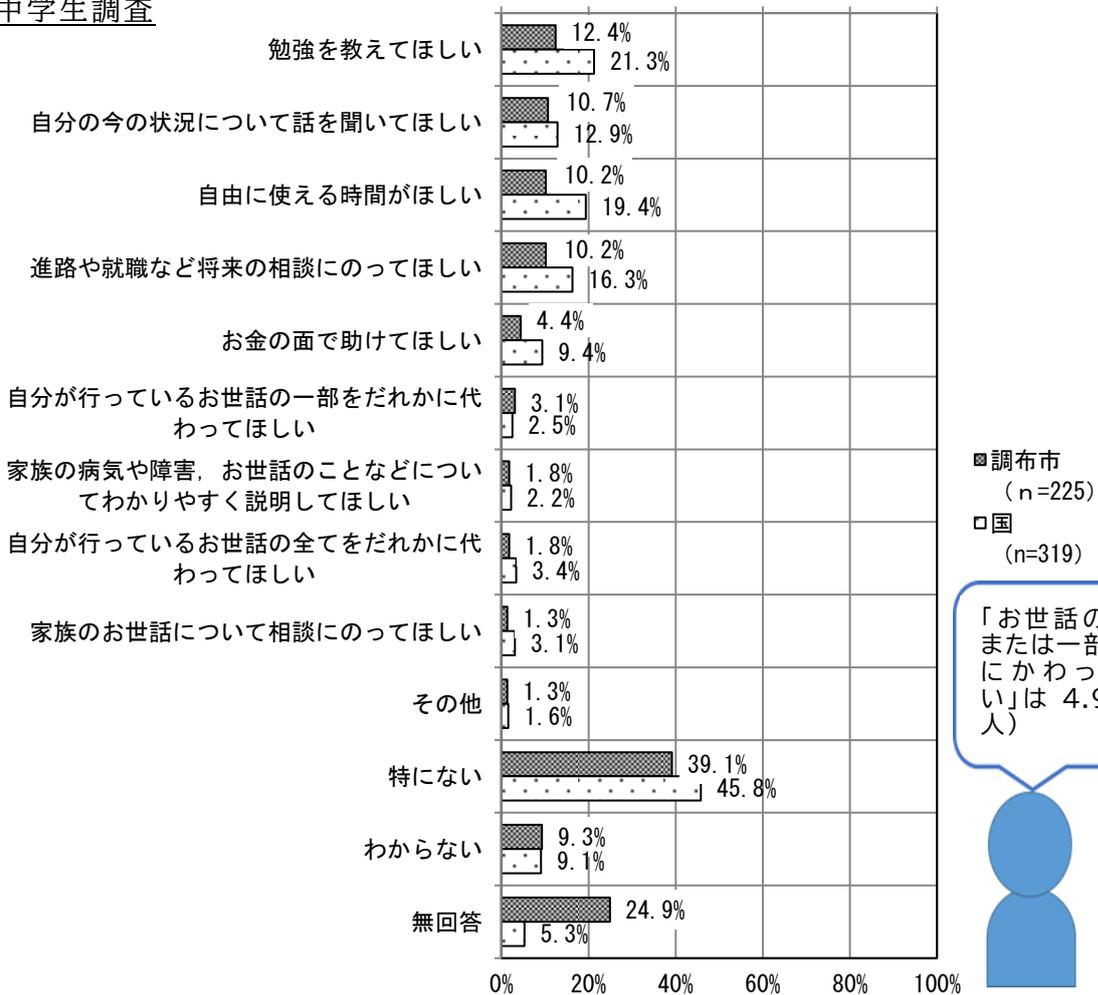


ス 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

問 27. 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「勉強を教えてほしい」が12.4%と最も多く、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」が10.7%、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」がそれぞれ10.2%となっている。「特にない」は39.1%となっている。

中学生調査



「お世話のすべてまたは一部を誰かにかわってほしい」は4.9% (11人)

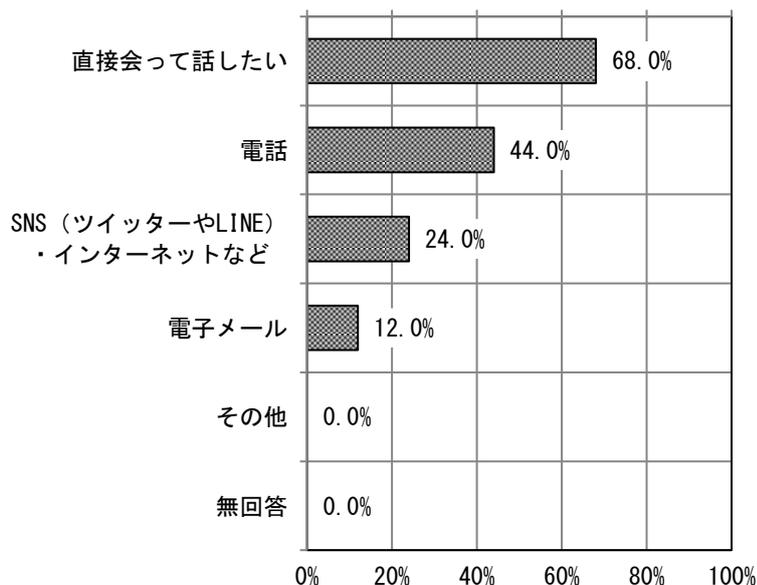
セ 希望する相談方法

問 28. 問 27 で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「直接会って話したい」が 68.0%と最も多く、次いで「電話」が 44.0%、「メール」が「SNS（ツイッターや LINE）・インターネットなど」が 24.0%、「電子メール」が 12.0%となっている。

中学生調査

n=25



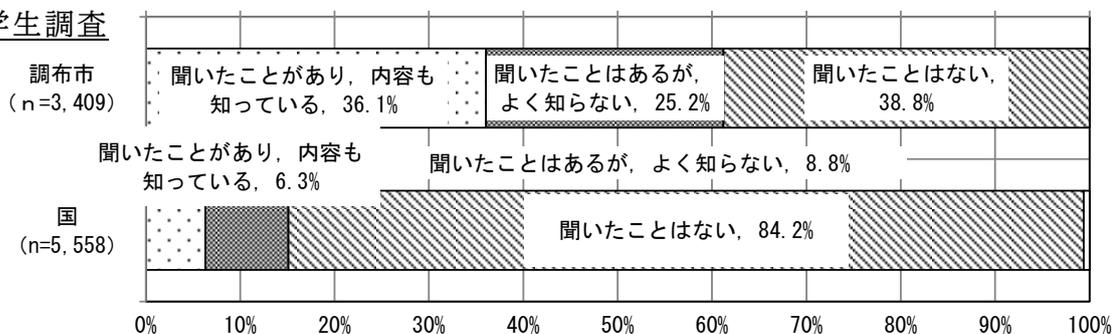
(4) ヤングケアラーについて

ア 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

問 29. 「ヤングケアラー」という言葉を、これまでに聞いたことがありましたか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「聞いたことはない」が 38.8%と最も多く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が 36.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 25.2%となっている。

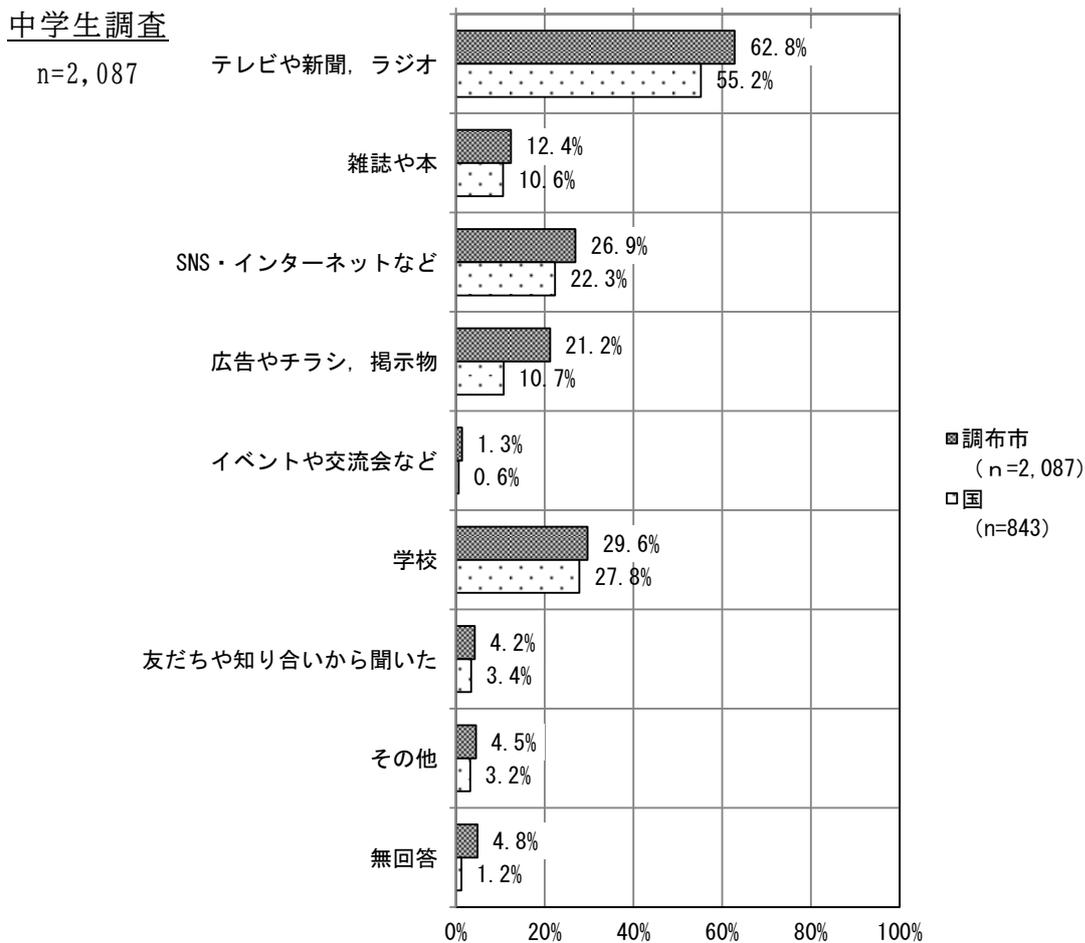
中学生調査



イ 「ヤングケアラー」という言葉を知った方法

問 30. 問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「テレビや新聞，ラジオ」が 62.8%と最も多く，次いで「学校」が 29.6%，「SNS」が 26.9%，「広告やチラシ，掲示物」が 21.2%となっている。



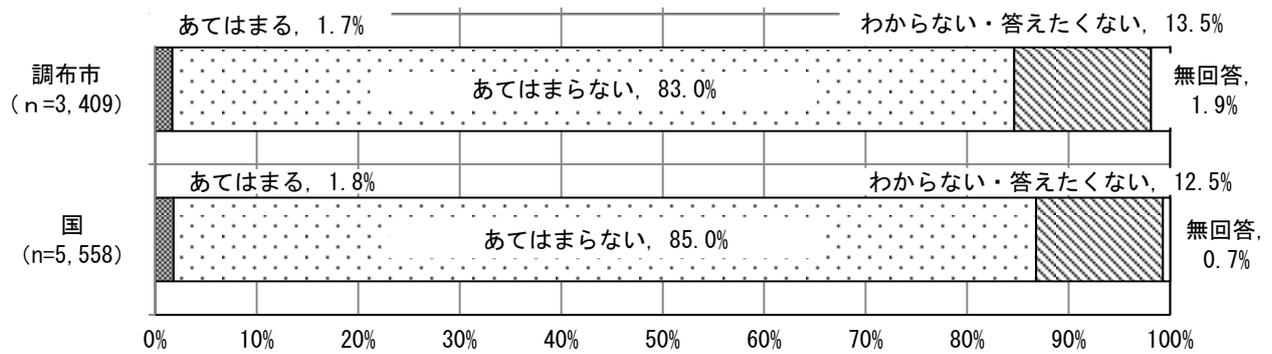
第2章 2 中学生調査

ウ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

問 31. あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「あてはまる」が1.7%、「あてはまらない」が83.0%となっている。

中学生調査



ヤングケアラーにあてはまる

58人
(1.7%)

中学生

(5) 自由意見

家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、必要だと思うこと、学校や周りの人にしてもらいたいこと、このアンケートへの感想、悩(なや)みや要望など、何でも入力してください。

ここでは、自由記述の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

【問 13 で世話をしている人が「いる」と回答した生徒の自由意見】

- ・母子家庭や所得の低い家庭に生活補助金を一律 10～30 万程度配って欲しい。
- ・母子家庭の家は家事などは子供が当たり前のようになっていると思うのでそういった面でも子どもたちの未来のために少しでも検討していただきたい。(自分の家庭含め)
- ・勉強で遅れを取ってしまう
- ・悩みなどはほとんど解決して、楽しく過ごせていると改めて思った。
- ・地方税の活用方法として社会福祉の割合をあげるべきだと考えたがガキの言うことなので聞き流してください
- ・気軽に相談できる場所があるといいと思う。
- ・学校の先生がしつこく相談に乗ると言わないこと、友達同士でヤングケアラーに理解がある雰囲気を作ることが今の日本に必要なだと思います。
- ・学校に行きたいのに無理やり休まされることが多いので、しかたなく休むので体力面や心の余裕がつかめないうえ、授業中に寝てしまうことが毎日のように多いため、助けてほしいので、学校や周りの人に知ってもらいたい
- ・家族のことを気軽に相談できるような環境を作ってあげること
- ・一人ひとりが思いやりの気持ちを持つことが大切だと思った。
- ・ヤングケアラーの対策を講じるのはいいと思うが、その結果他の人から「あいつってヤングケアラーらしいぞ」みたいな話をされそうで怖い
- ・ヤングケアラーの人はヘルパーさんや親戚の人などに手伝ってもらい、自分の時間を増やすことが必要だと思う
- ・自分が家事を行っていることは周りの人に言いにくいいためこのようなアンケートができてうれしい。
- ・その子供が少しでもやりたいことや、自由な時間を確保してあげられるような環境をつくる。家庭の状況をその人が困らない、嫌がらない程度に聞いてあげる。お金の面で国、市などから補助金を出してあげる。
- ・クラウドファンディングのプロジェクトとかたちあげてお金を上げてサポートする
- ・いつもお世話している人の負担を減らすために、市などがお手伝いさんを派遣するなど1人に負担がかかりすぎないようにするような取り組み。
- ・今ヤングケアラーという人がいる限り自分もそういう人の助けをしたい。じぶんがもしヤングケアラーになったら誰かに相談したい。

【お世話する人が「いない」と回答した生徒の自由意見】

- ・「スクールカウンセラーや先生に相談する」ということがあまりメジャーではないせい
か、変わっているとか、みんなしていないから変、隠さなきゃいけない、というイメ
ージに繋がるような空気があり、相談しにくい人が多いと思います。学校の先生方は
とても忙しく大変だと思いますが、普段から生徒と先生が気軽に会話できるような環
境と空気感を作って欲しいです。悩み事だけでなく、気になることや楽しかったこと、
興味があることなどなんでも気軽に話せるような環境もあるといいと思います。
- ・「ヤングケアラー」と呼ばれる子供たちは、孤独な思いをしていると思う。自分にでき
ることは少ないが、困っている友達がいたら大人に相談するなど、自分にできること
を考え、行動に移すことでこの問題の解決に近づきたい。
- ・「相談することはイレギュラー」という社会の考えを捨てたほうがいいと思う。全員が
そう思ってるわけではないと思うし、みんな意識してのことじゃないと思うけど、あ
まりその考えは自分は好きじゃないです。気軽に相談してくださいと言っても相談窓
口などに相談することはイレギュラーであるという考えのせいで相談にくい人もたく
さんいると思う。だから社会の考え方から見直したほうがいいと思う。
- ・【必要だと思うこと】機能していない市や国の対応している部署がちゃんと働くこと。
ヤングケアラー担っている人自身が現状を伝え対応しやすくすること。

【感想】ヤングケアラーとは何かについて知ることができ良い学びになった。

- ・いざというときに助けてもらえる環境が必要。
- ・学校関係者には、子供たちと無駄話でもいいから、気軽に話せるようにしてほしい。
- ・一人になれるところがほしい。
- ・こういったアンケートが行われているということが、ヤングケアラーに対する理解を、
社会全体で持とうとしているということのあらわれなのではないかと思いました。自
分はヤングケアラーではないから、当事者にどのような対応がされているのかわから
ないけれど、ヤングケアラーの人が相談しやすい環境が整えられているのか知りたい
と思いました。
- ・この内容は決して保護者にいつてほしくはないのですがヤングケアラーとかそういう
問題以前に親との喧嘩や親と親同士の日常における喧嘩 自分が何かしたからといっ
て足を蹴られ 首を引っ掛かれとても辛いです。そういう内容だった場合警察に届け
出た方がいいでしょうか？
- ・このアンケートを通してヤングケアラーのことをもっと詳しく知りたいと思いました。

3 高校生世代調査

※ 国の調査の値は「全日制高校 2 年生」のものを使用している。

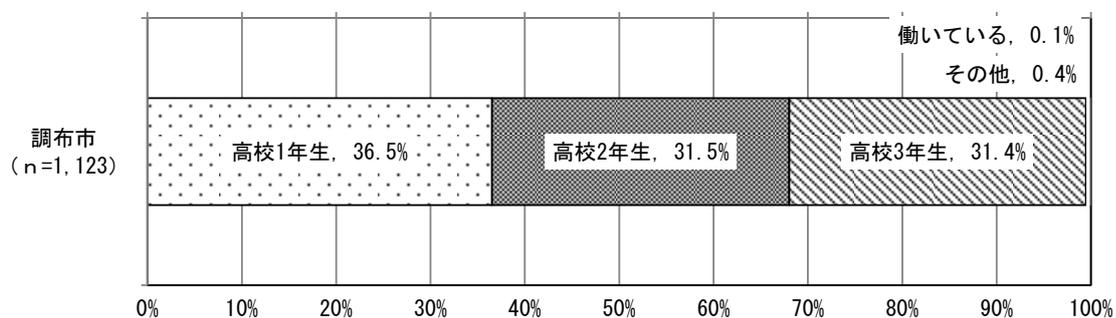
(1) 基本情報

ア 学年

問 1. あなたの学年を教えてください。「その他」に該当する方は、令和4年11月1日現在の年齢を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「高校1年生」が36.5%、「高校2年生」が31.5%、「高校3年生」が31.4%となっている。

高校生世代調査

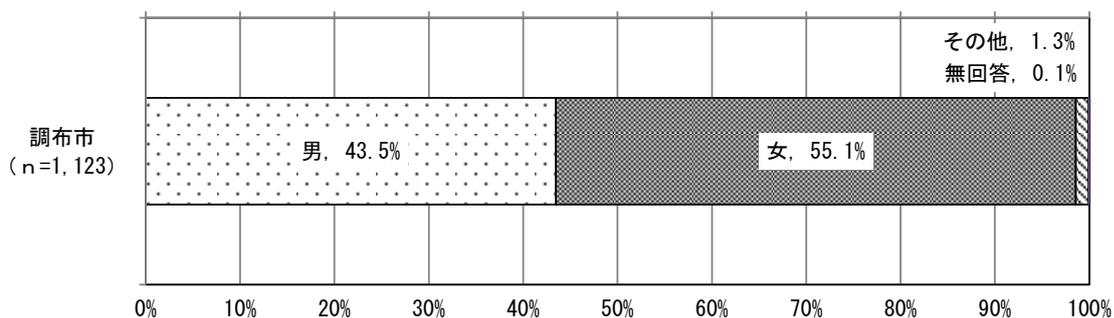


イ 性別

問 2. あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「女」が55.1%、「男」が43.5%となっている。

高校生世代調査

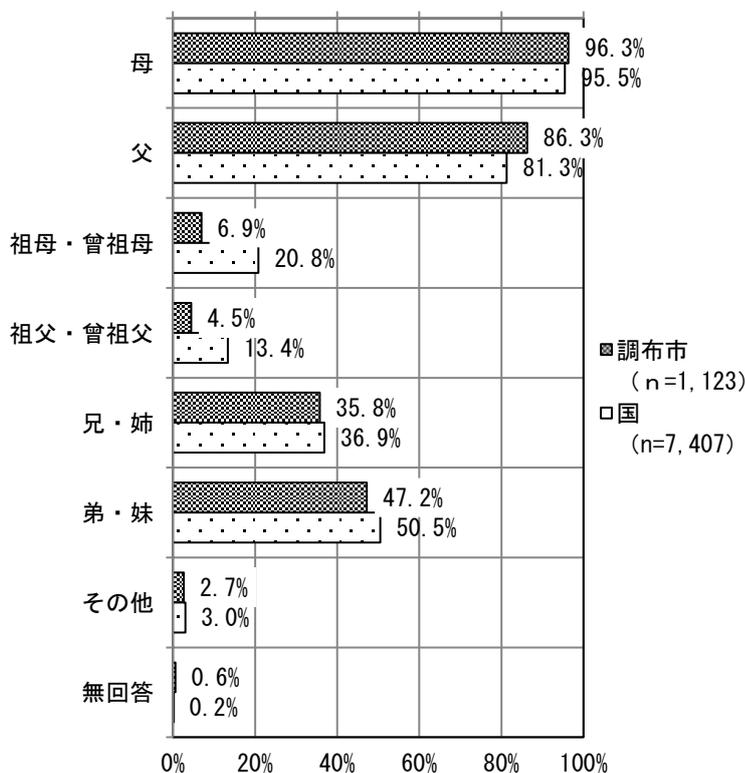


ウ 家族構成

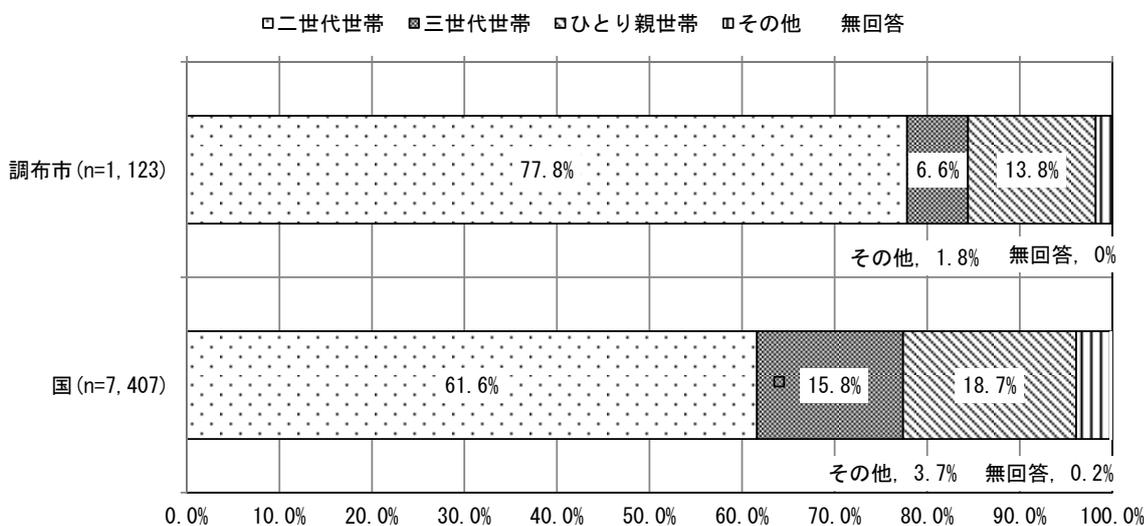
問3. 今、一緒に住んでいる家族について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「()人」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

「母」が96.3%と最も多く、次いで「父」が86.3%、「弟・妹」が47.2%、「兄・姉」が35.8%となっている。

高校生世代調査



回答内容によって世帯構成を整理すると、「二世帯世帯」は77.8%、三世帯世帯（両親が二人ともいて、祖父・祖母・曾祖父・曾祖母の誰かがいる）は6.6%、ひとり親世帯（父と母のどちらか一人がない）は13.8%となっている。

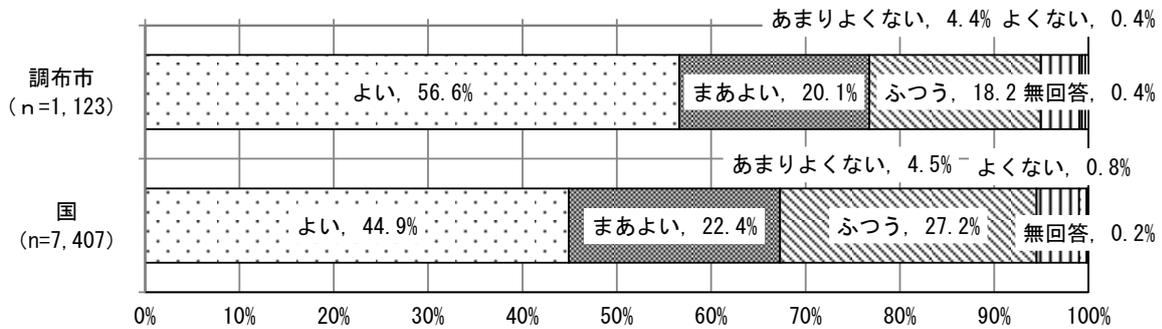


工 健康状態

問 4. あなたの健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「よい」が56.6%、「まあよい」が20.1%、「ふつう」が18.2%、「あまりよくない」が4.4%となっている。

高校生世代調査



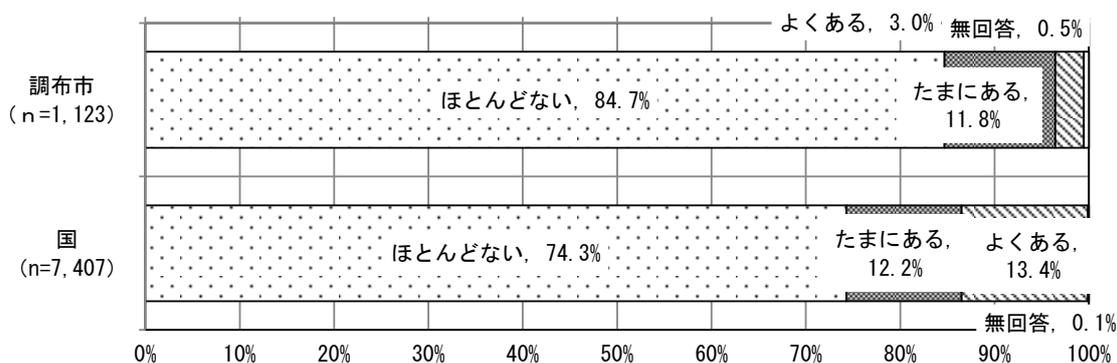
(2) ふだんの生活について

ア 通学等の状況

問5. あなたは、学校や仕事に行けないことがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんどない」が84.7%と最も多く、次いで「たまにある」が11.8%、「よくある」が3.0%となっている。

高校生世代調査



イ 遅刻や早退の有無

問6. あなたは、学校や仕事に遅刻することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

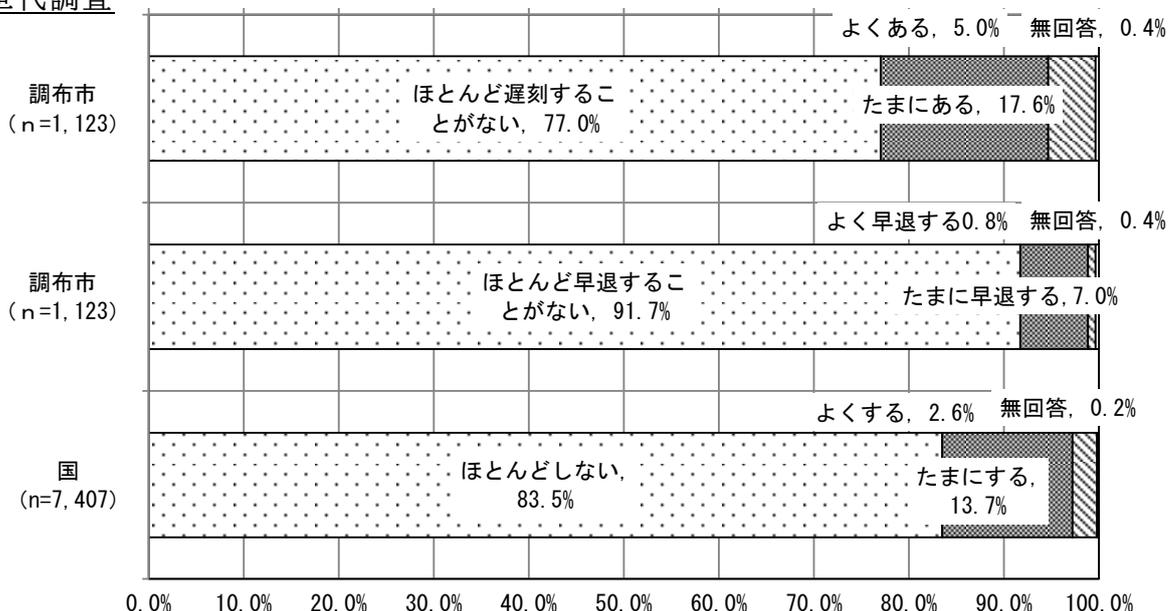
「ほとんどない」が77.0%と最も多く、次いで「たまにある」が17.6%、「よくある」が5.0%となっている。

問7. あなたは、学校や仕事を早退することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんどない」が91.7%と最も多く、次いで「たまにある」が7.0%、「よくある」が0.8%となっている。

※ 国の調査では、遅刻と早退を一つの質問で尋ねている。

高校生世代調査

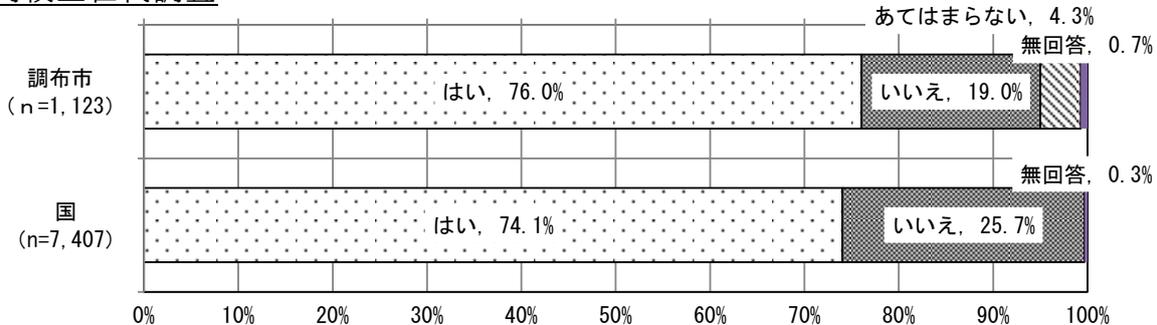


ウ 部活動等への参加状況

問 8. 授業や仕事の後に、部活動や塾，習い事，クラブ活動などをしていきますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「はい」が76.0%，「いいえ」が19.0%となっている。

高校生世代調査



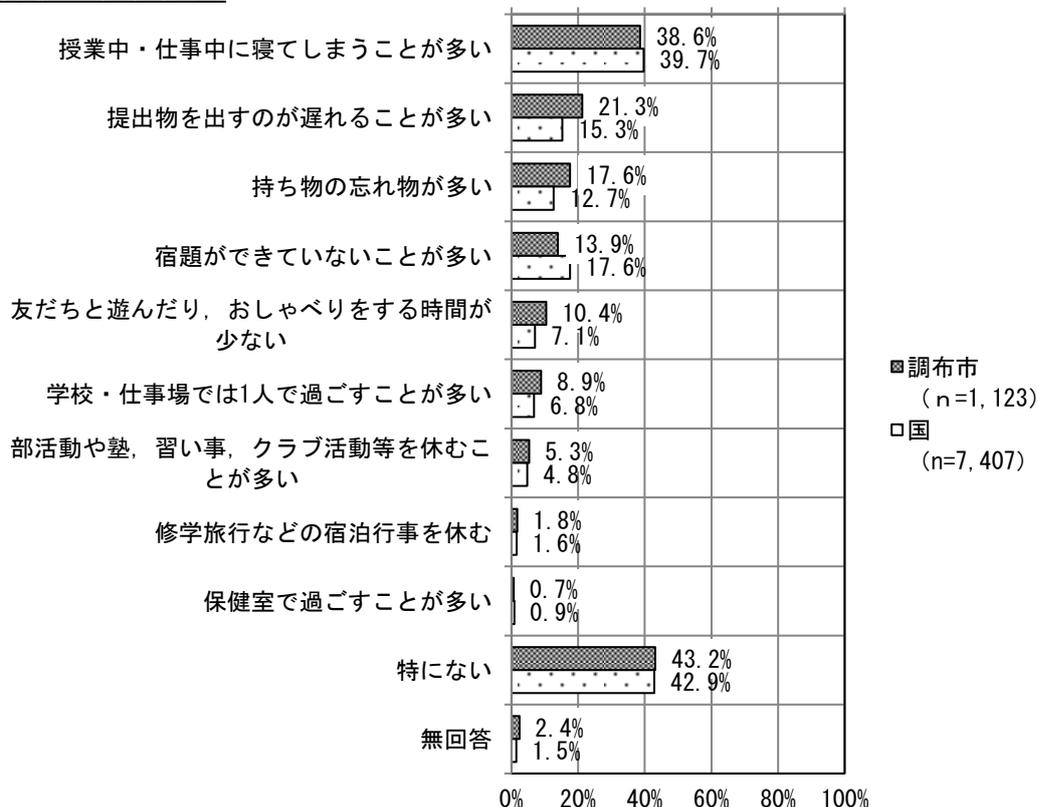
※ 国の調査では「部活動(学外での活動を含む)に参加していますか」と質問している

エ 学校生活等の問題点

問 9. 普段の生活において、あてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「授業中・仕事中に寝てしまうことが多い」が38.6%と最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が21.3%，「持ち物の忘れ物が多い」が17.6%となっている。「特にない」は43.2%となっている。

高校生世代調査

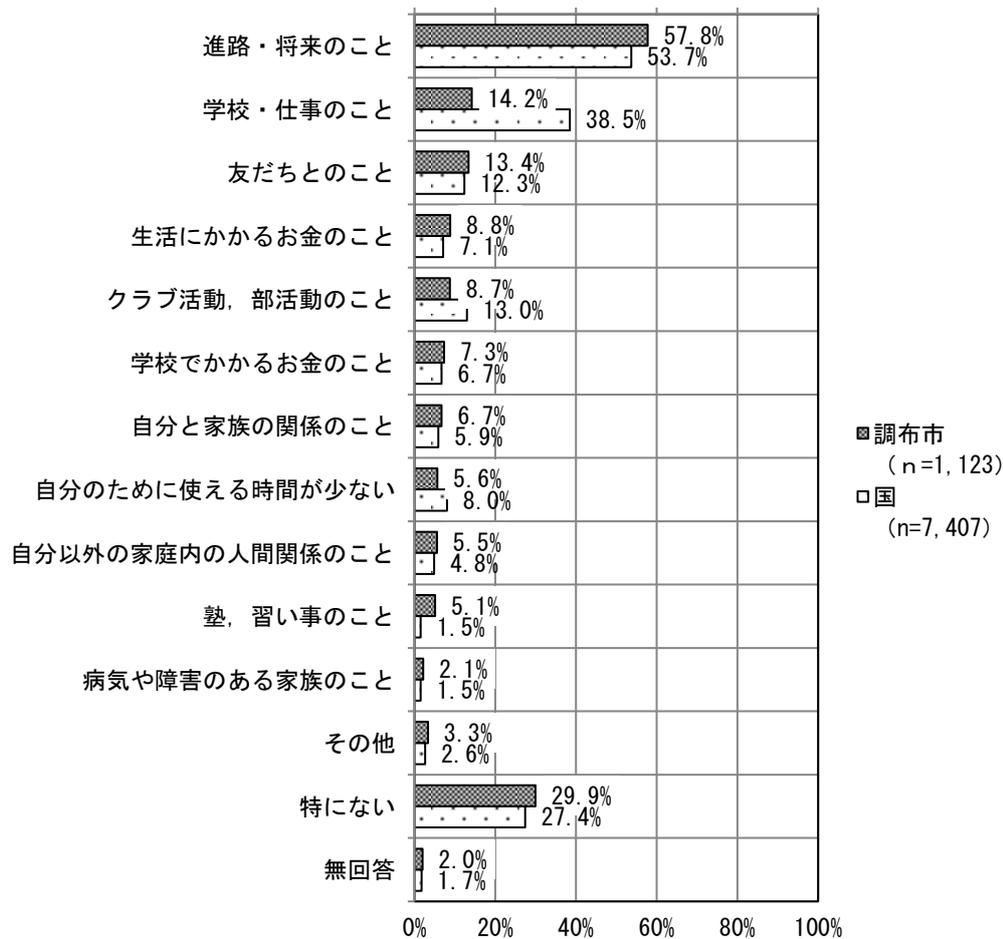


オ 悩みや困りごとの有無

問 10. 今、悩んでいることや困っていることはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「進路・将来のこと」が 57.8%と最も多く、次いで「学校・仕事のこと」が 14.2%、「友だちのこと」が 13.4%となっている。「特にない」は 29.9%となっている。

高校生世代調査



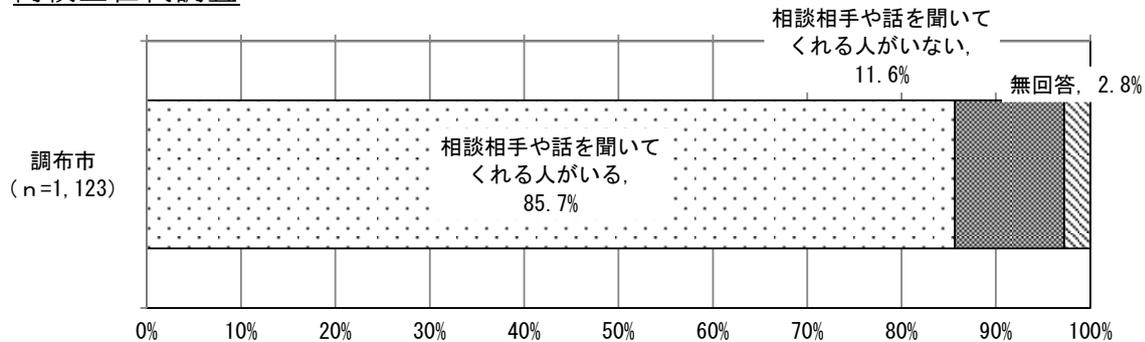
※ 国調査では「学校・仕事のこと」は「学業成績のこと」、「生活にかかるお金のこと」は「家庭の経済的状況のこと」という選択肢となっている。

カ 相談相手の有無

問 11. 問 10 のような「悩み」や「困っていること」があるとき、相談をしたり、話を聞いてくれる人が近くにいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 85.7%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が 11.6%となっている。

高校生世代調査

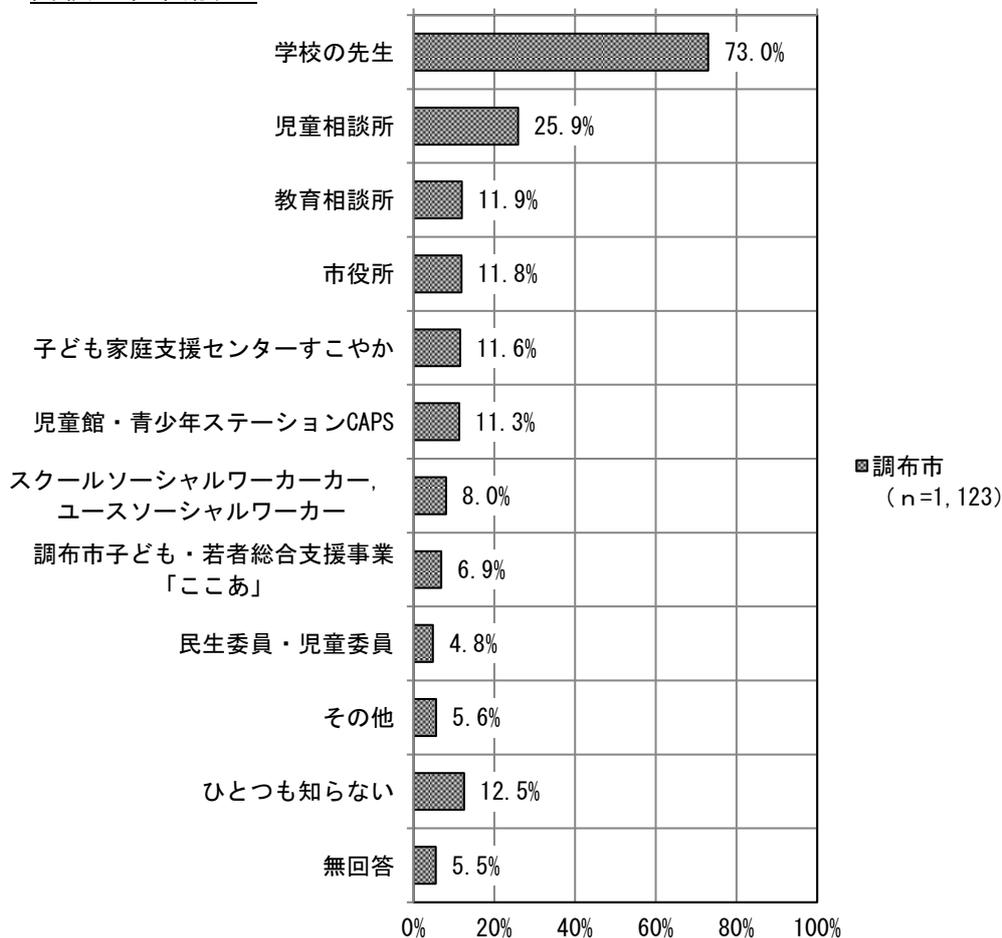


キ 相談先の認知状況

問 12. 「悩み」や「困っていること」について、相談できるところを知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

「学校の先生」が 73.0%と最も多く、次いで「児童相談所」が 25.9%となっている。「ひとつも知らない」は 12.5%となっている。

高校生世代調査



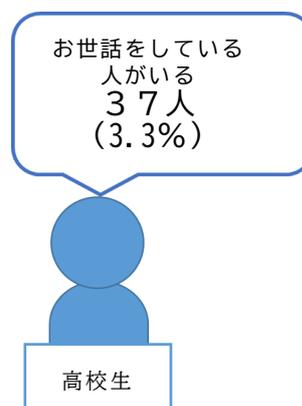
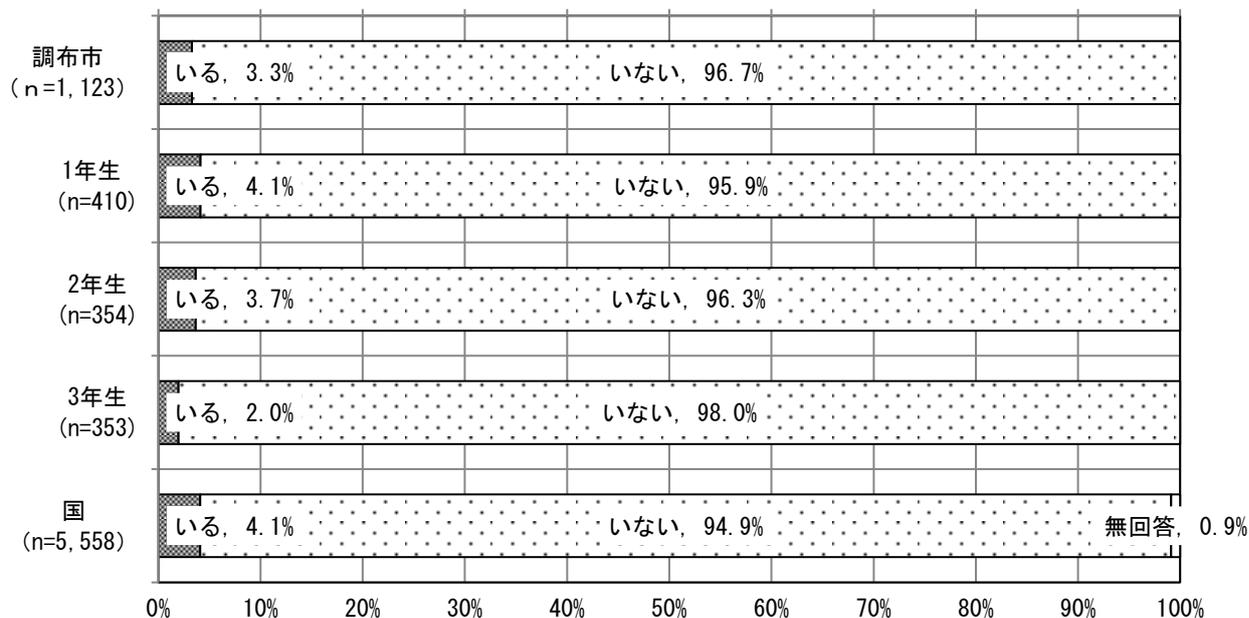
(3) 家族や家庭のことについて

ア 家族の世話をしているか

問 13. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。(ここで言う「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)

「いる」が3.3%、「いない」が96.7%となっている。

高校生世代調査



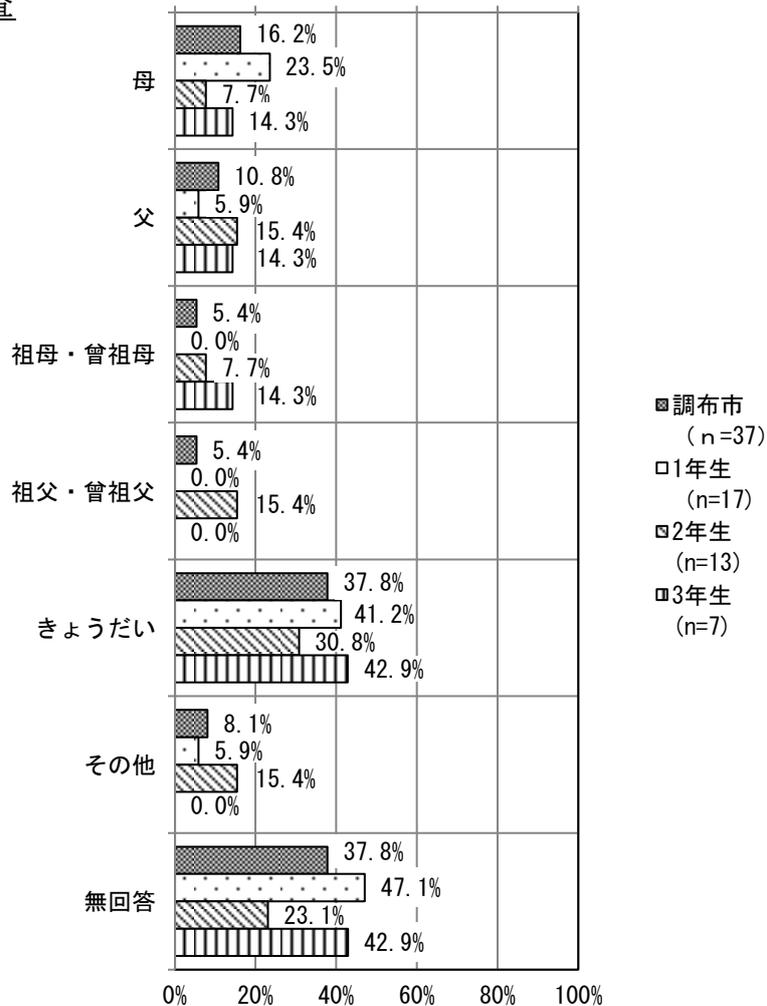
イ 世話をしている相手

問 14. 問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。

あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「きょうだい」が 37.8%と最も多く、次いで「母」が 16.2%、「父」が 10.8%、「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」がともに 5.4%となっている。

高校生世代調査



ウ 世話を必要としている理由

世話をしている対象 必要な理由	15-a 父母	15-b 祖父母 曾祖父母	15-c 兄弟姉妹	15-d その他の人
回答者数	7人 (100%)	4人 (100%)	14人 (100%)	3人 (100%)
高齢のため(65歳以上)	0.0%	75.0%		33.3%
幼いため			50.0%	0.0%
介護が必要	0.0%	25.0%	7.1%	33.3%
認知症のため	0.0%	75.0%		33.3%
身体障害のため	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
知的障害のため	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
病気のため			7.1%	
こころの病気のため	42.9%	25.0%		33.3%
依存症のため	0.0%	0.0%		0.0%
その他の病気やけがのため	28.6%	0.0%		0.0%
日本語が苦手なため	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	71.4%	0.0%	28.6%	33.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 15-a. この質問は、問 14 で、「母」「父」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「母」「父」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「こころの病気のため」が 42.9%、「その他の病気やけがのため」が 28.6%となっている。

問 15-b. この質問は、問 14 で、「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「高齢のため」、「認知症のため」がともに 75.0%、「介護が必要」、「こころの病気のため」がともに 25.0%となっている。

問 15-c. この質問は、問 14 で、「きょうだい」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「きょうだい」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「幼いため」が 50.0%と最も多く、他の選択肢はいずれも少数となっている。

問 15-d. この質問は、問 14 で、「その他」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。その人は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

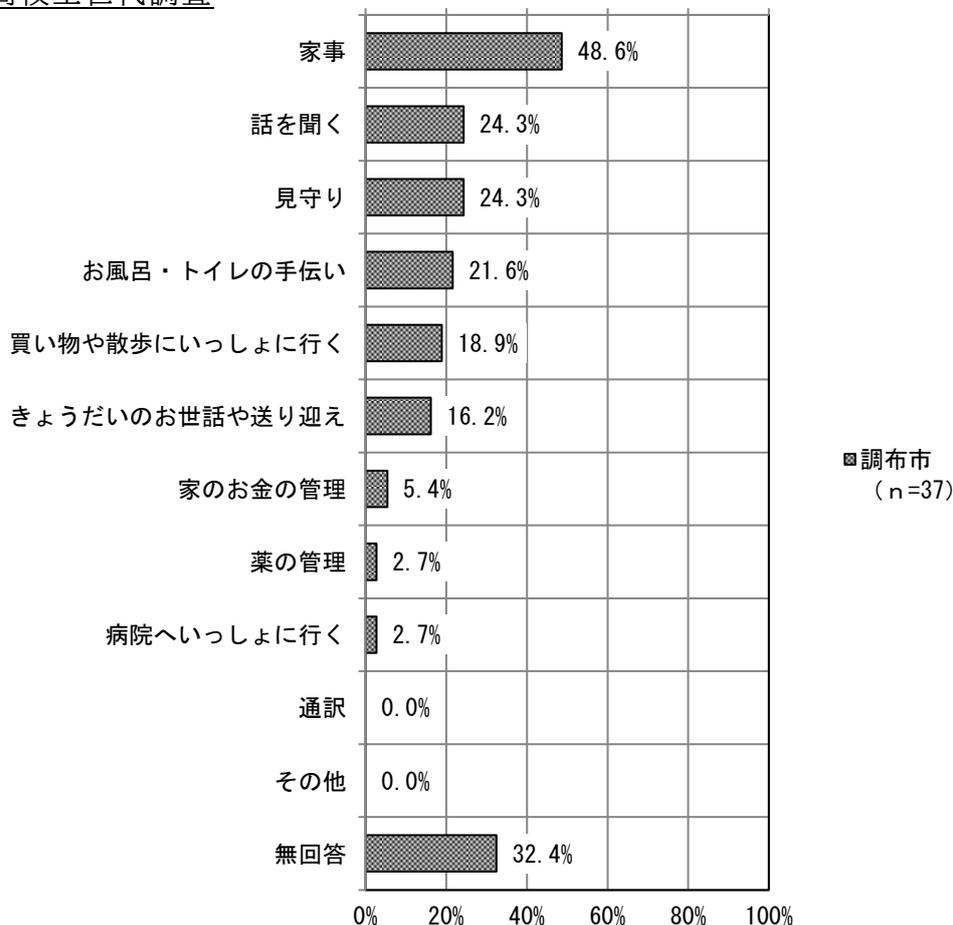
「高齢のため」、「介護が必要」、「認知症のため」、「こころの病気のため」、「その他」がそれぞれ 33.3%となっている。

エ どのような世話をしているか

問 16. あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家事」が 48.6%と最も多く、次いで「話を聞く」、「見守り」がともに 24.3%、「お風呂・トイレの手伝い」が 21.6%となっている。

高校生世代調査



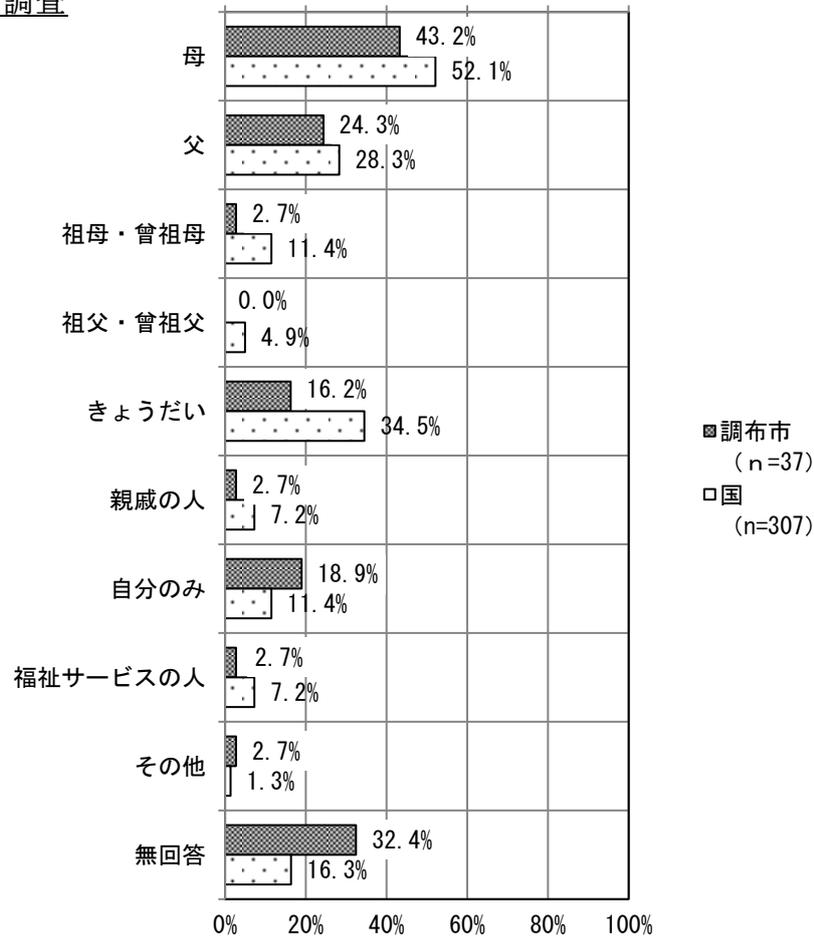
第2章 3 高校生世代調査

オ 一緒に世話をしている人

問 17. あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「母」が43.2%と最も多く、次いで「父」が24.3%、「自分のみ」が18.9%、「きょうだい」が16.2%となっている。

高校生世代調査

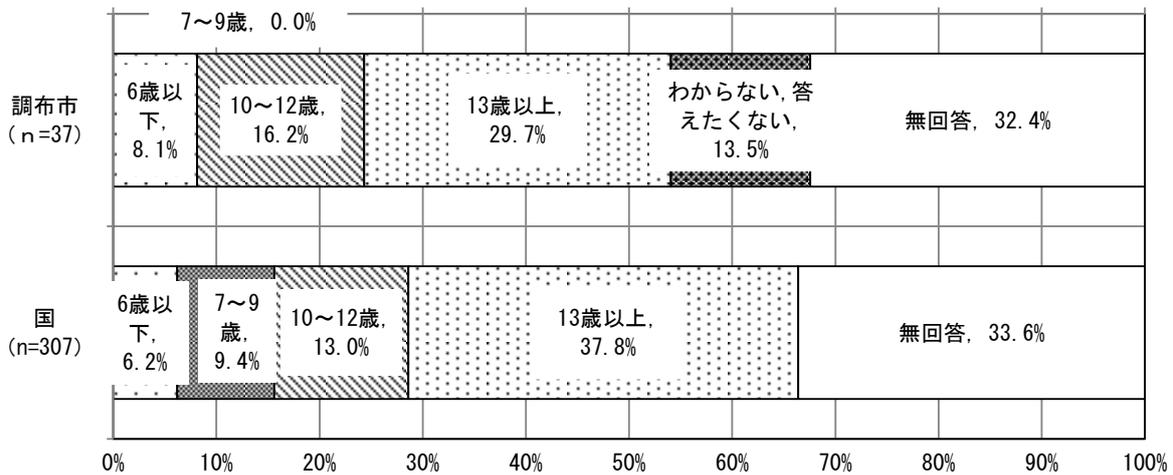


問 18. あなたは何歳(さい)からお世話をしていますか。

※はっきりとわからない場合は、だいたいの年で教えてください。

13歳以上が29.7%で最も多く、10歳～12歳が16.2%、6歳以下が8.1%となっている。

高校生世代調査

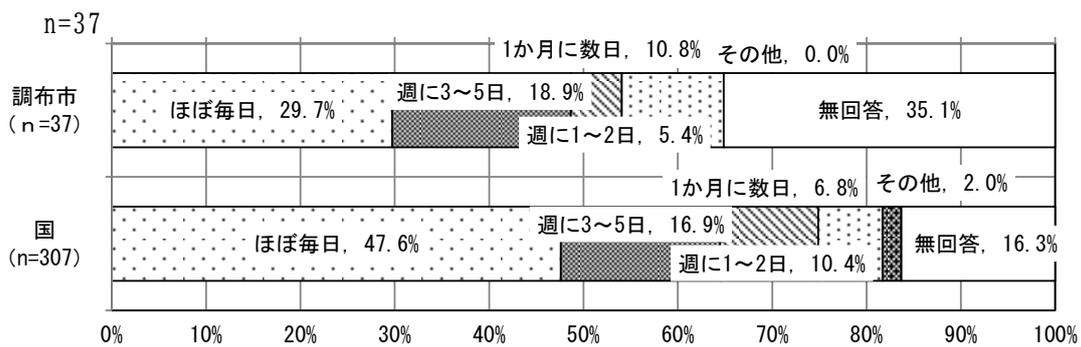


カ 世話をする頻度

問 19. あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほぼ毎日」が29.7%、「週に3～5日」が18.9%、「週に1～2日」5.4%、「1か月に数日」が10.8%となっている。

高校生世代調査



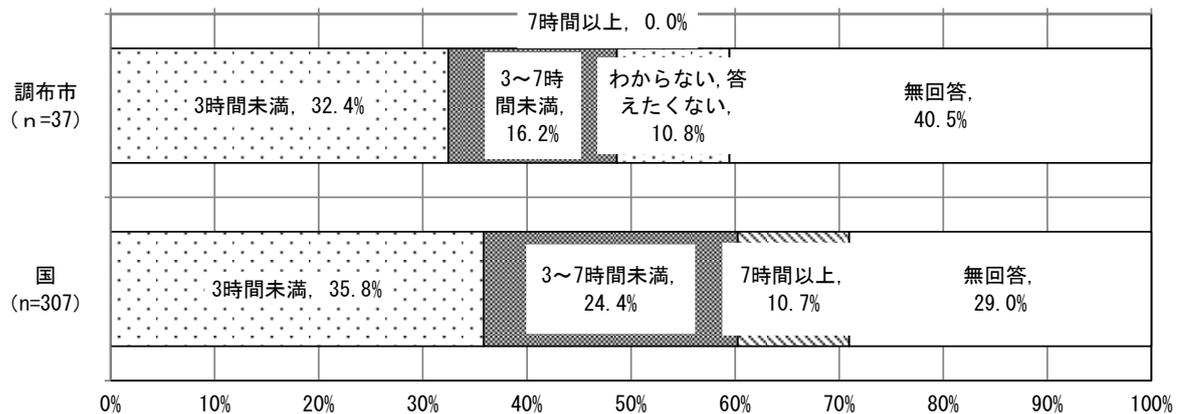
キ 世話に費やす時間

問 20. あなたは1日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。

※日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

「3時間未満」が32.4%で最も多く、次いで「3時間以上7時間未満」が16.2%となっている。

高校生世代調査

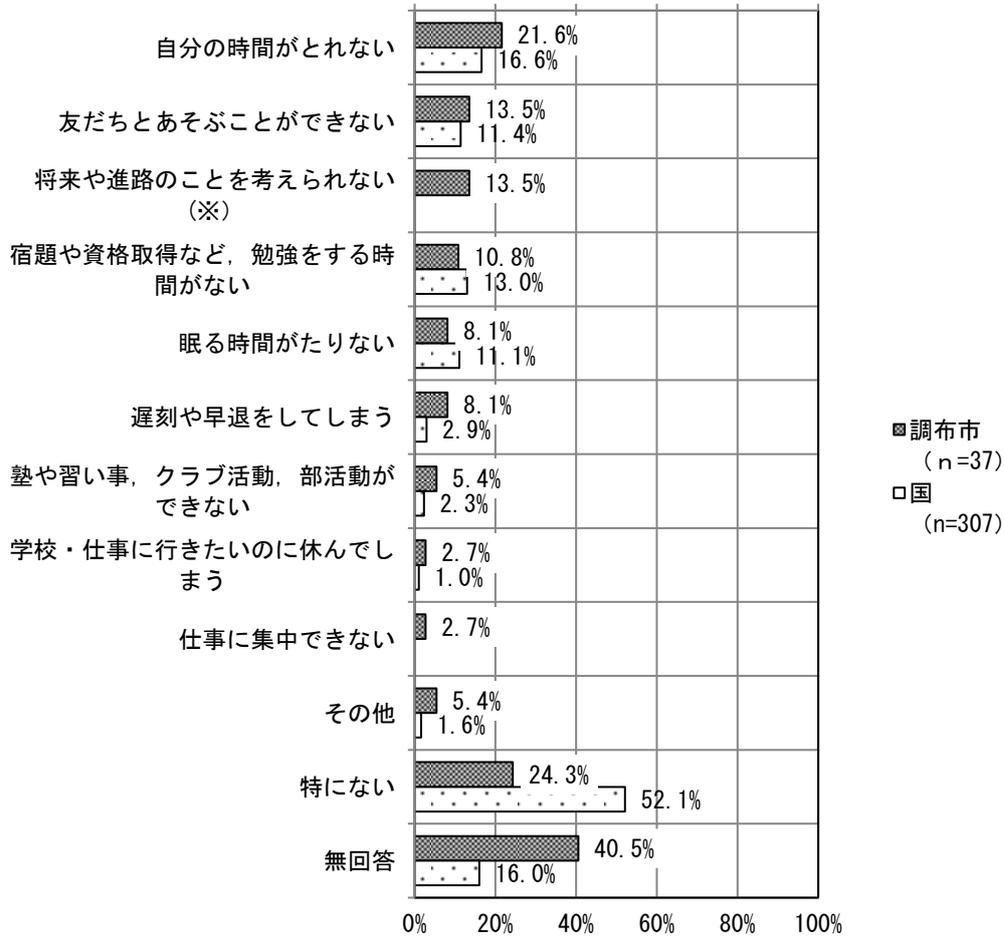


ク 世話をすることで困ること

問 21. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自分の時間がとれない」が21.6%と最も多く、次いで「友だちとあそぶことができない」、「将来や進路のことを考えられない」が13.5%となっている。「特にない」は24.3%となっている。

高校生世代調査



※ 国調査では「将来や進路のことを考えられない」という選択肢はない。

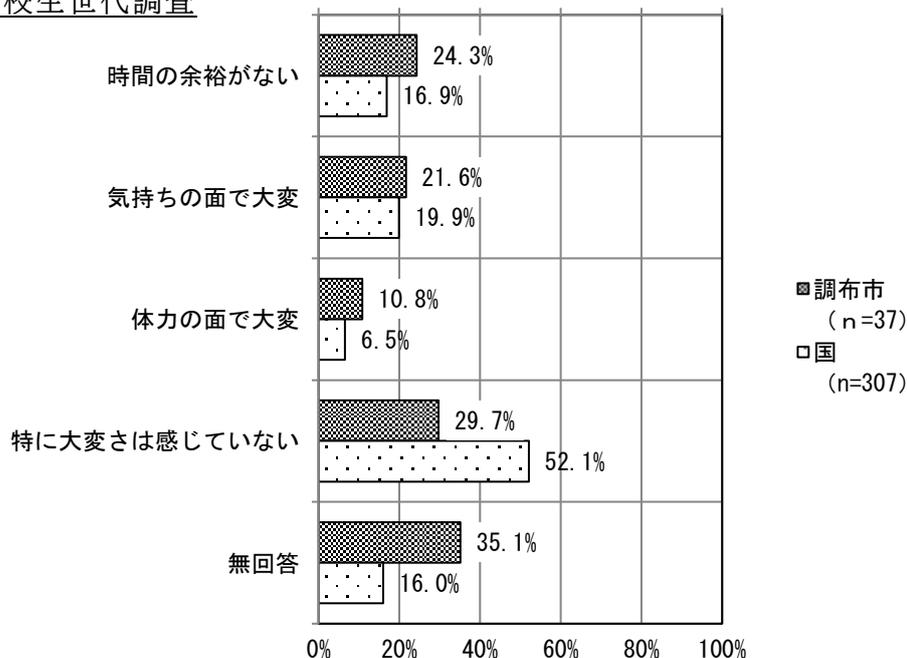
第2章 3 高校生世代調査

ケ 世話をすることに大変さを感じているか

問 22. お世話をすることに大変さを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください

「特に大変さは感じていない」が29.7%と最も多く、次いで「時間の余裕がない（もっと自分のための時間がほしい）」が24.3%、「気持ちの面で大変」が21.6%、「体力の面で大変」が10.8%となっている。

高校生世代調査

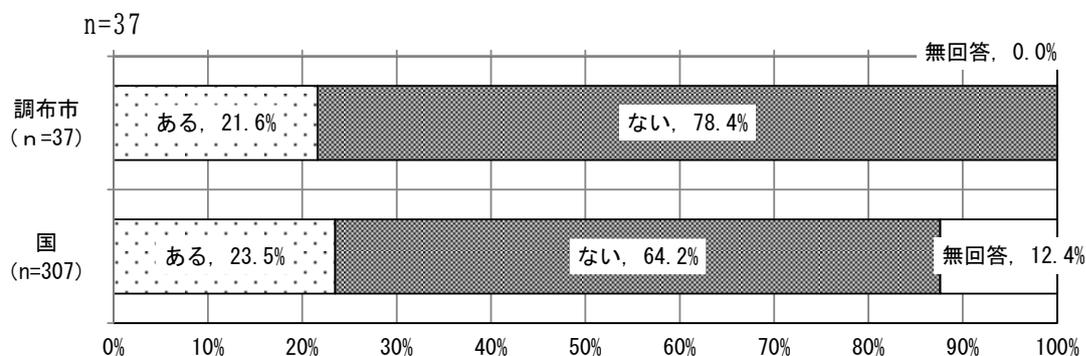


コ 世話の悩みを相談したことがあるか

問 23. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ある」が21.6%、「ない」が78.4%となっている。

高校生世代調査

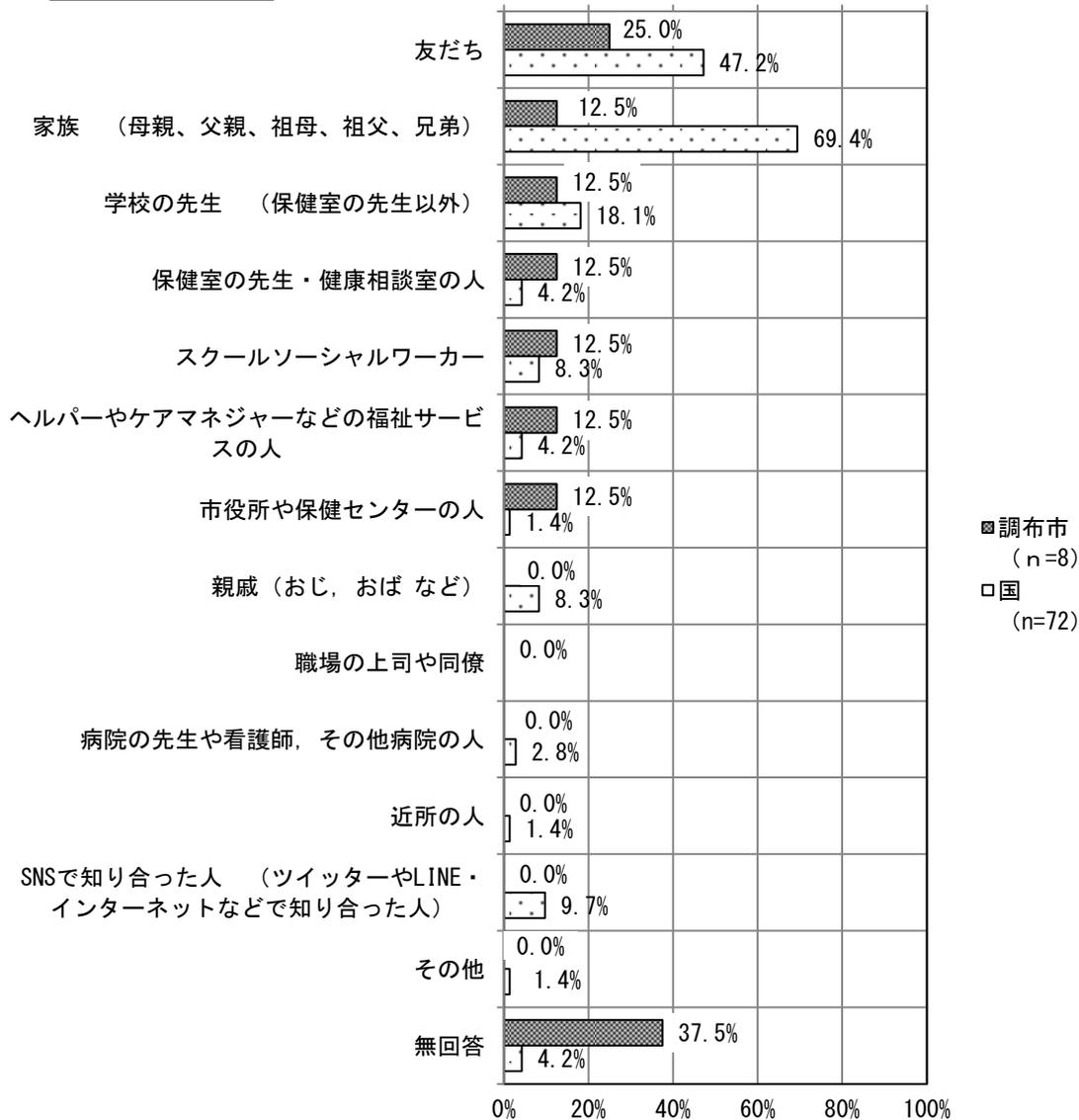


サ 相談した相手

問 24. 問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「友だち」が 25.0%、「家族」,「学校の先生（保健室の先生以外）」,「保健室の先生・健康相談室の人」,「スクールソーシャルワーカー」,「ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービスの人」,「市役所や保健センターの人」がそれぞれ 12.5%となっている。

高校生世代調査

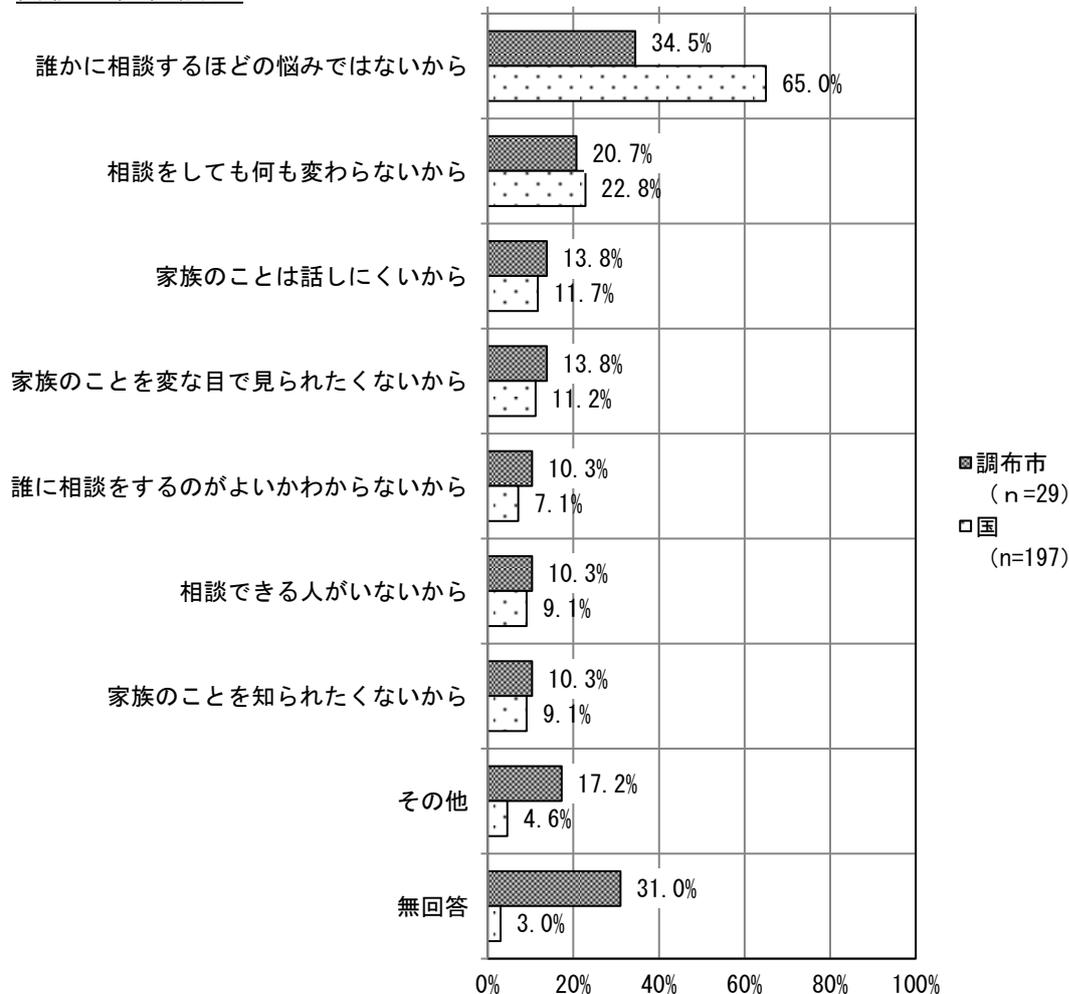


シ 相談していない理由

問 25. 問 25 と問 26 は、問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「だれかに相談するほどの悩みではないから」が 34.5% と最も多く、次いで「相談をしても何も変わらないから」が 20.7% となっている。

高校生世代調査

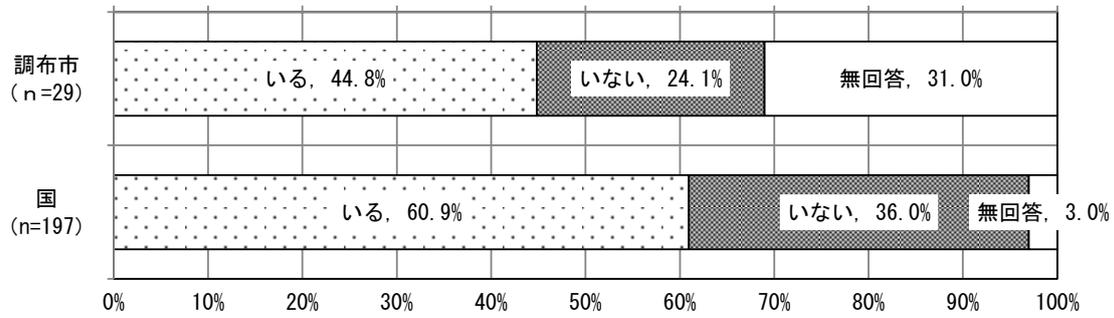


ス 世話について聞いてくれる人がいるか

問 26. お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が44.8%、「いない」が24.1%となっている。

高校生世代調査

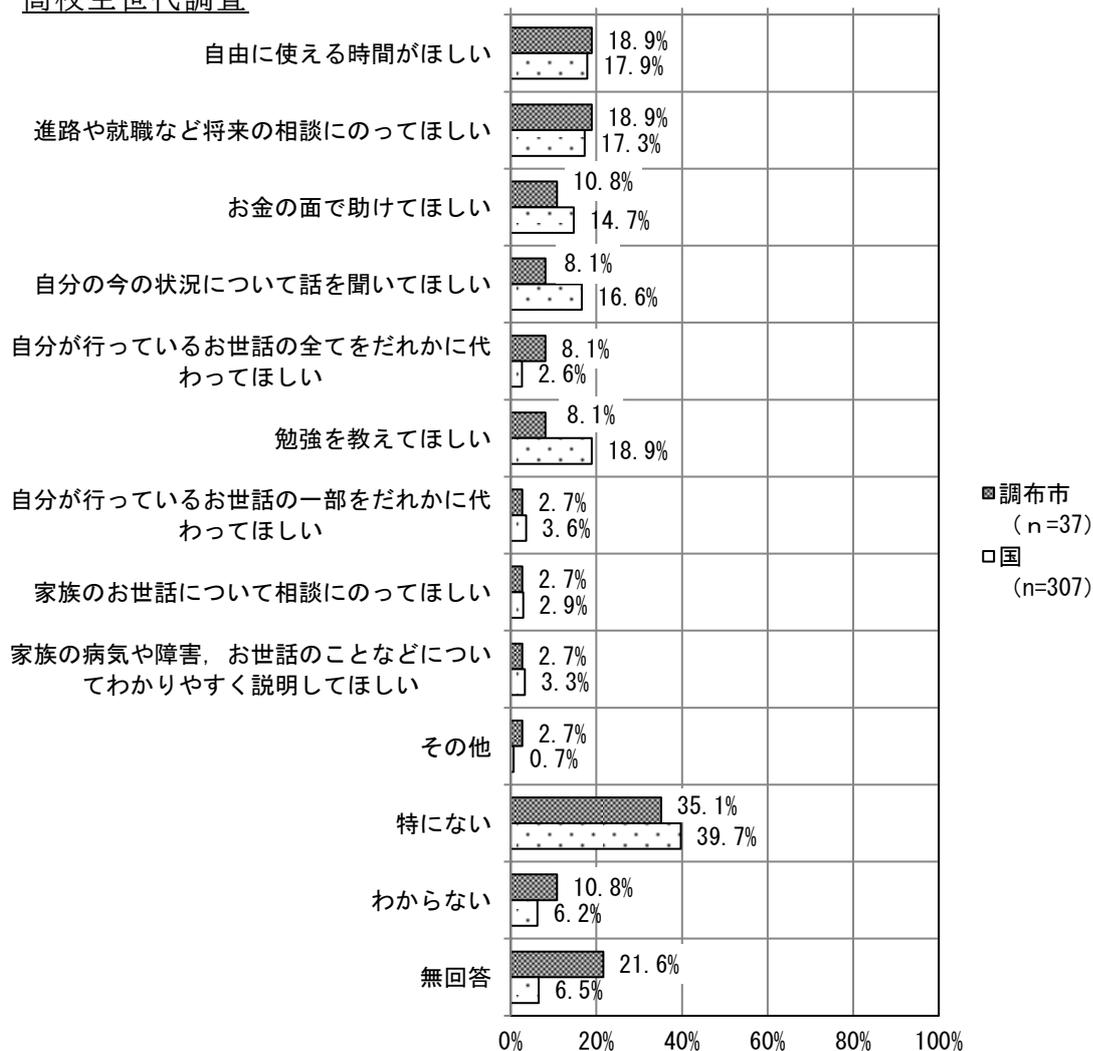


セ 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

問 27. 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が18.9%、「お金の面で助けてほしい」が10.8%、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「自分が行っているお世話の全てを誰かに代わってほしい」、「勉強を教えてほしい」がそれぞれ8.1%となっている。「特にない」は35.1%となっている。

高校生世代調査



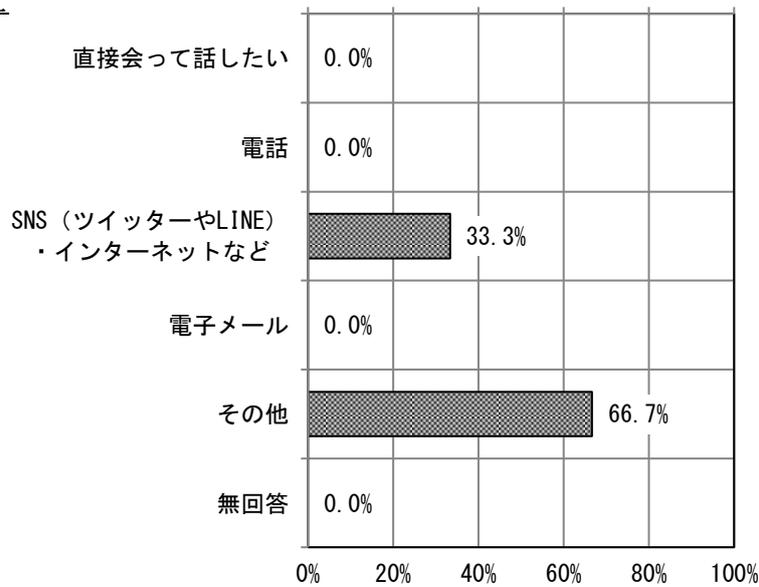
ソ 希望する相談方法

問 28. 問 27 で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「SNS（ツイッターやLINE）・インターネットなど」が 33.3%，「その他」が 66.7% となっている。

高校生世代調査

n=3



【その他の回答例】

- ・既に直接話す予定をしていただきました！
- ・親と姉が私の意見を受け入れて改善して欲しい

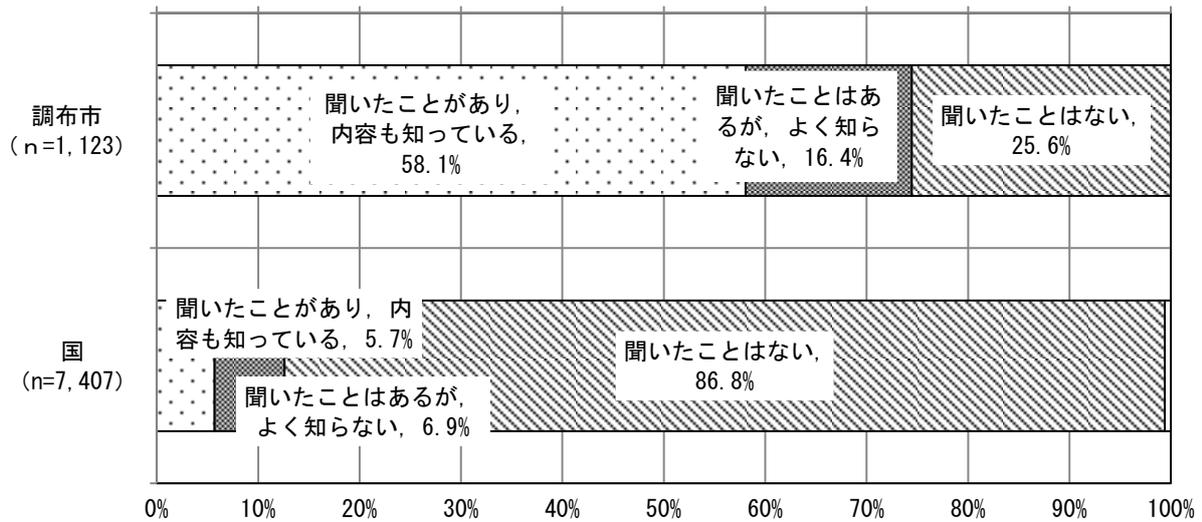
(4) ヤングケアラーについて

ア 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

問 29. 「ヤングケアラー」という言葉を、これまでに聞いたことがありましたか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「聞いたことがあります、内容も知っている」が58.1%と最も多く、次いで「聞いたことはない」が25.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.4%となっている。

高校生世代調査

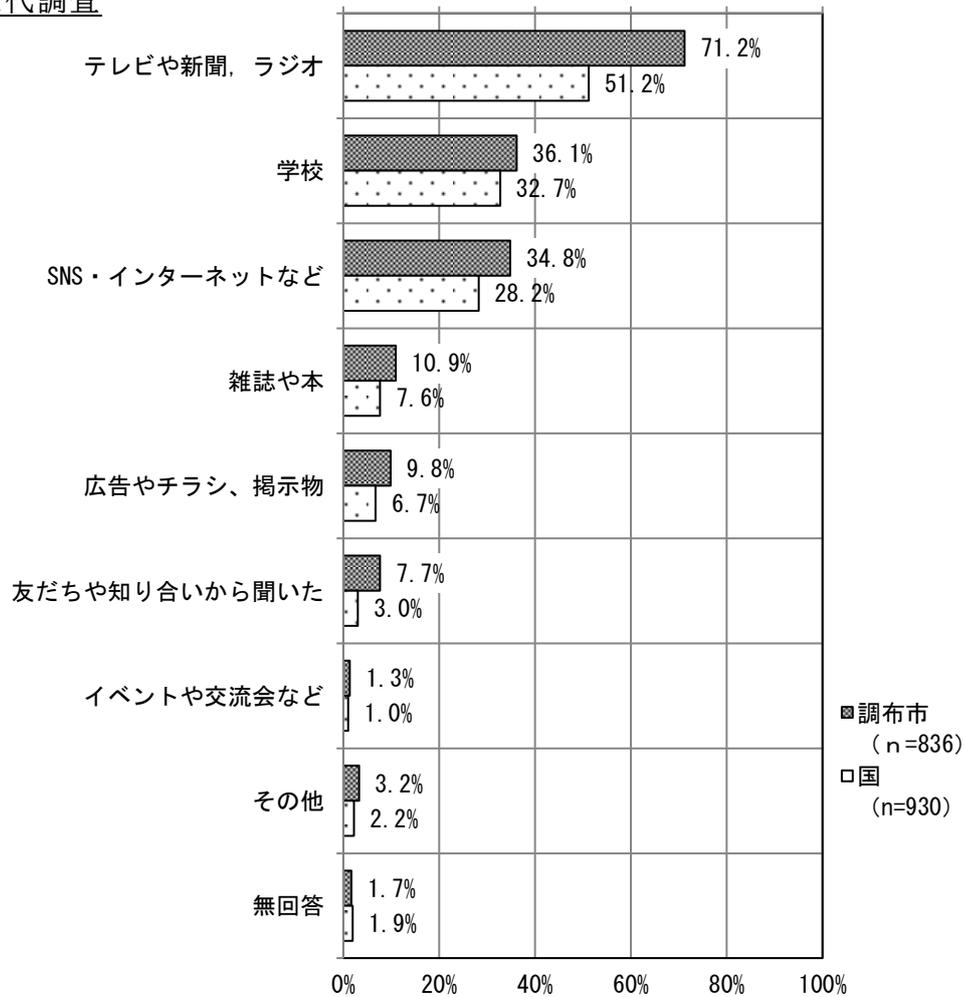


イ 「ヤングケアラー」という言葉を知った方法

問 30. 問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「テレビや新聞，ラジオ」が 71.2%と最も多く，次いで「学校」が 36.1%，「SNS・インターネットなど」が 34.8%となっている。

高校生世代調査

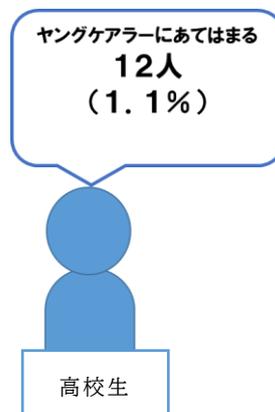
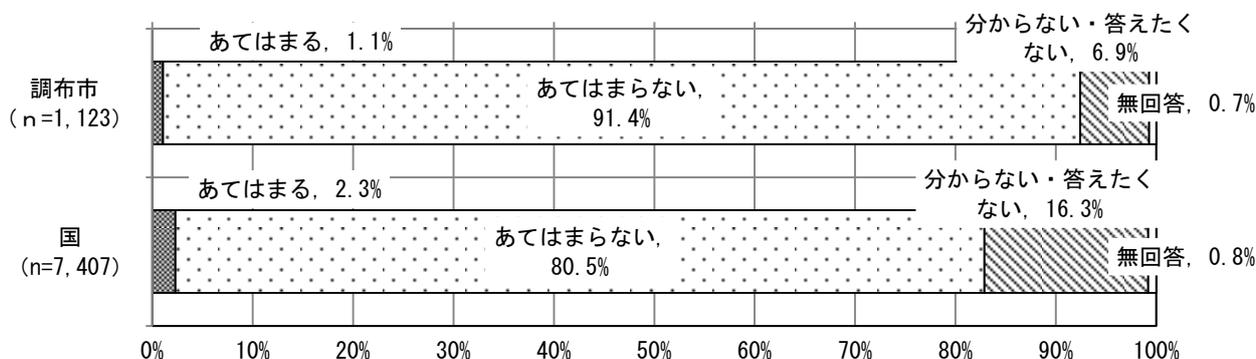


ウ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

問 31. あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「あてはまる」が1.1%、「あてはまらない」が91.4%となっている。

高校生世代調査



(5) 自由意見

問 32 家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、必要だと思うこと、学校や周りの人にしてもらいたいこと、このアンケートへの感想、悩みや市役所にやってほしいことなど、何でも入力してください。

ここでは、自由記述の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

【問 13 で世話をしている人が「いる」と回答した生徒の自由意見】

- ・被介護者が施設に入りたくなくなるような宣伝をしてもらう
- ・老人がデイサービスなどではなく、もっと気軽に自由に時間を過ごせる場所があると、老人たちの憂さが晴れて、家族特に母に当たらなくなると思う。近くの病院横にランチ会などをしてあるスペースがあるが、そこでは顔を知っている人が多いので、世代が合わず行かない。図書館とは言わないが、福祉センターなどの自由スペースで、新聞や雑誌などを読める所などがあると行くのではないかなあと思う。食事とかを他人と摂るのが、誤嚥があるのでしたがりないんです。また、母の姉は結婚しておらず、祖母は未だに芸能人などの結婚妊娠報道があると伯母の結婚について話し

をする。その度に母や私たちにとても辛く当たってくる。伯母が話しかけてくるのは全て不当な理不尽なクレームで、伯母の声を聞くだけで家族みんな体調不良になる。本当に嫌だ。伯母の人生の責任を伯母や祖母は、母や私たちにぶつけてくるのをやめてほしい。

- ・特別支援学校卒業後の預かり施設(調布市では日帰り預かり施設)を増やして欲しい。もう少し誰でも簡単に使えるようにして欲しい
- ・国や自治体、又は NGO 等がより積極的に関与して援助していくべきと個人的に思う。また、助けを必要とする世帯・児童を一言だけでもいいと思うので、悩みを打ち解けられるような場所・人材をより軽い気持ちで行けるような社会体制を制定して貰いたい。そして特に、一人親世帯やまだ年齢的に幼い小・中学生達等を周り(世間体)が悪い印象を抱かない様な考えが将来的に望ましく感じる。
- ・このアンケートのおかげで自分と、親、家族の現状をまた見つめ直すことができました。ありがとうございます。
- ・家庭自体が、内向きではなく外向きになるように、積極的に(市役所などが)干渉する。情報開示がなければ、解決はできないので、まずは状況把握が重要であると思う。このアンケート自体、その状況把握のためだと推測するが、電子機器を使えないような高校生に対しての回答を考えていないところがあると思われる。また、このアンケートが個人を特定しない理由がわからない。解決を図りたいのであれば、個人特定は必要ではないのか。アンケートの実施は良いと思うが改良が必要だと考える。
- ・ヤングケアラーの子はそれが当たり前だと思ってたり、親もそれが当たり前だと思ってる家庭が多いと思います。本当に過度な家庭には、特に積極的に市が関与してもいいと思います。ですが、それで親がより子供に負担をかけることを言ったりさせたりしてしまう場合もあると思います。私はヤングケアラーでは無いとはおもっていますが、母と意見が一致する時が全くないのと全く聞いてくれず直ぐに怒ってしまうのでとても毎日が辛いです。父に話してみても仕方がないとだけ言われてしまいます。姉も私と同じように家に不満があり大学生なのであまり家に居ません。そのせいで、母は私に不満や不安をぶつけることが多々あります。家で過ごすことが大好きなのに家が落ち着かないと帰りたくないです。また、お小遣いが自分の欲しい額や、周りの友達よりも少なかったり貰いにくいことがあり放課後時間を潰すことも出来なくて辛いです。そして、勉強をもっと頑張りたいのに母は毎回勉強をもっとやりなさいや、大学進学を志望しているのに勉強をちゃんとやらないなら大学に行かなくていいと冷たく言ってくるのが、すごく勉強のやる気が失せてしまいます。大学生になったら一人暮らしをすると伝えたところ、1円も援助はしないとと言われてしまいました。なので、バイトをして自分で生活をすると言ったところとにかく一人暮らしはダメだと言われました。4人家族ですが家が小さく物も溢れかえっていて綺麗じゃないととてもイライラしてしまう私にはとても苦痛です。自分の部屋にまで、親の物が入ってきており布団が轆けず床で寝ているので眠りも浅く毎日学校で寝てしまっています。ほんとうだったらもっと充実した毎日が送れているはずなのにちょっとした事でこんなにも人生が変わってしまったのがとても悔しいです。また、今回このハガキが来た時、中身は本人しか開けては行けないのに親に勝手に開けられてしまったのも嫌でした。沢

山書いてしまったのですが、もしここまで読んでくださっているならすごく嬉しいです。正直、友達に話すのも学生にとっては難しくてなかなかここまで話せないのと、大人に話すのはもっと勇気がいるのですが、デバイスでこのような機会を作ってくださいって少しの間だったけど楽になりました。簡単に親は変わらないし、これからも同じ生活が続くとわかっていますが、いつかいいことがあると信じて頑張ります、人生まだまだなのでw

- ・子どもにも簡単にできるヤングケアラーの申請のシステムを作って、支援をすぐにできるようにすると思います
- ・自分の悩みはないが、助けを必要としているヤングケアラーの子がいるなら、助けてあげてほしい。

【お世話をしている人が「いない」生徒の自由意見】

- ・この問題は膾炙（かいしゃ）しているものの、相談できる機関はあるが直接的な支援、援助をしている事例を私は知らず、社会問題としてメディアに取り沙汰されているだけで放置されているもの、という所感である。 ヤングケアラー当人ではない為必要な支援の例を挙げることはできないが、保護者にあたる人物がアルコール依存や常習的な賭博、債務不履行等の責任能力の欠如によってヤングケアラーの問題が生じている場合、それは子供たちにとって解決不能であり、大人の介入が不可欠だと考える。子供にとって他人に助けを求めることはそれだけで想像以上の勇気を必要とする行為であり、その受け取った声をひとつも零さず、適切に対処する柔軟な対応力が必要であり、現場に赴く職員の方のスキルが問われるだろう。 この一連の問題が少しでも解決へ向かうことを願う。
- ・学校の先生や周囲の大人にヤングケアラーの生徒が生活状況や困ったことを相談できる環境を整え、行政が勉強や自分の自由な時間を持つことができるように、家族の世話を代わりにしてくれる人材を派遣するシステムを導入する。私の周囲には、家族の世話によって自分の学業や生活に支障が出てしまうような人はいませんが、きょうだいに障害を持って生まれた友人がいます。小さい頃から自分の事よりもきょうだいを優先されてしまっています。友人は SNS などできょうだい児として同じ境遇の人達と繋がり、悩みを相談しているそうです。ヤングケアラー程ではなくても自分の生活のサポートが十分ではない子供への支援をご検討していただきたいです。
- ・私は、ヤングケアラーではないけれど、ヤングケアラーの子たちはきっと学校に遅刻したり休んでしまったりすることがあると思います。しかしそれは本人が勉強したくないわけではなく、家族の世話をしなければならぬということで学校を休んだりしているのだと思っています。なので、学校に来た際は、その子たちがどれだけ授業を理解しているか確認することが大事だと思っています。授業のどこがわかっているか、どこがわからないのかをしっかりと確認することで、本人たちも将来への希望が持てると思っています。そのためには教員を少し増やすことが大事だと思っています。一人一人しっかりと生徒を見るには、今の教員の数では少し足りないのかもしれないと思っています。とても難しいことなのはわかっています。ヤングケアラーの子達やあまり学校に来れない子たちが安心して将来つきたい職業につけるようには大切だと思っています

います。またカウンセリングを利用しやすくすることも大事だと思っています。学校にカウンセラー室がある事はみんなわかっています。しかし意味は無いですが、何故か学校のカウンセラー室は利用しにくいです。私と友達も悩みがあっても「カウンセラー室はなぁ～」というようになぜか利用することをためらってしまいます。具体的に解決策などはまだ私も分かりませんが、カウンセリングを利用しやすくすることで、ヤングケアラーの子達や、その他の子たちの悩みも少なくなると思っています。私は、今回のアンケートで、調布市が私たち、高校生世代を気にかけていること、高齢者の方々ばかりを考えているわけではないことを知りとても嬉しく思いました。また気にかけているだけではなく、私たち高校生世代にどうして欲しいか問いかけてくれたことで、本当に今高校生たちが悩んでる事について真剣に向き合ってくれようとしていて問題や悩みを解決、改善してくれようとしているのを知りとても嬉しく思いました。できるだけ多くの高校生世代の要望が叶うことを期待しています。最後に市役所にやってほしい事はもうすでに行っているものでしたら申し訳ないんですが調布市に来ている外国人との交流の場を増やしてほしいと思います。確かにそれは市役所がやらなくてもいいと思うかもしれませんが、日本に来ている外国人の悩みはたくさんあると思っています。市民の1人としてその悩みに向き合ってあげる事はとても大事だと思っています。日本に来て頼る人がいない事は外国人にとってとても辛いことだと思います。なのでコロナ禍なので少し難しいと思いますが、外国人が日本に来て、1人で悩まないように、危ない目にあわないように、日本人の頼れる人を作るためにも、日本人との交流の場を増やしたり調布に住んでいる外国人のカウンセリング等も大事だと思っています。長くなって申し訳ございません。最後に私が言いたい事は私は調布市が大好きです。味の素スタジアムがあり、調布飛行場もあり、植物公園や深大寺、そして駅の周りではたくさんのお店があり、とても自然豊かでもありながらも利便性が良く、私は本当に調布が好きです。私が好きな調布がみんなが好きな調布となるように様々な方々の悩みが改善されることを願っています。

- ・私自身、ヤングケアラーでは無いのですが、ヤングケアラーが増えてしまう要因として、小学生未満の子供や老人などの預かり場所が少ないことであると思っています。家族といえども、両親（または片親の方）が抱え込める人数や時間帯があると考えています。それらを超えてしまった時、家族が重荷となってしまい、子供に頼るしかないことが原因であると思いました。それを解決するために、どの年代でも預かって貰えるような無料の施設をより多く増やしていき、その施設についての広報などもしなければ良いと思いました。

4 大学生世代調査

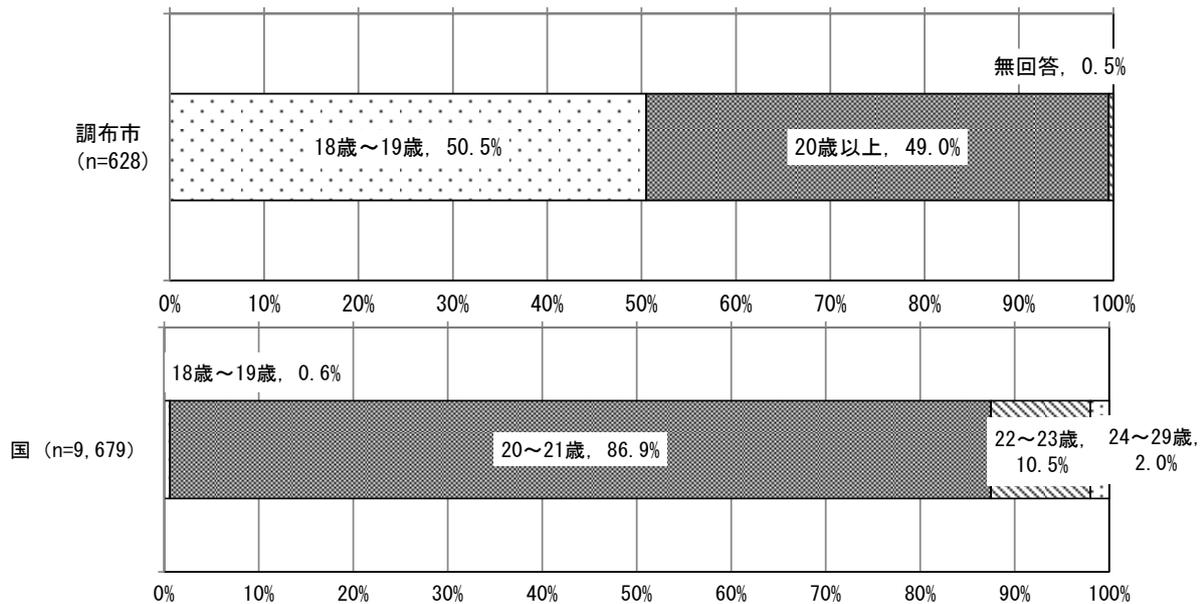
(1) 基本情報

ア 年齢

問1. あなたの年齢を教えてください

18～19歳が50.5%，20歳以上が49.0%となっている。

大学生世代調査

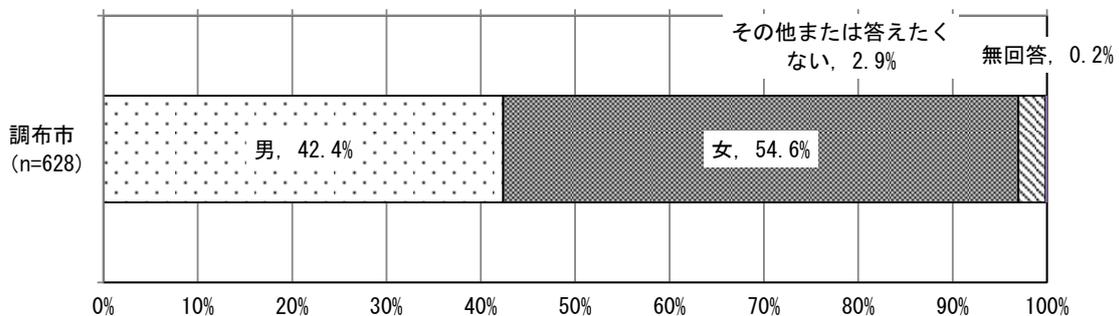


イ 性別

問2. あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「女」が54.6%，「男」が42.4%となっている。

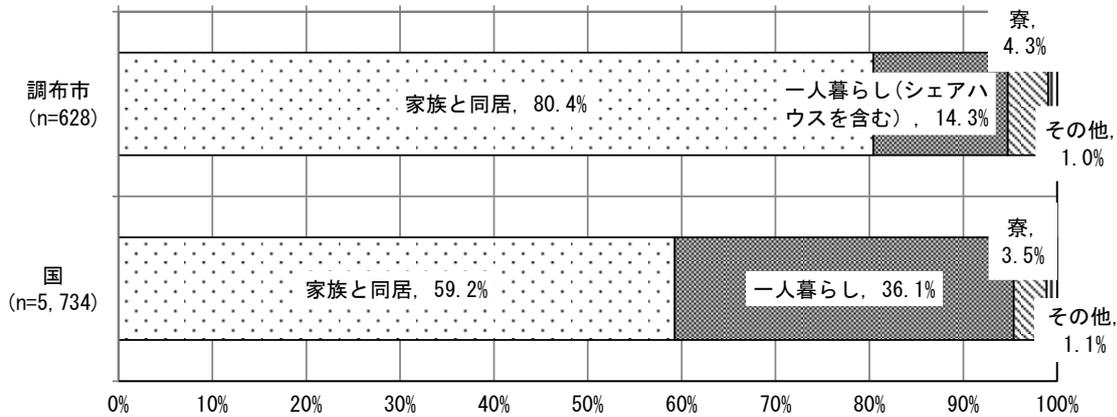
大学生世代調査



ウ 家族構成

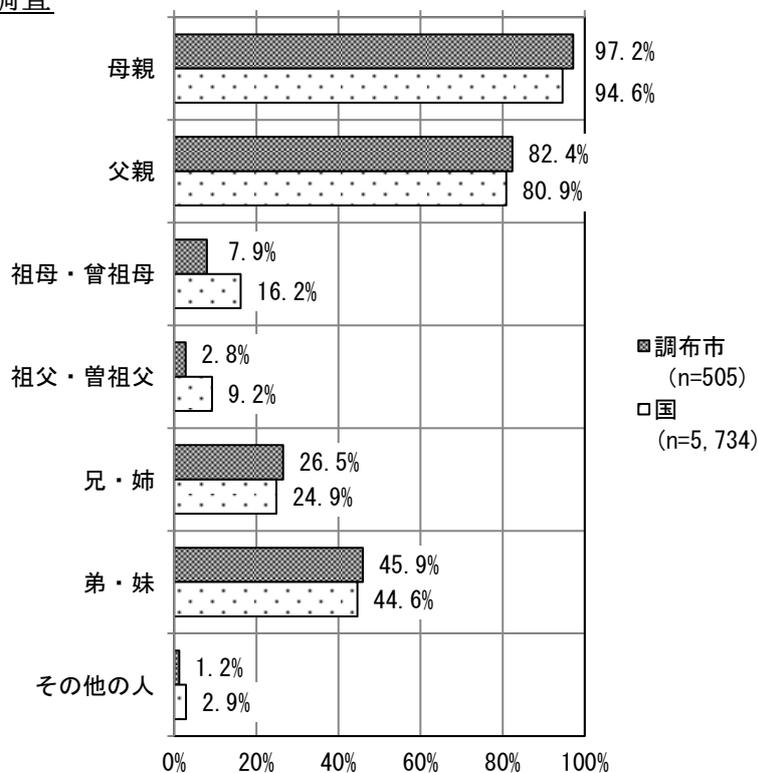
問3. 現在の住まい方を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。
 「家族と同居」が80.4%、「一人暮らし（シェアハウスを含む）」が14.3%、「寮」が4.3%となっている。

大学生世代調査



問3-a. 一緒に住んでいるのは誰ですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。
 「母親」が97.2%と最も多く、次いで「父親」が82.4%、「弟・妹」が45.9%、「兄・姉」が26.5%となっている。

大学生世代調査

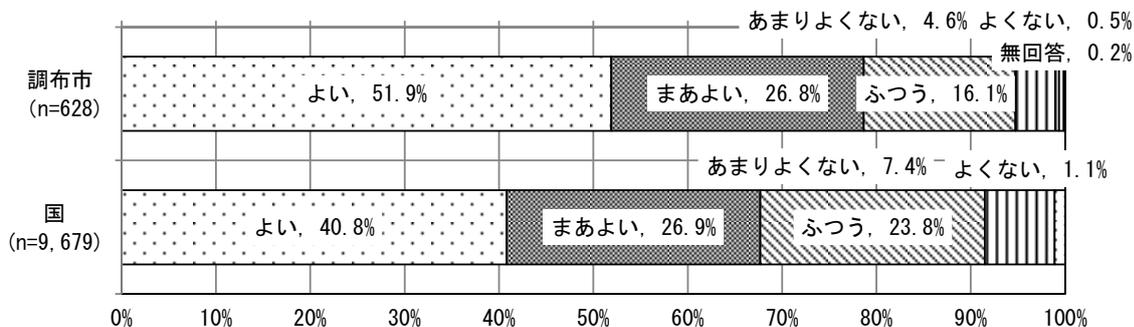


工 健康状態

問 4-a. あなたの身体面の健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「よい」が51.9%、「まあよい」が26.8%、「ふつう」が16.1%、「あまりよくない」が4.6%となっている。

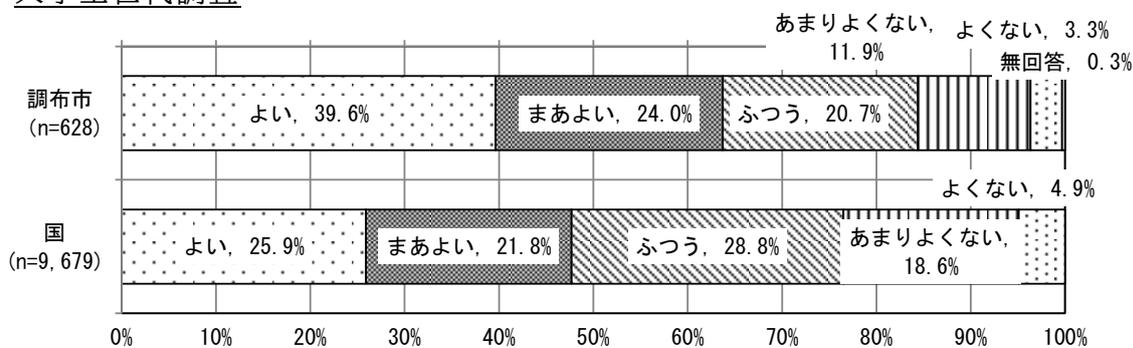
大学生世代調査



問 4-b. あなたの精神面の健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「よい」が39.6%、「まあよい」が24.0%、「ふつう」が20.7%、「あまりよくない」が11.9%、「よくない」が3.3%となっている。

大学生世代調査



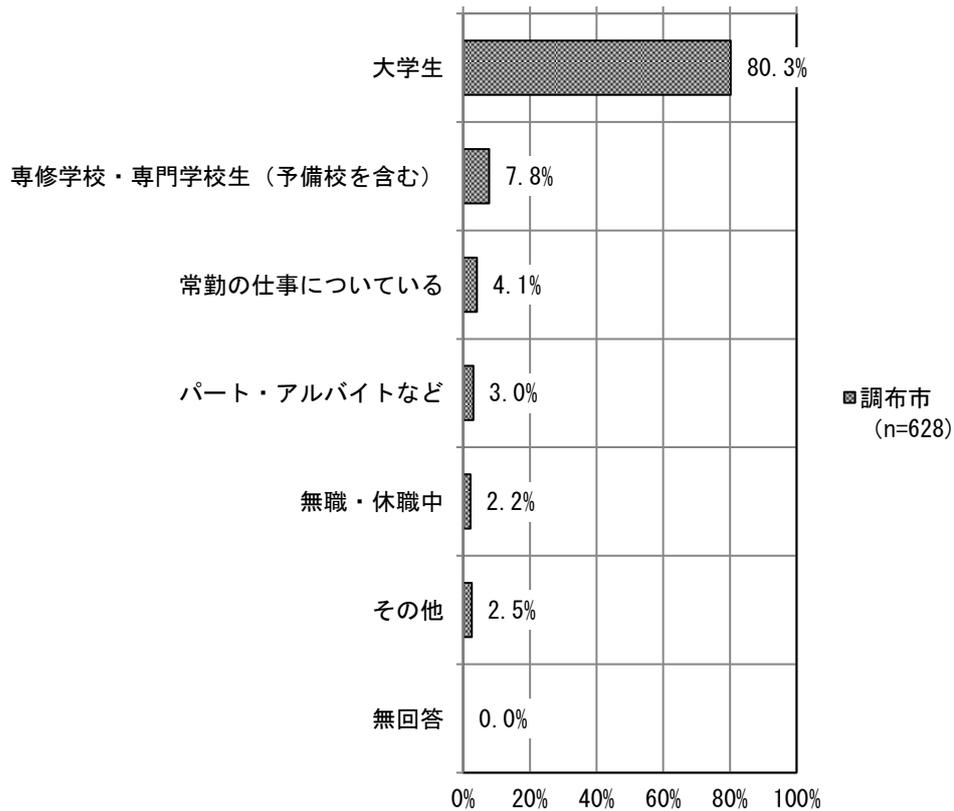
(2) ふだんの生活について

ア 通学状況

問5. あなたの属性をお答えください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「大学生」が80.3%、「専修学校・専門学校生（予備校を含む）」が7.8%、「常勤の仕事についている」が4.1%となっている。

大学生世代調査

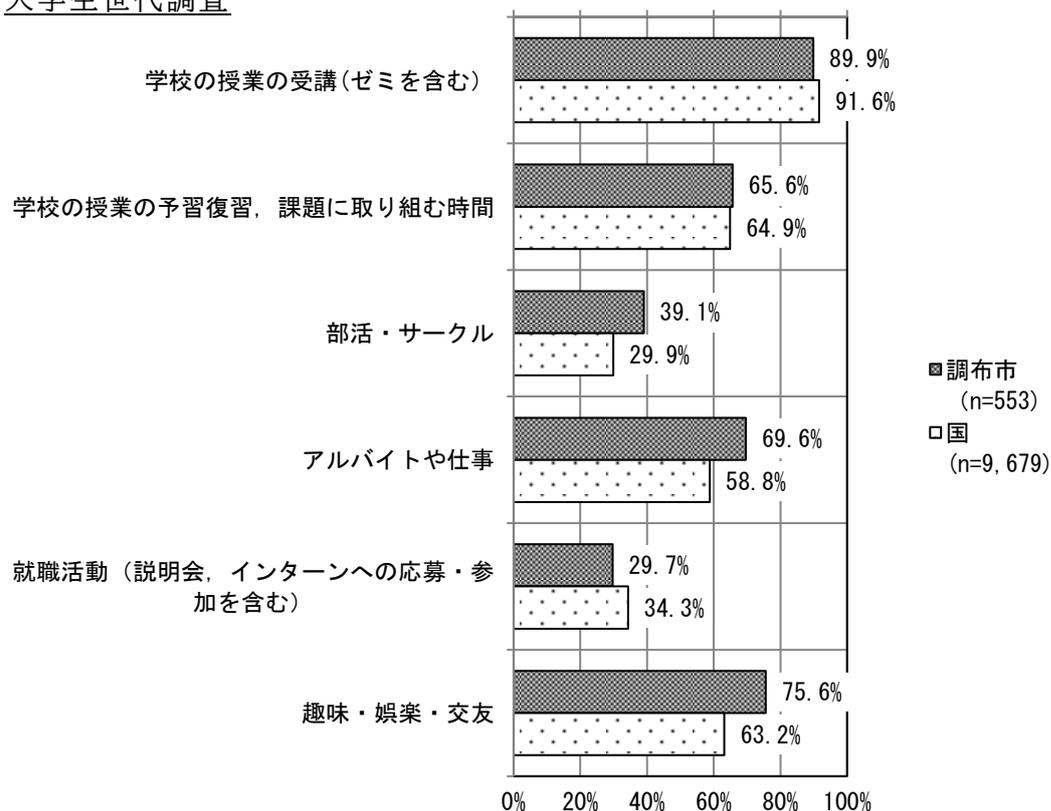


問 6. 学生の方にお聞きします。日々の生活においてこれらに取り組む時間を希望通りに確保できていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「学校の授業の受講（ゼミを含む）」が 89.9%，「学校の授業の予習復習，課題に取り組む時間」が 65.6%，「部活・サークル」が 39.1%，「アルバイトや仕事」が 69.6%，「就職活動（説明会，インターンへの応募・参加を含む）」が 29.7%，「趣味・娯楽・交友」が 75.6%となっている。

※ 国の調査結果は「確保できている」と「概ね確保できている」の合計

大学生世代調査

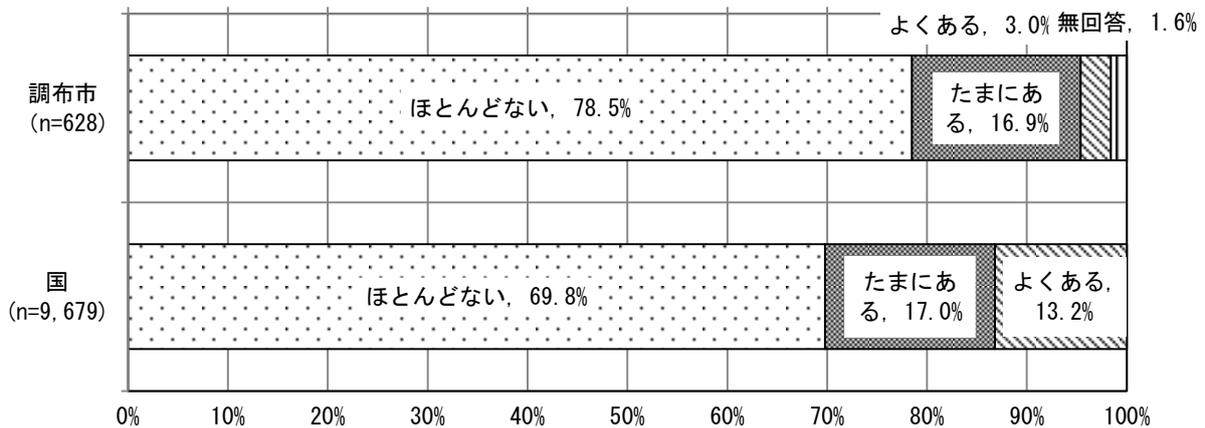


イ 遅刻や早退の有無

問 7-a. 学校や職場へ行けない事がありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんどない」が78.5%、「たまにある」が16.9%、「よくある」が3.0%となっている。

大学生世代調査



問 7-b. 学校や職場に遅刻することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

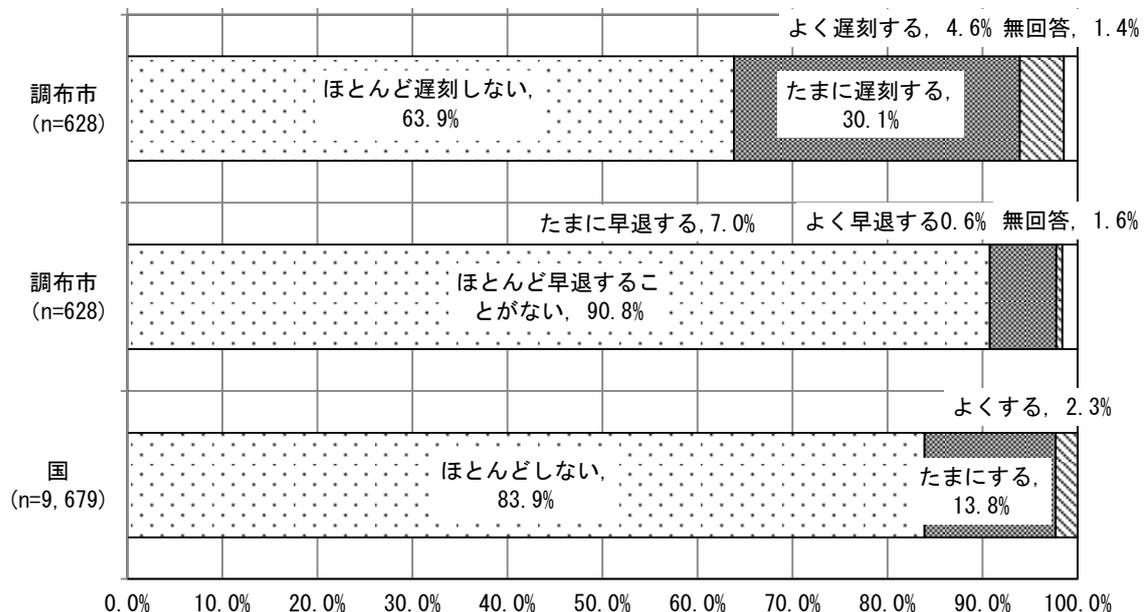
「ほとんどない」が63.9%、「たまにある」が30.1%、「よくある」が4.6%となっている。

問 7-c. 学校や職場を早退することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「ほとんどない」が90.8%、「たまにある」が7.0%、「よくある」が0.6%となっている。

※ 国の調査では、遅刻と早退を一つの質問で尋ねている。

大学生世代調査

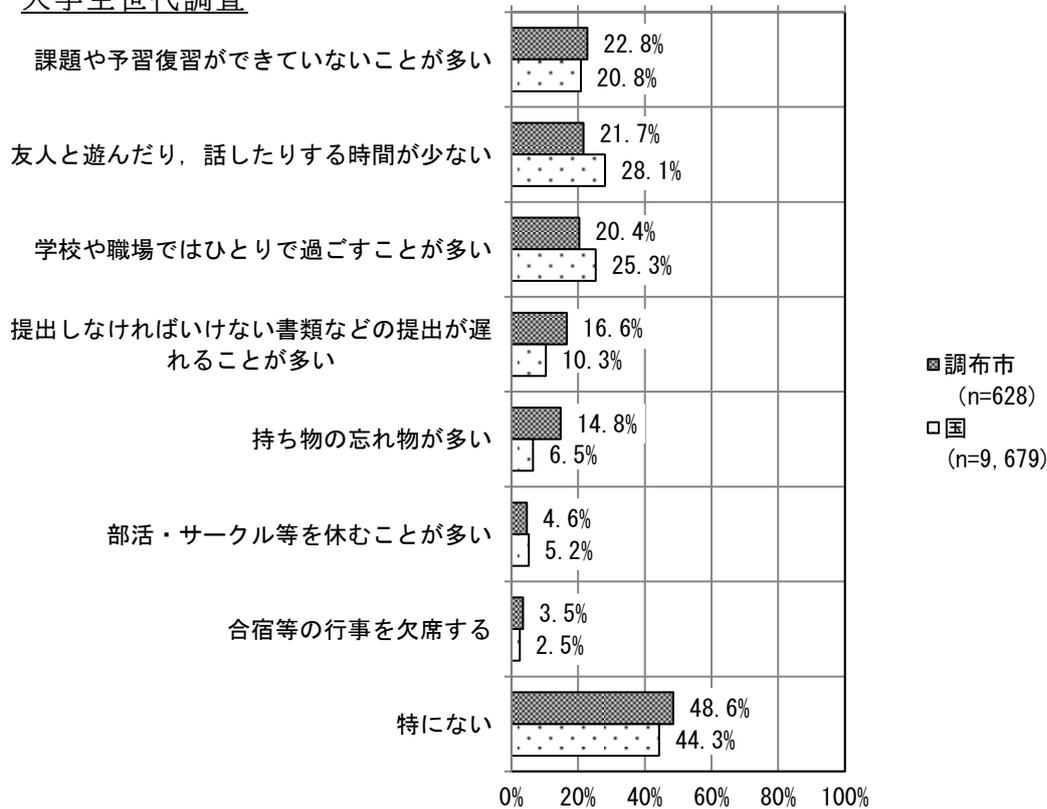


第2章 4 大学生世代調査

問8. 普段の生活で、下に挙げたようなことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「課題や予習復習ができていないことが多い」が22.8%と最も多く、次いで「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」が21.7%、「学校や職場ではひとりで過ごすことが多い」が20.4%となっている。「特にない」は48.6%となっている。

大学生世代調査

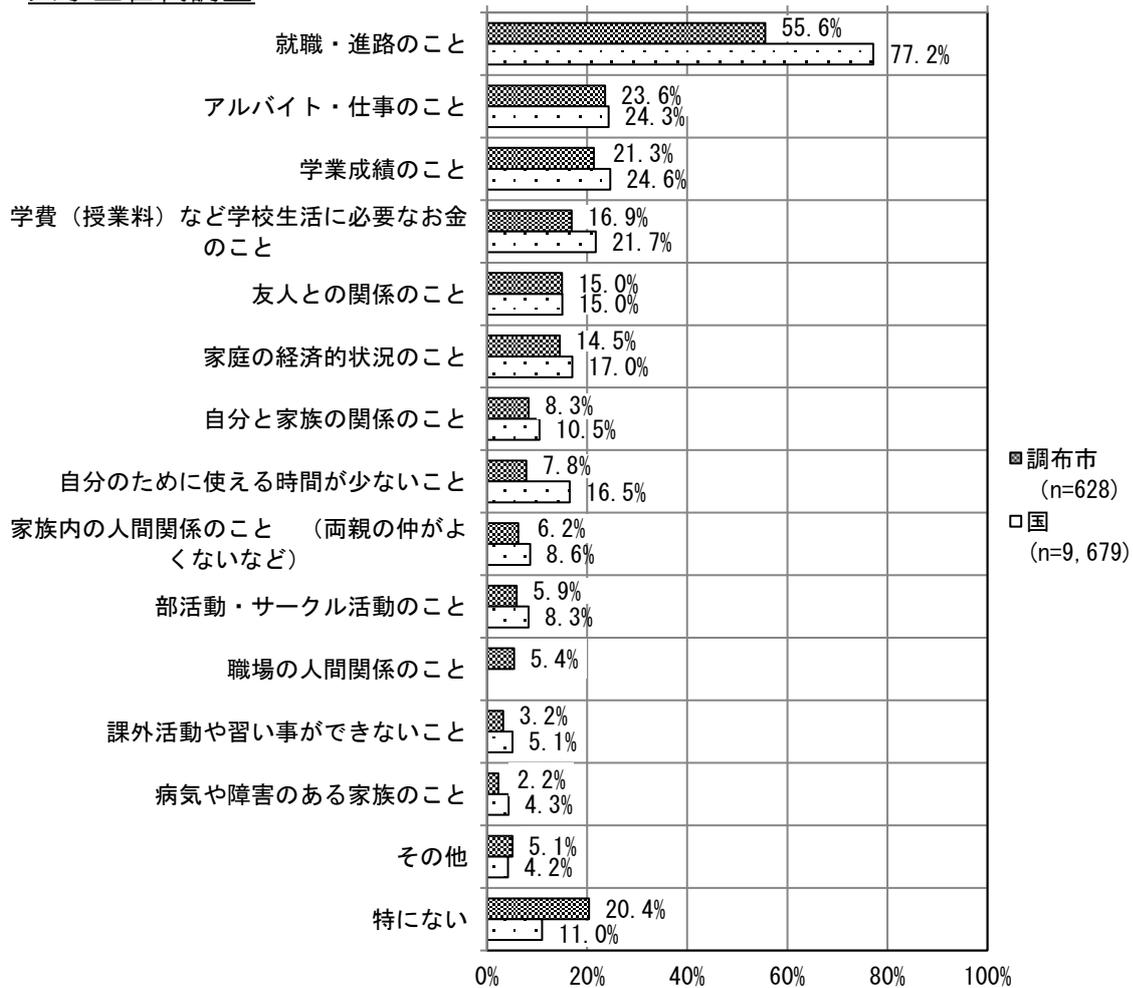


ウ 悩みや困りごとの有無

問9. 現在「悩み」や「困っていること」はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「就職・進路のこと」が55.6%と最も多く、次いで「アルバイト・仕事のこと」が23.6%、「学業成績のこと」が21.3%、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」が16.9%、「友人との関係のこと」が15.0%となっている。「特にない」は20.4%となっている。

大学生世代調査



工 相談相手の有無

問 10. 問 9 のような「悩み」や「困っていること」があるとき、相談をしたり、話を聞いたりしてくれる人がいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 73.2%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が 7.0%、「相談や話はしたくない」が 16.7%となっている。

大学生世代調査



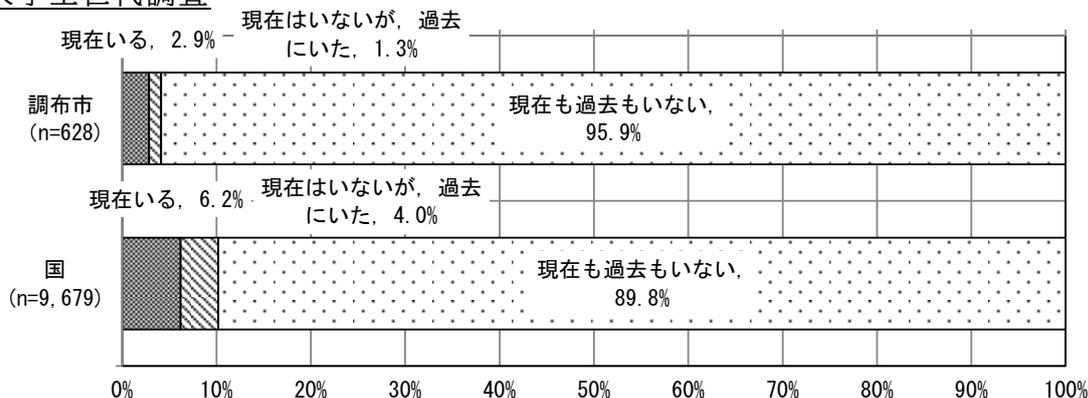
(3) 家族や家庭のことについて

ア 家族の世話をしているか

問 11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「現在いる」が 2.9%、「現在はいないが、過去にいた」が 1.3%、「現在も過去もない」が 95.9%となっている。

大学生世代調査



お世話をしている人がいる
18人
(2.9%)

大学生

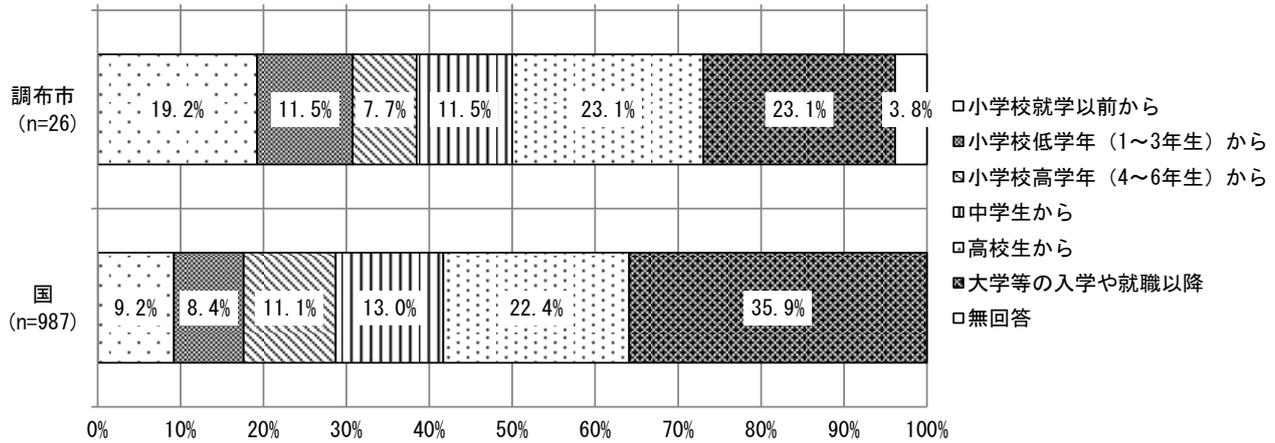
イ 世話をしている期間等

問 12 から問 28 は問 11 で、「現在いる」「現在はいないが、過去にいた」と答えた人にお聞きします。

問 12-a. あなたはお世話をいつから行っていますか。(はっきりと分からない場合は、だいたいでもかまいません。) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「高校生から」、「大学等の入学や就職以降」がともに 23.1%、「小学校就学以前から」が 19.2%となっている。

大学生世代調査

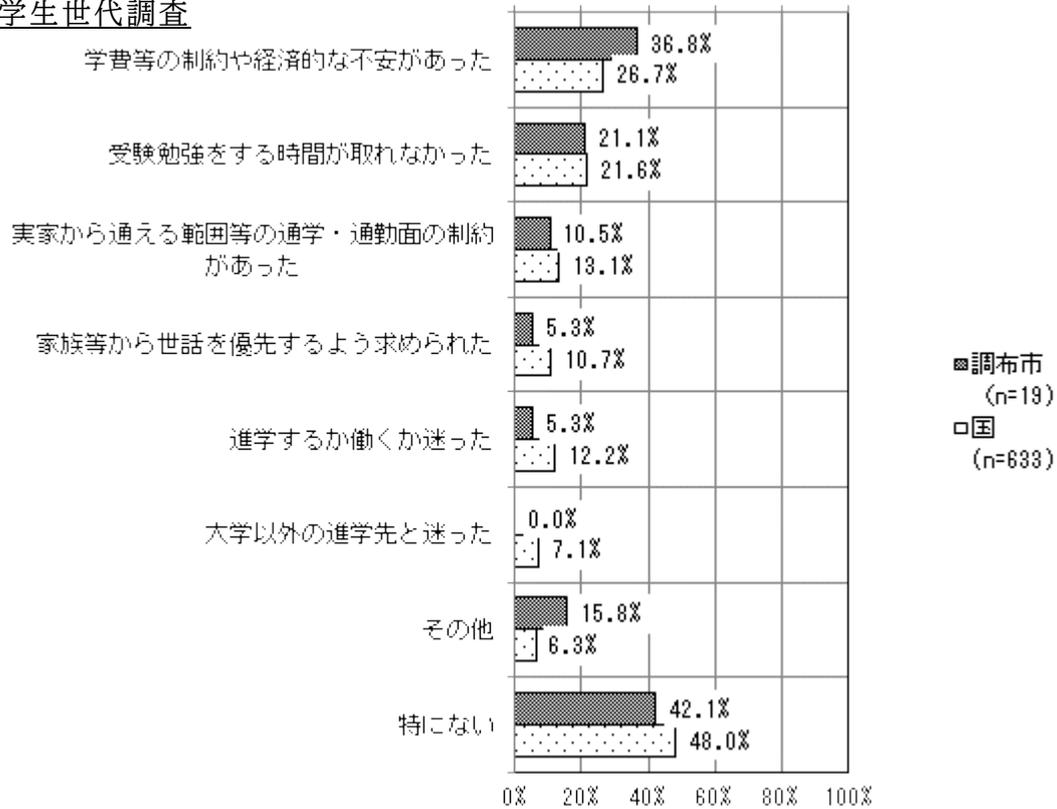


第2章 4 大学生世代調査

問 12-b. この質問は、問 12-a で、「大学等への入学や就職以降」と回答した方以外にお聞きします。お世話をしていることで、大学等への進学や就職の際に苦労したこと・影響を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「学費等の制約や経済的な不安があった」が 36.8%，「受験勉強をする時間が取れなかった」が 21.1%となっている。

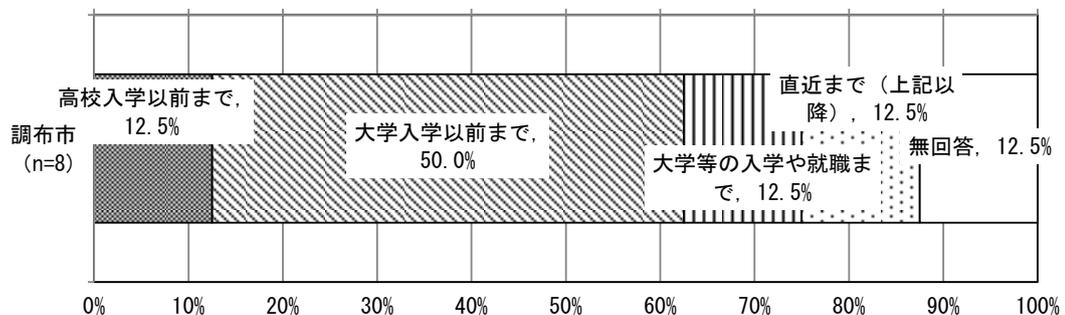
大学生世代調査



問 12-c. この質問は、問 12 で、「現在はいないが、過去にいた」と答えた人にお聞きします。いつまでお世話をしていましたか。(はっきりと分からない場合は、だいたいでかまいません。) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「大学入学以前まで」が 50.0%，「高校入学以前まで」，「大学等の入学や就職まで」，「直近まで」がそれぞれ 12.5%となっている。

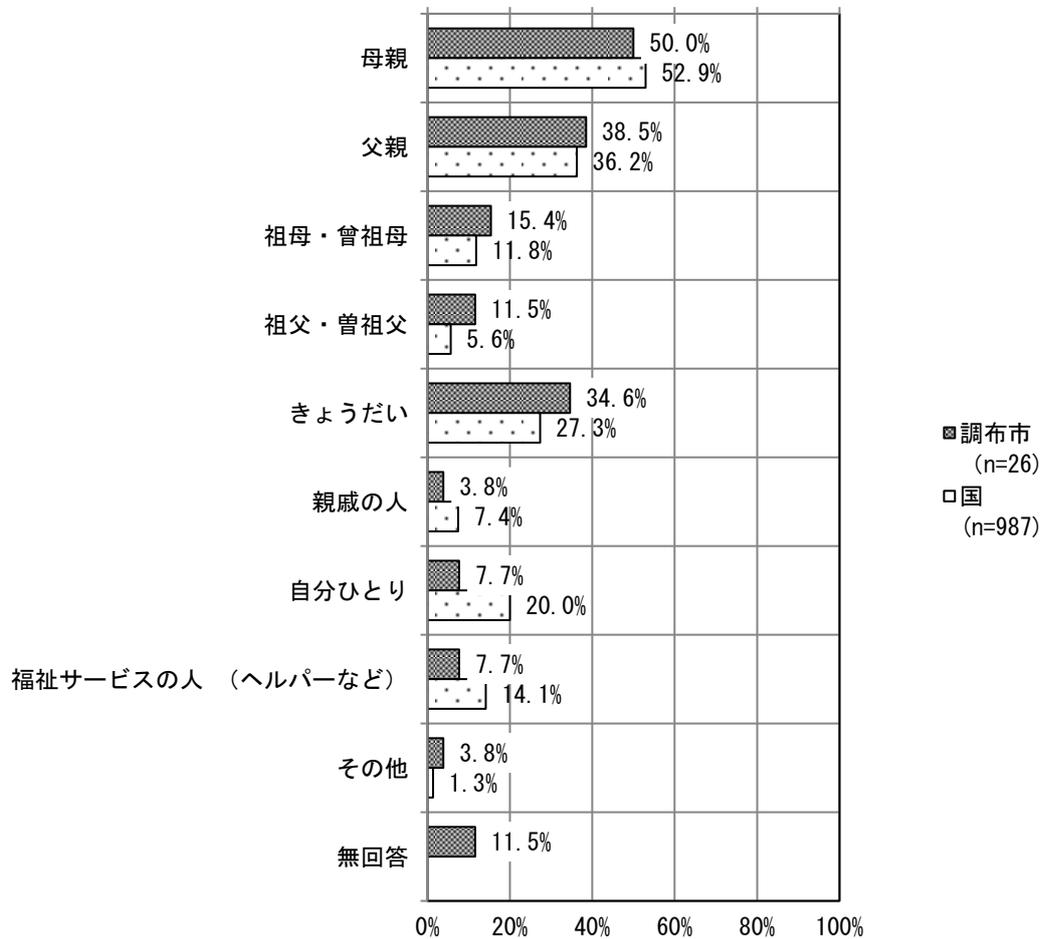
大学生世代調査



問 13. あなたはそのお世話をだれと一緒にしていますか。(問 11 で「現在はいいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「母親」が 50.0%、「父親」が 38.5%、「きょうだい」が 34.6%となっている。

大学生世代調査

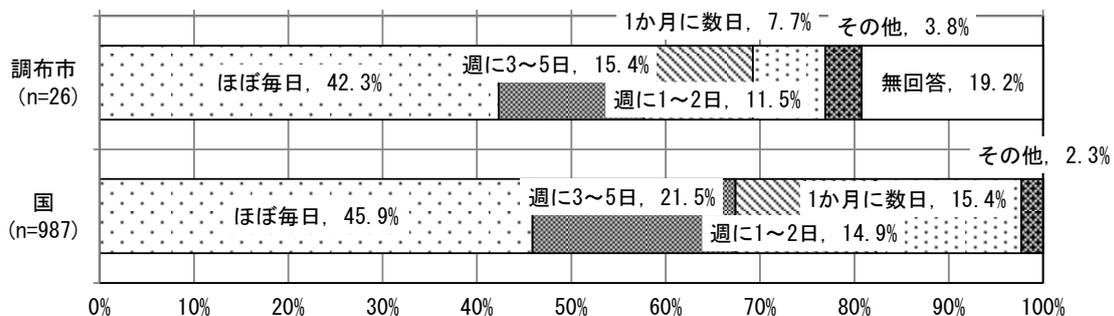


第2章 4 大学生世代調査

問 14. あなたはどれくらいお世話をしていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「ほぼ毎日」が 42.3%、「週に 3~5 日」が 15.4%、「週に 1~2 日」が 11.5%、「1 か月に数日」が 7.7%となっている。

大学生世代調査

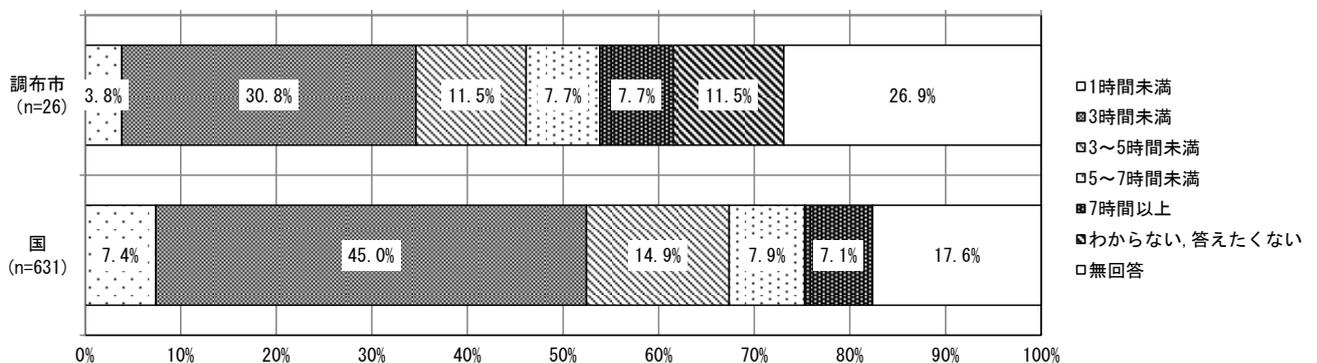


問 15. あなたは 1 日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。日によってちがう場合は、この 1 か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

「1~3 時間未満」が 30.8%で最も多く、次いで「3~5 時間未満」が 11.5%、「5~7 時間未満」, 「7 時間以上」がそれぞれ 7.7%となっている。

大学生世代調査

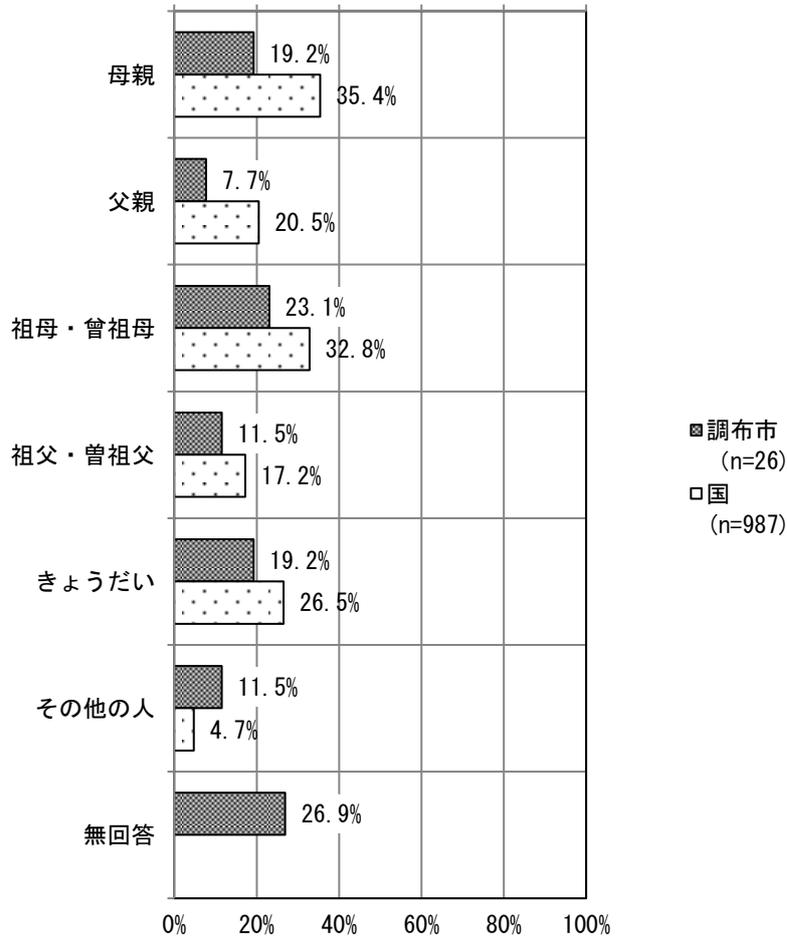


ウ 世話をしている相手

問 16. あなたがお世話をしている人はだれですか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「母親」が 19.2%、「父親」が 7.7%、「祖母・曾祖母」が 23.1%、「祖父・曾祖父」が 11.5%、「きょうだい」19.2%、「その他の人」が 11.5%となっている。

大学生世代調査



工 世話を必要としている理由

世話をしている対象 必要な理由	16-a 父母	16-b 祖父母 曾祖父母	16-c 兄弟姉妹	16-d その他の人
回答者数	7人	8人	5人	3人
高齢のため（65歳以上）	0.0%	50.0%		0.0%
幼いため			40.0%	0.0%
介護が必要	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
認知症のため	0.0%	75.0%		0.0%
身体障害のため	14.3%	25.0%	0.0%	0.0%
知的障害のため	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病気のため			0.0%	
こころの病気のため	57.1%	12.5%		33.3%
依存症のため	0.0%	0.0%		0.0%
その他の病気やけがのため	14.3%	12.5%		0.0%
日本語が苦手なため	14.3%	12.5%	0.0%	0.0%
その他	28.6%	12.5%	60.0%	66.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 16-a. この質問は、問 16 で、「母親」「父親」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「母親」「父親」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「こころの病気のため」が 57.1%、「身体障害のため」が、「その他の病気やけがのため」、「日本語が苦手なため」がそれぞれ 14.3%となっている。

問 16-b. この質問は、問 16 で、「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「認知症のため」が 75.0%、「高齢のため」が 50.0%、「介護が必要」、「身体障害のため」がそれぞれ 25.0%となっている。

問 16-c. この質問は、問 16 で、「きょうだい」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「きょうだい」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「幼いため」が 40.0%となっている。

問 16-d. この質問は、問 16 で、「その他の人」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。その人は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

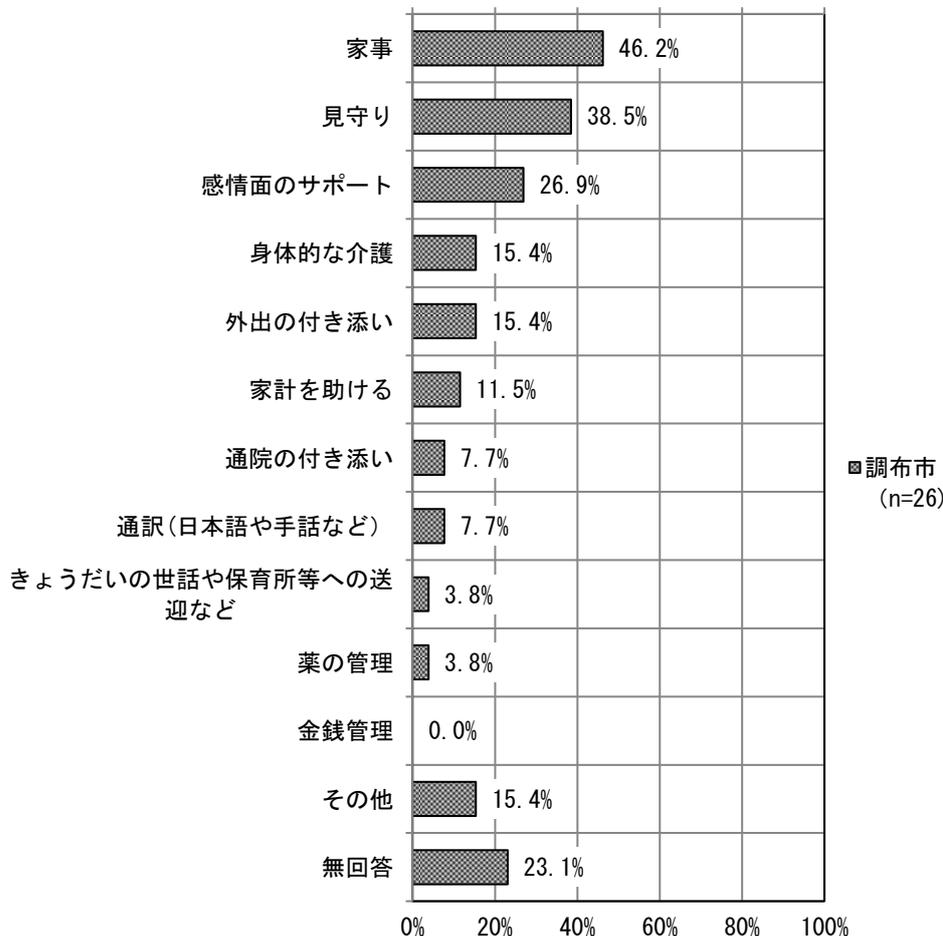
「こころの病気のため」が 33.3%となっている。

オ どのような世話をしているか

問 17. あなたはどのようなお世話をしていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「家事」が 46.2%と最も多く、次いで「見守り」が 38.5%、「感情面のサポート」が 26.9%となっている。

大学生世代調査

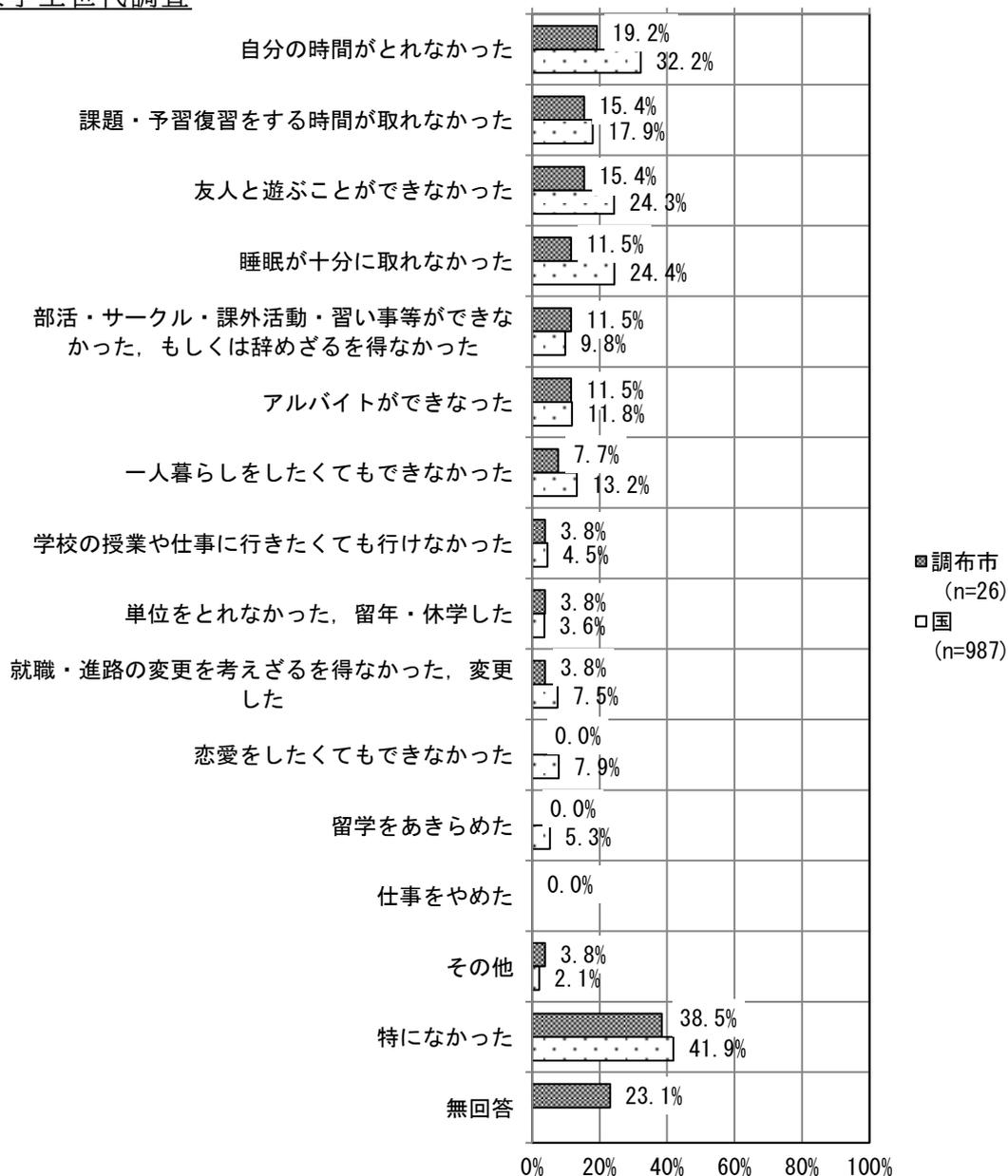


カ 世話をすることで困ること

問 18. お世話をしていることで、やりたかったがあきらめたことはありますか。(問 11 で「現在はいいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自分の時間が取れなかった」が 19.2%、「課題・予習復習をする時間が取れなかった」, 「友人と遊ぶことができなかった」がそれぞれ 15.4%となっている。

大学生世代調査



問 19. お世話をしていることで、今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことはありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「一人暮らしができるか不安がある」、「自分の時間が取れない」がともに 19.2%、「課題・予習復習をする時間が取れない」、「友人と遊ぶことができない」、「アルバイトができない」が 15.4%となっている。「特にない」は 34.6%となっている。

大学生世代調査

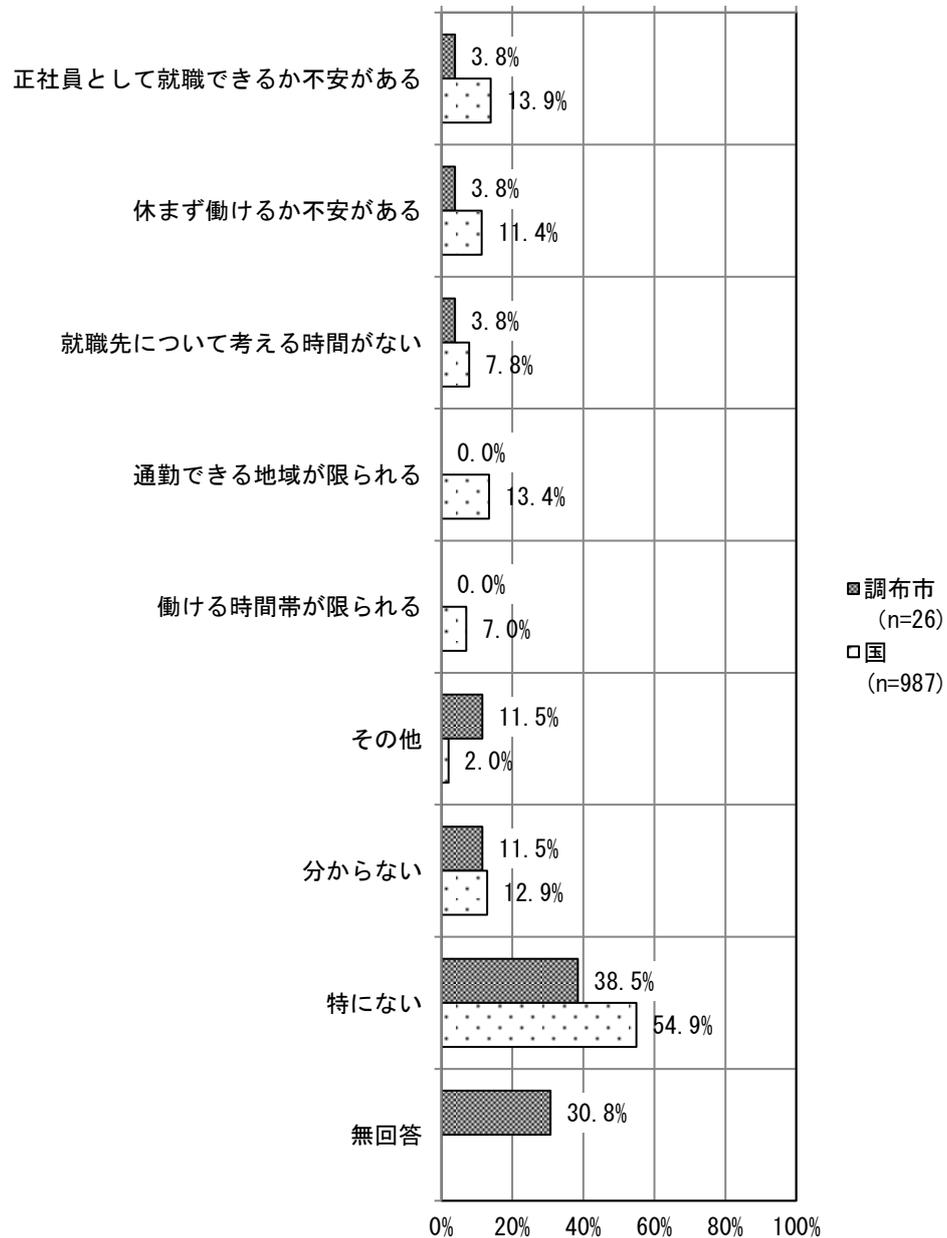


キ 世話をすることに大変さを感じているか

問 20. お世話をしていることで、就職や転職に関し不安はありますか。(問 11 で「現在は
いないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまる
もの全てにチェックをしてください。

「特にない」が 38.5%となっている。

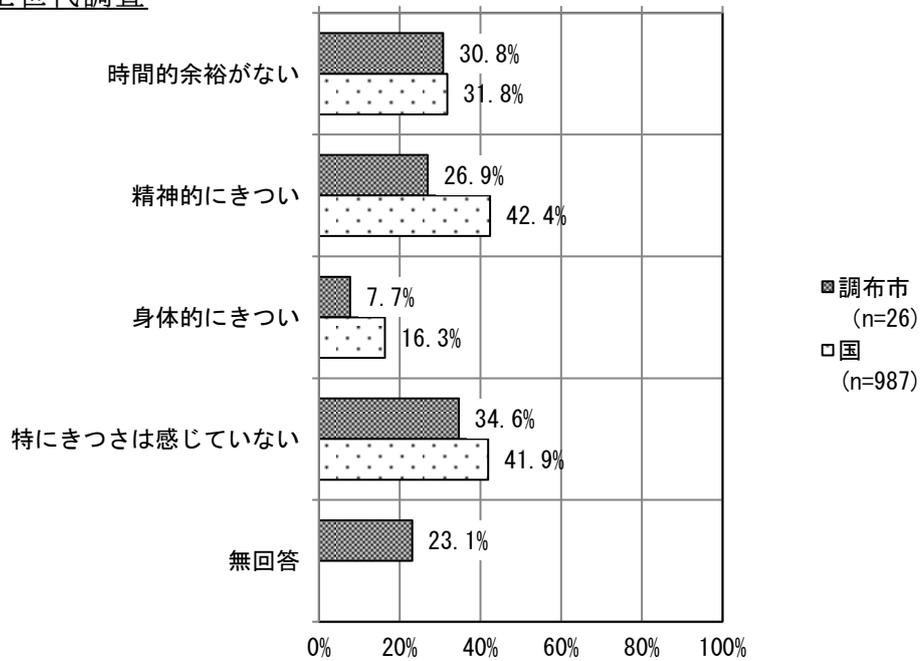
大学生世代調査



問 21. お世話をすることにきつさを感じていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「時間的余裕がない」が 30.8%、「精神的にきつい」が 26.9%、「身体的にきつい」が 7.7%、「特にきつさは感じていない」が 34.6%となっている。

大学生世代調査

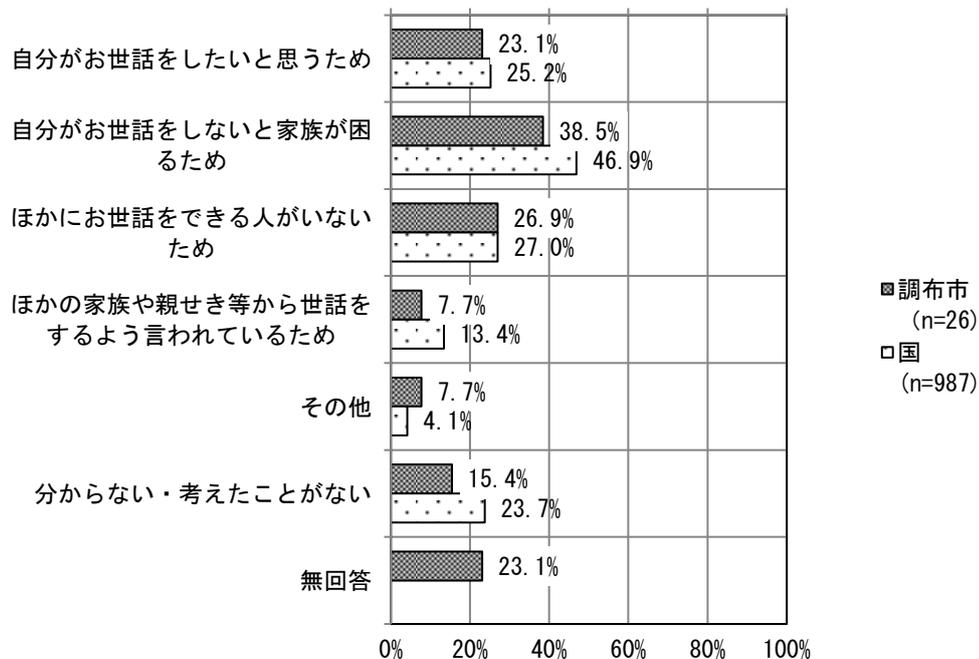


第2章 4 大学生世代調査

問 22. ご自身がお世話をする理由をどのようにとらえていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「自分がお世話をしないと家族が困るため」が 38.5%、「ほかにお世話をできる人がいないため」が 26.9%、「自分がお世話をしたいと思うため」が 23.1%となっている。

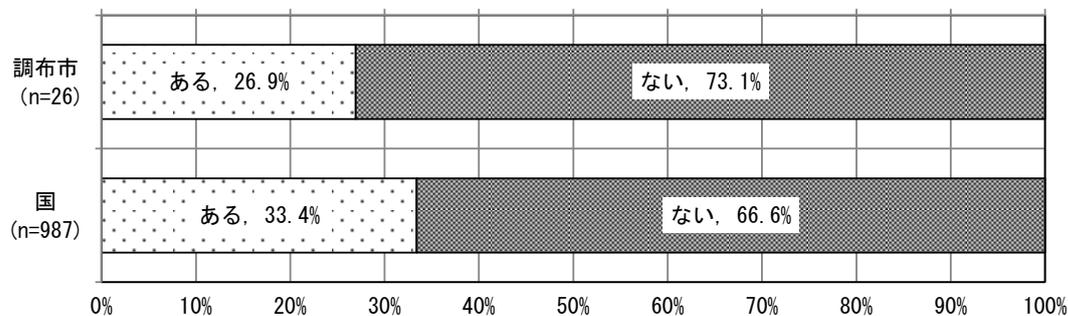
大学生世代調査



問 23. あなたがお世話をしている家族のことや、お世達の悩みをだれかに相談したことはありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

「ある」が 26.9%、「ない」が 73.1%となっている。

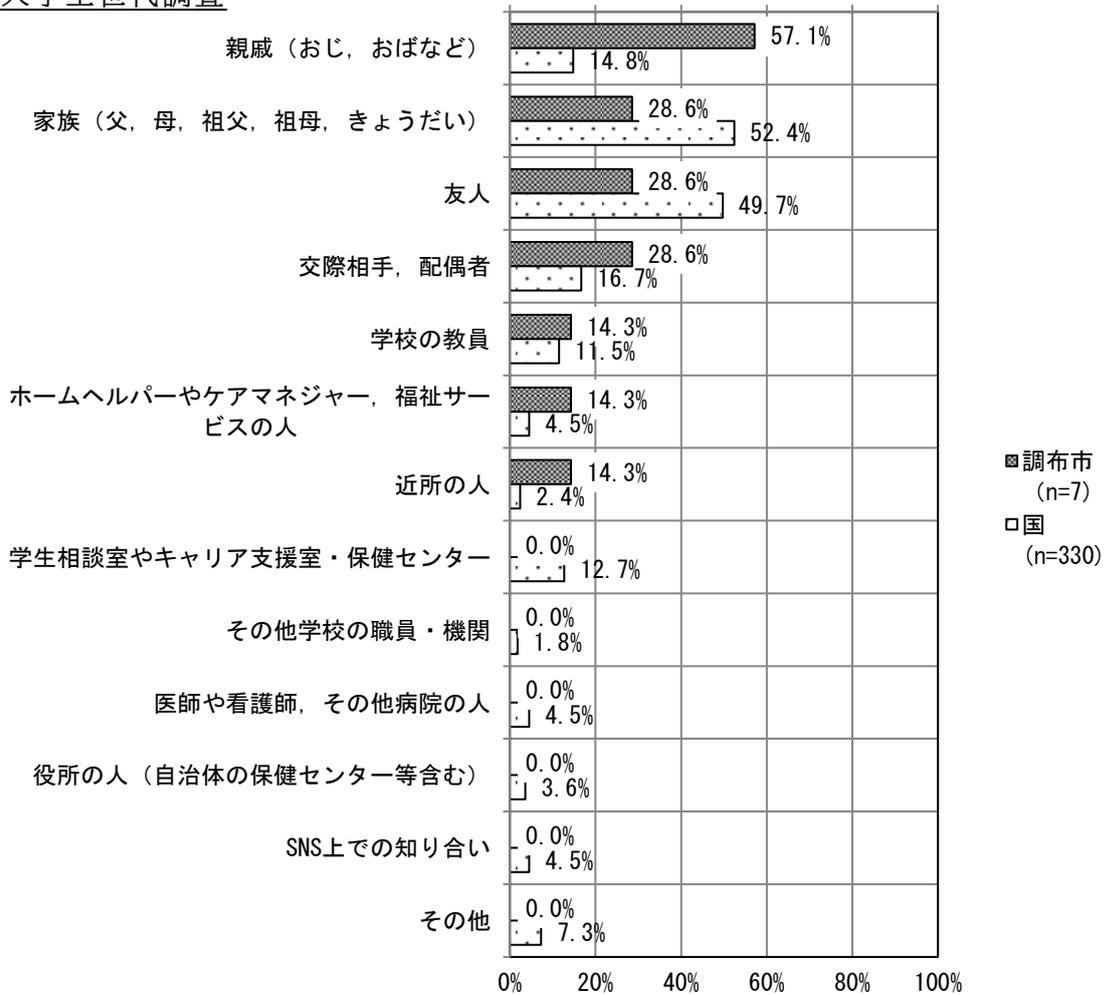
大学生世代調査



問 24. 問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話を悩みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「親戚」が 57.1%，「家族」，「友人」，「交際相手，配偶者」がそれぞれ 28.6% となっている。

大学生世代調査

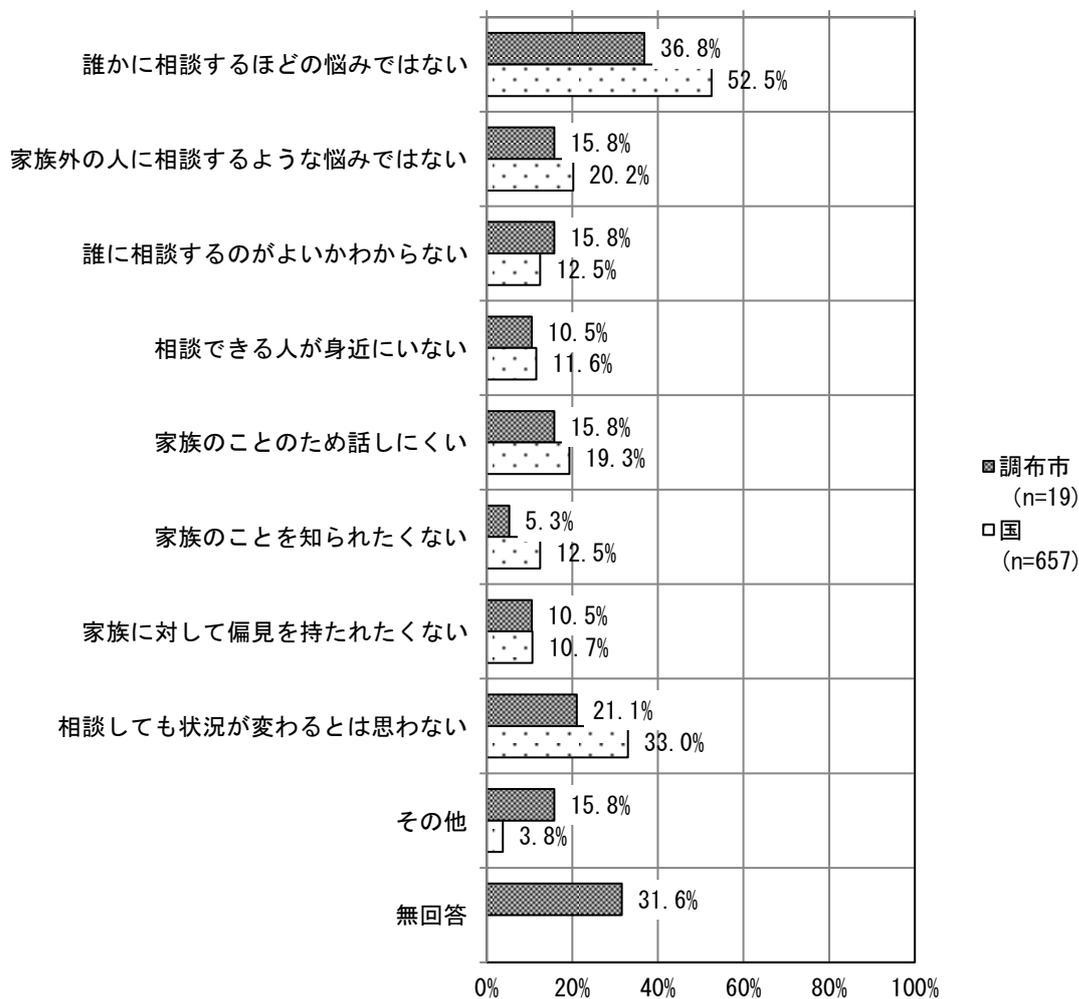


ク 世話の悩みを相談したことがあるか

問 25. 問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(問 11 で「現在はいいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「だれかに相談するほどの悩みではないから」が 36.8%、「相談しても状況が変わると思わない」が 21.1%、「家族外の人に相談するような悩みではない」、「誰に相談するのがよいかわからない」、「家族のこのため話しにくい」がそれぞれ 15.8%となっている。

大学生世代調査

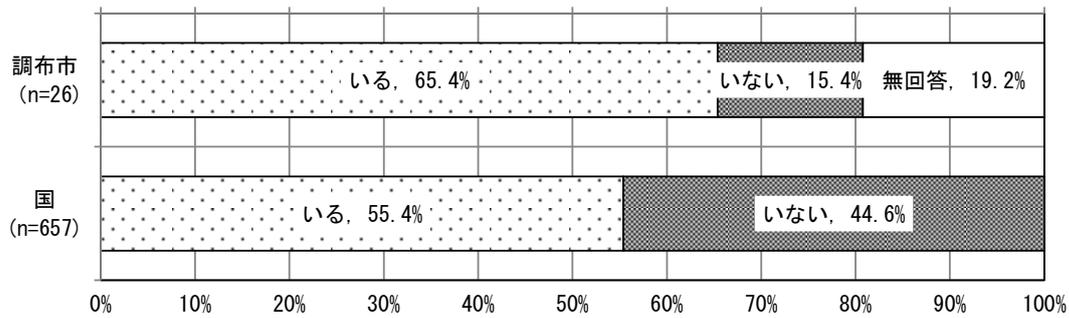


ケ 世話について聞いてくれる人がいるか

問 26. お世話をしている家族のことや、もしあなたが相談すればお世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「いる」が 65.4%、「いない」が 15.4%となっている。

大学生世代調査

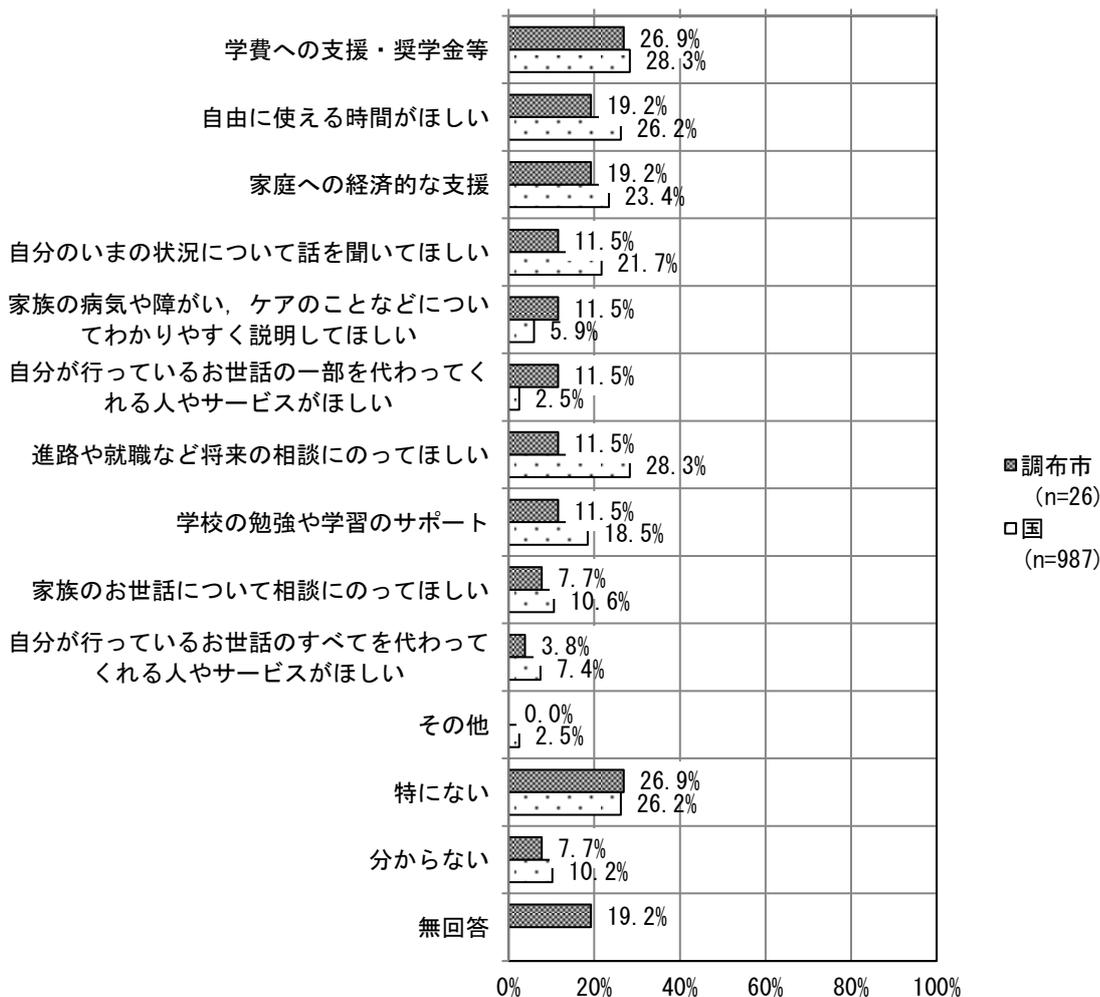


コ 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

問 27. 学校や職場の周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「学費への支援・奨学金等」が 26.9%, 「自由に使える時間がほしい」, 「家庭への経済的な支援」がそれぞれ 19.2% となっている。

大学生世代調査



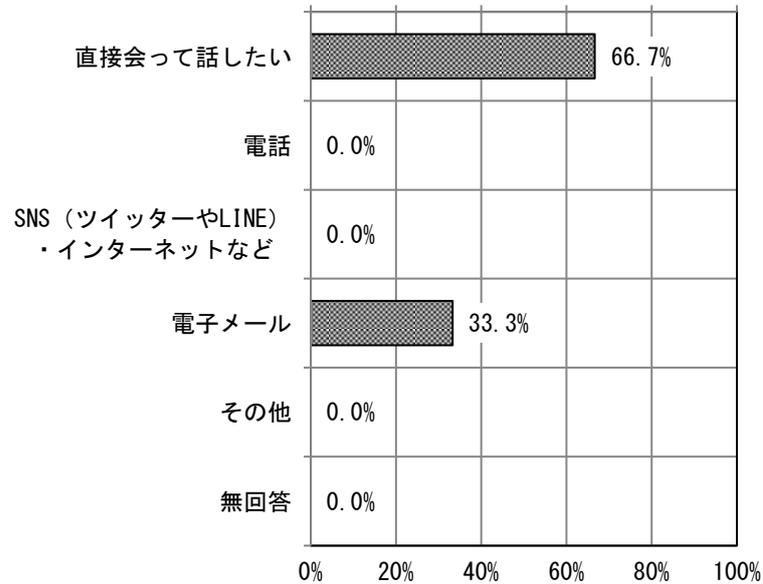
サ 希望する相談方法

問 28. 問 26 で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのような方法で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「直接会って話したい」が 66.7%，「電子メール」が 33.3% となっている。

大学生世代調査

n=3



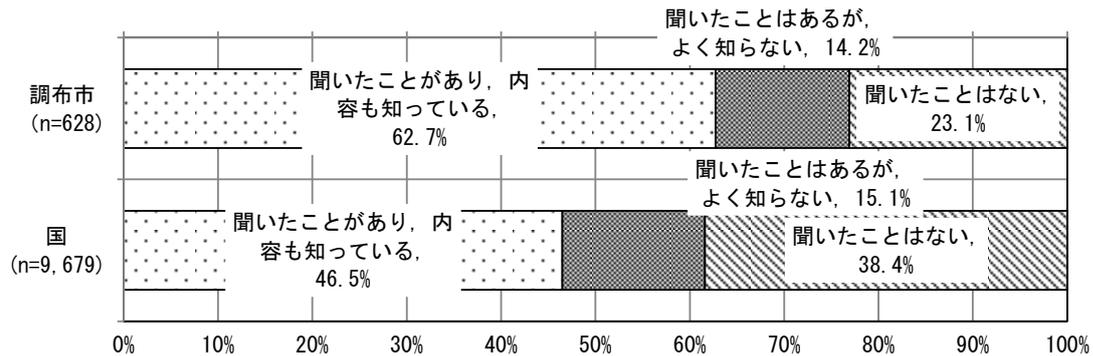
(4) ヤングケアラーについて

ア 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

問 29. 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉を，これまでに聞いたことがありましたか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「聞いたことがあります，内容も知っている」が62.7%と最も多く，次いで「聞いたことはない」が23.1%，「聞いたことはあるが，よく知らない」が14.2%となっている。

大学生世代調査

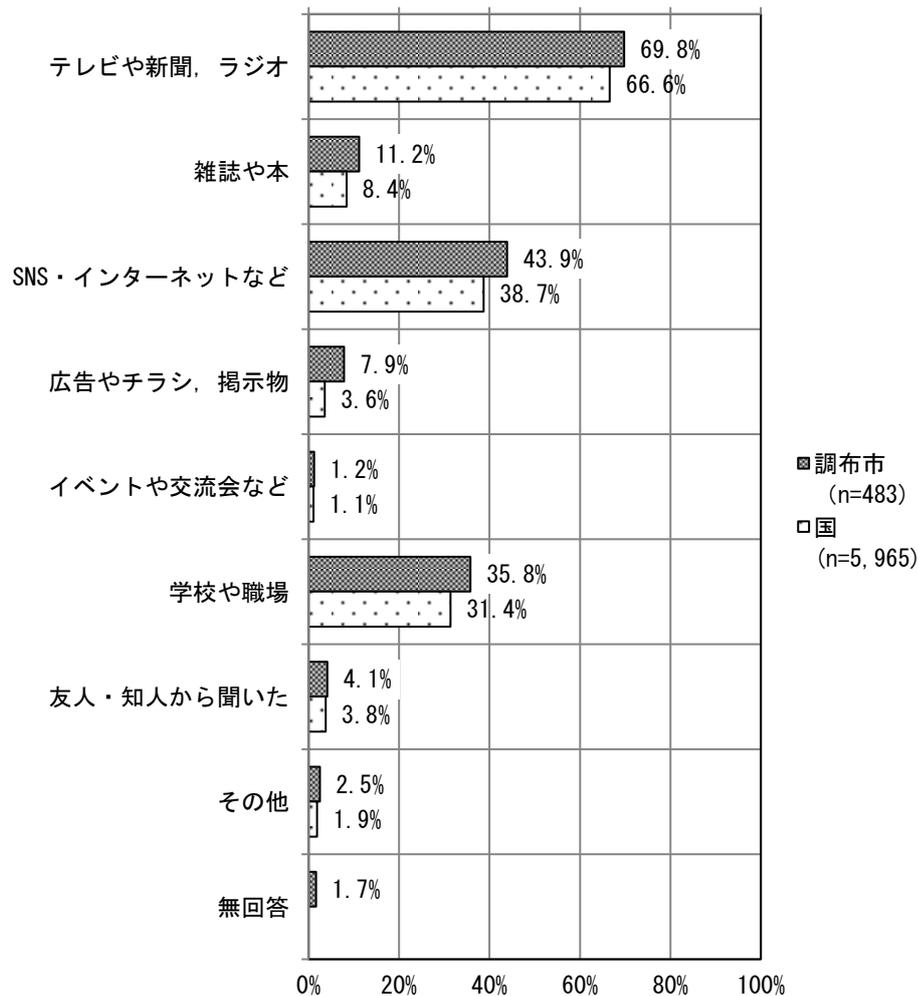


イ 「ヤングケアラー」という言葉を知った方法

問 30. 問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり，内容も知っている」「聞いたことはあるが，よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

「テレビや新聞，ラジオ」が 69.8% と最も多く，次いで「SNS・インターネットなど」が 43.9%，「学校や職場」が 35.8% となっている。

大学生世代調査

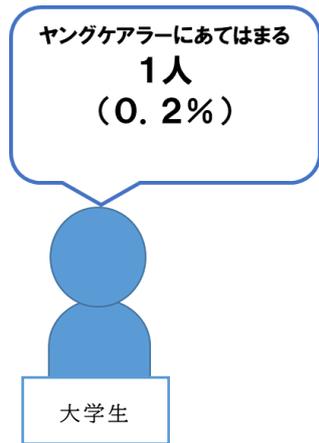
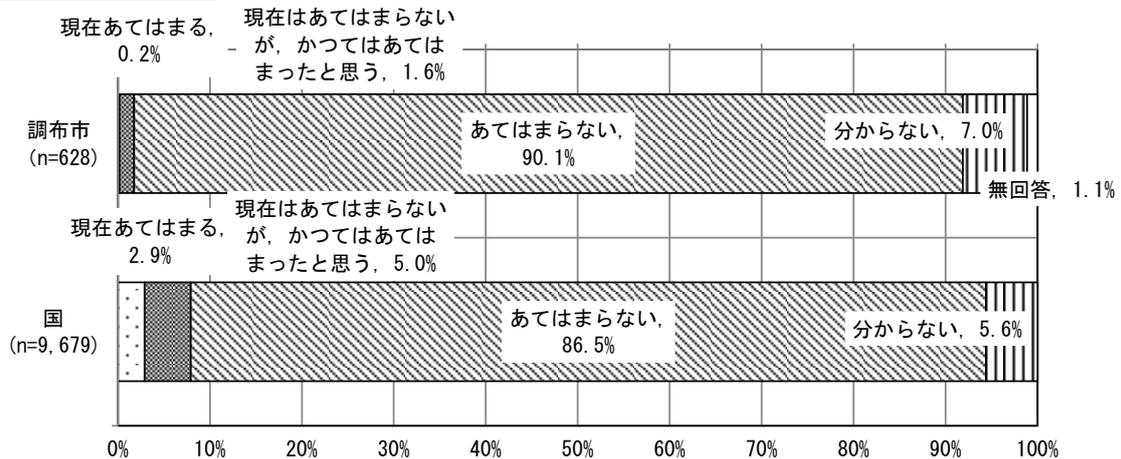


ウ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

問 31. あなた自身は「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると思いますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

「現在あてはまる」が0.2%、「現在はあてはまらないが、かつてはあてはまったと思う」が1.6%、「あてはまらない」が90.1%となっている。

大学生世代調査



(5) 自由意見

問 32. ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや要望などを自由に記述してください

ここでは、自由記述の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

【問 11 で世話をしている人が「いる」と回答した人の自由意見】

- ・このような調査を行って、どのくらいの人たちがどのように困っているのか把握する
- ・学校や行政の施設での相談をもっとやりやすくする
- ・どこに行けばどのような支援に繋がれるのか周知する
- ・ヤングケアラーの幅を広げる(現在の定義は18歳以下のため)
- ・私はとにかくどこに行ってもどのような相談をしたらいいかわからないし、相談に行けたとしてもそこで自分の感情を否定されたりしないんだろうかと不安になります。安心していける、包括的な支援を受けられるような場所があるといいなと思います。また、「もっと頑張れば他のこともできるのに」という気持ちが常にあり、自分を責めてしまうことがあります。祖母お世話をしている自分ももっとちゃんとすれば課題もちゃんとこなせるのに、とか、もっと大変な介護をしている同年代がいるのにこんなことで根を上げてはだめだ、とか。介護や育児、お世話をするということは大変なことなんだという認識がもっと社会で広まれば自分の罪悪感？も薄れるのではないかと思います。
- ・うちの家庭は、母方の祖母の介護から祖父の介護、そして今は祖母の介護を在宅でしています。今留学中ですが、小1の入学の機会に引越しをして、祖母の在宅介護を始め、幼いながらできるお手伝いから初めていました。学年が上がるにつれて出来るサポートが増えました。我が家の親のスタンスは、子供はまずは子供らしく、優先すべきことをやられてもらえてました。ヤングケアラーへの支援ですが、優先的介護施設への入所、入所金額の減額など、検討してあげて欲しいと思います。在宅介護には、時間の拘束や費用も掛かります。未来ある子供の自由を奪わないであげてほしいです。同居介護をしている家庭は、税金の免除があっても良いのにとともに思う。
- ・家族に明らかな障害が無いと、公的な援助サービスが受けられない。家事の中でも食事は毎日で大変なので、配食サービスなど気軽に受けられると良いなと思う。
- ・我が家の場合は、母親の身体が動かなくなると、家族のうちの誰かが長時間付きっきりで母親の手足を曲げたり伸ばしたりすることを繰り返さなければならない。それは身体的にも精神的にもつらいが、常にお世話する必要があるわけではないため、自分がヤングケアラーに当てはまるのかわからない。そのため、このことをどこに相談すればよいのかわからず、かつ自分の母親は持病があることを隠したがるため、知り合いには相談しづらい。このことから、ヤングケアラーの定義を明確にして、お世話の必要性の度合いによって細かく設定すべきだと思う。また、お世話をしている本人からはヘルパーなどのサービスを利用したいと言いつらいなため、そのようなサービス

の案内をしてほしい。

- ・気軽に相談出来る場所を作り，誰にも相談出来ない子供の悩みも，救い取れる様な環境が必要であると思う
- ・実際のヤングケアラーに話を聞き本当に求められているものは何かを*具体的に*聞く。また，介護などの負担を肩代わりするだけでなく，これまでヤングケアラーとして働いていたことにより失ったものをして取り戻すための支援も必要だと思う。

色々，高騰したりしてるので，生活保護や精神的な疾患など持っている人などが，一般世帯の様に生活出来るお金を支給してもらえれば，子供(自分)達やまわりも普通に生活できると思うから生活保護の支給金額などの見直し等をして欲しいです。

- ・大学や企業に支援を勧める
- ・母子家庭なので，母は生活，学費の為にかけてもちの仕事をしています。母が仕事の際は，私が祖父母の面倒をみています。経済的に大変なので助けて欲しいです。

【世話をしている人が「いない」と回答した人の自由意見】

- ・ヤングケアラーの方の中には自分がないと，家族の生活が立ち行かなくなると考えている人もいると聞きます。私の先輩は親と距離を置いた際に，自殺をほのめかすことを言われたらしいです。逆に，家族に感謝されて家事や介護を断れなかったり，使命感を持っていたりするケースもあると思います。そういった精神的な鎖がヤングケアラーの方を縛っている限り，解決ではないです。家事や介護を一時的に代わったり，家族と距離を置いたりすることも重要ですが，その後のヤングケアラーの方へのケアも肝心だと考えます。家族の状況でヤングケアラーが不利益を被ることは健全ではないことや家族には行政がしっかり責任をもつことをちゃんと伝えて，家族に縛られないように，継続的なアフターケアを行政には行って頂きたいです。
- ・収入的にも厳しいし，学校や会社に相談してもどうしようもないことがあると思う。まずは経済支援。お金のない家庭には給付金があるべきだと思う。次に市役所等に専門の窓口を作る。ここまでは最低限。まずは学校教育を見直すべきである。授業でこういった課題をあまりに扱わない，あるいはサラッと流しすぎである。普段の五教科を始めとした授業は確かに大事である。しかし，学ぶべきことが多く授業が効率的を求めすぎてこういった倫理や道徳を軽視しているのではないか。結果的には片親パンと言った悪意ある言葉が生まれたり，闇バイトやお店への迷惑行為が蔓延しているのだと推測する。そもそも現代の学校教育は学ぶべきことが多すぎる。ついていけない子は切り捨てられる，あるいは塾に行くことを前提とした学校教育は見直すべきであると思う。話が脱線した。1番親と合う可能性の高い先生がまずその子の家庭環境について大雑把でいいので把握するべきだと思う。そして学校からヤングケアラーの可能性があるとということを報告できる仕組みが必要。学校は授業を教えるだけの場所ではないと再認識すべきである。寝たきりの家族，それに相当するものがある家庭にはヘルパーと言った人を送るべきだと思う。ヤングケアラーはお金の悩み以上に自分が面倒見なくてはならないというある種の束縛を自分に課している。まずはそれから解放させてあげるべきだと思う。子供がやりたいことが出来ない。やる気も起きないような状況に置いておくのは実質未来がないも同然。本人の努力は必要だが，自立させ

てあげられるような環境を整えてあげることが大事。支援する訳だが、ここで出てくる問題が財源と支援期間である。財源に関しては国の問題なので、ここでは置いておく。支援期間についてである。大抵こういうのは学生卒業、つまりところ中～大学生までであると思う。しかし、働き出したから支援終わりでは意味が無い。結局ヤングケアラーは悪く言うと生まれた時から荷を背負った状況である。働きにでたからと言って負担が減る訳では無い。むしろ増える。ここでひとつ提唱したい。要介護度とは別にヤングケアラーのための認定制度を作るべきである。これにより生涯支援を受けられるようにしたい。ヤングケアラーにも色々なタイプがあると思うので判定は簡単では無いが、挑戦してみる価値はあると思う。正直私の言ったことが実行に移される可能性は低いと思ってる。だが、この問題について考えてくれる人を増やすことこそが大事である。

- ・私はヤングケアラーには当てはまらないので本人たちの気持ちを100%理解することはできません。だからふたつ思ったことを書かせていただきます。私の周りにも当てはまる人はいるのですがその人たちは何に対しても、例えばそういったサービスなどにも、いろいろな物に対して抵抗が強い印象がある人もいるのかなと感じました。あともう一つ、学校でできる取り組みは難しいように感じます。私は小学生の弟がいますが少し前まで保健室登校ならぬ校長室登校をしていました。その学校では担任が管理しきれない生徒がいた場合、校長先生に頼み校長室に預けているようでした。いくら学童の拡張や学校側に頼むのは望めない気がします。なにかできることってというのは私の中では答えが出なく本当に申し訳ないのですが、なにか参考になれば幸いです。
- ・進学諦めちゃう人もいるので、できる限りのサポートやその家庭の家族を直接支援していく事(例.家に来て家事をサポートやそれぞれの家族の要望聞いた上でのサポート)をすることが大事だと思います。
- ・自分自身がヤングケアラーだという自覚がない人も多くいるため、相談することや助けを求めることが出来ずにいる人が多いと思う。周りもその人がヤングケアラーだと言うことを知らないことの方が多く、助けてあげられないと思うので、一人一人が周りを気にしながら生活を送ることで少しは目に入りやすくなるのではないかと思う。

資料編

1 小学生調査内容

小学生の生活についてのアンケート調査

ご協力のおねがい【小学5年生・6年生のみなさんへ】

- ・これは、調布市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況（じょうきょう）などをお聞きし、どのような支援（しえん）があった方がよいか考えるためのアンケートです。
- ・みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいします。
- ・このアンケートは、小学生のあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。
- ・答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とぼして次の質問に進んでください。
- ・自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- ・あなたの名前は入力しないので、あなたの答えをほかの人に知られることはありません。

アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

①あなたのことについて教えてください。

問1.

あなたの学年を教えてください。

★

小学5年生 小学6年生

問2.

あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

（答えは1つ）”

男 女 その他 答えたくない

問3.

今、いっしょに住んでいる人について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「人数も入力してください」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

（答えはいくつでも）

お母さん お父さん おばあさん・ひいおばあさん

おじいさん・ひいおじいさん お兄さん・お姉さん 人数も入力してください→
弟・妹 人数も入力してください→ その他

問4.

あなたの健康状態(じょうたい)について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

（答えは1つ）

よい まあよい ふつう あまりよくない よくない

②ふだんの生活について教えてください。

問 5.

学校を休むことがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど休まない たまに休む よく休む

問 6.

学校に遅刻(ちこく)をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど遅刻することがない たまに遅刻することがある よく遅刻する

問 7.

学校を早退(そうたい)をすることがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど早退することがない たまに早退することがある よく早退する

問 8.

放課後、習い事、塾(じゅく)、クラブ活動などをしていきますか。

はい いいえ

問 9.

ふだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

授業中に寝(ね)てしまうことが多い
宿題ができていないことが多い
持ち物のわすれ物が多い
習い事、塾(じゅく)、クラブ活動を休むことが多い
提出物を出すのが遅れることが多い
修学旅行などの宿泊(しゅくはく)行事を欠席する
保健室ですごすことが多い
学校では1人ですごすことが多い
友だちとあそんだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
とくにない

問 10.

今、なやんでいることがありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

友だちとのこと
学校の成績(せいせき)のこと
習い事のこと、塾(じゅく)、クラブ活動のこと
家族のこと
生活や勉強に必要なお金のこと(食費(しょくひ)や病院にかかるお金、電気・ガス・水

道代など)
 自分のために使える時間が少ない (あそんだり勉強をする時間など)
 とくにない
 その他

問 11.

問 10 のような「なやみ」や「こまっていること」があるとき、話を聞いてくれる人がいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

いる いない 相談や話はなるべくしたくない

問 12.

「なやみ」や「こまっていること」について、家族以外に相談できる場所を知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の先生 スクールソーシャルワーカー 子ども家庭支援センターすこやか
 教育相談所 児童館・青少年ステーション CAPS 民生委員・児童委員
 児童相談所 ひとつも知らない その他

③家族やお家のことについて教えてください

問 13.

家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

★

いる いない

問 14.

問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。

あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

お母さん → 問 15-a へ
 お父さん → 問 15-a へ
 おばあさん・ひいおばあさん → 問 15-b へ
 おじいさん・ひいおじいさん → 問 15-b へ
 おにいさん・おねえさん → 問 15-c へ
 おとうと・いもうと → 問 15-c へ
 その他の人(どんな人かを記入してください) → 問 15-d へ

問 15-a.

この質問は、問 14 で、「お母さん」「お父さん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「お母さん」「お父さん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。
あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65歳以上)

介護(かいご)が必要 (ここで言う「介護(かいご)」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

認知症(にんちしょう)のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

依存症(いそんしょう)のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他

わからない

問 15-b.

この質問は、問 14 で、「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65歳以上)

介護(かいご)が必要 (ここで言う「介護(かいご)」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

認知症(にんちしょう)のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

依存症(いそんしょう)のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他

わからない

問 15-c.

この質問は、問 14 で、「おにいさん・おねえさん」「おとうと・いもうと」のお世話をしている人と答えた人にお聞きします。

「おにいさん・おねえさん」「おとうと・いもうと」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

おさないため (小さいため)

介護(かいご)が必要 (ここで言う「介護(かいご)」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

病気のため

日本語が苦手なため

その他

わからない

問 15-d.

この質問は、問 14 で、「その他の人」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

その人は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65 歳以上)

おさないため (小さいため)

介護(かいご)が必要 (ここで言う「介護(かいご)」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

認知症(にんちしょう)のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

依存症(いそんしょう)のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他

わからない

問 16.

あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合にはあてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家事（食事の用意やかたづけ，そうじ，服の洗濯(せんたく)，買い物など）
きょうだいのお世話や送り迎(むか)え
おふろ・トイレの手伝い
買い物やさんぽにいっしょに行く
病院へいっしょに行く
話を聞く
見守り
通訳(つうやく)（日本語が苦手な人のために通訳したり，耳が不自由な人へ手話で通訳をする）
家のお金の管理（生活に必要なお金をあずかっている・使い道を考えたり，買い物をするなど）
薬の管理（薬を飲んだか，多く飲んでないかなどをたしかめたり，手助けをする）
その他

問 17.

あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合にはあてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

お母さん お父さん おばあさん・ひいおばあさん
おじいさん・ひいおじいさん おにいさん・おねえさん
おとうと・いもうと しんせきの人 自分のみ
福祉(ふくし)サービスの人 (ヘルパーさんなど) その他

問 18.

あなたは何歳(さい)からお世話をしていますか。

※はっきりとわからない場合は，だいたいの年で答えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

(自由記述)

問 19.

あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほぼ毎日 週に3～5日 週に1～2日 1か月に数日 その他

問 20.

あなたは1日のうち，何時間くらいお世話をしていますか。

※日によってちがう場合は，この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※わからない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

(自由記述)

問 21.

お世話をしていることで，以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校を休んでしまう
 遅刻(ちこく)や早退(そうたい)をしてしまう
 宿題など、勉強をする時間がない
 ねむる時間がたりない
 友だちとあそぶことができない
 習い事、塾(じゅく)、クラブ活動、部活動ができない
 自分の時間がとれない
 とくにない
 その他

問 22.

お世話をするのにたいへんさを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

(答えはいくつでも)

体力の面でたいへん 気持ちの面でたいへん
 時間の余裕(よゆう)がない (もっと自分のための時間がほしい)
 とくにたいへんさは感じていない

問 23.

あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

ある ない

問 24.

問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。

それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家族 (お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい)
 しんせき (おじ、おば など)
 友だち
 学校の先生 (保健室(ほけんしつ)の先生以外(いがい))
 保健室(ほけんしつ)の先生
 スクールソーシャルワーカー
 病院の先生や看護師、その他病院の人
 ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉(ふくし)サービスの人
 市役所や保健センターの人
 近所の人
 SNS で知り合った人 (ツイッターや LINE・インターネットなどで知り合った人)
 その他

問 25.

問 25 と問 26 は、問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相

談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

相談するほどのなやみではないから
だれに相談をするのがよいか分からないから
相談できる人がいないから
家族のことは話したくないから
相談をしても何もかわらないから
その他

問 26.

お世話をしている家族のことや、お世話のなやみをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人はいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

いる いない

問 27.

学校やまわりの大人にしてもらいたいことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

自分のことについて話を聞いてほしい
家族のお世話について相談にのってほしい
家族の病気や障害(しょうがい)、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
自分が行っているお世話の全てをだれかに代わってほしい
自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい ※具体的(ぐたいてき)にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。→
自由に使える時間がほしい
勉強を教えてほしい
お金の面で助けてほしい
その他
とくにない
わからない

問 28.

問 27で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

直接会って話したい 電話 SNS※ツイッターやLINE・インターネットなど電子メール
その他

2 中学生調査内容

中学生の生活についてのアンケート調査

ご協力のおねがい【中学生のみなさんへ】

- ・これは、調布市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。
- ・みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいします。
- ・このアンケートは、中学生のあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。
- ・答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とぼして次の質問に進んでください。
- ・自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- ・あなたの名前は入力しないので、あなたの答えをほかの人に知られることはありません。アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

以下の質問にお答えください。

★黄色の星マークがついている質問は、かならず答えてください。

①あなたのことについて教えてください。

問 1.

あなたの学年を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

中学1年生 中学2年生 中学3年生

問 2.

あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

男 女 その他

問 3.

今、いっしょに住んでいる人について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「人数も入力してください」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

(答えはいくつでも)

お母さん お父さん おばあさん・ひいおばあさん おじいさん・ひいおじいさん お兄さん・お姉さん 人数も入力してください→ 弟・妹 人数も入力してください→ その他 人数も入力してください→

問 4.

あなたの健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

よい まあよい ふつう あまりよくない よくない

②ふだんの生活について教えてください。

問 5.

学校を欠席することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど休まない たまに休む よく休む

問 6.

あなたは、学校に遅刻することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど遅刻することがない たまに遅刻することがある よく遅刻する

問 7.

あなたは、学校を早退することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんど早退することがない たまに早退することがある よく早退する

問 8.

放課後、部活動や塾、習い事、クラブ活動などをしていきますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

はい いいえ

問 9.

ふだんの学校生活において、あてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

授業中に寝てしまうことが多い
宿題ができていないことが多い
持ち物の忘れ物が多い
部活動や塾、習い事、クラブ活動を休むことが多い
提出物を出すのが遅れることが多い
修学旅行などの宿泊行事を休む
保健室で過ごすことが多い
学校では1人で過ごすことが多い
友だちとあそんだり、おしゃべりをする時間が少ない
特にない

問 10.

今、悩んでいることや困っていることはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

友だちとのこと 学校の成績のこと 進路のこと
クラブ活動、部活動のこと 塾、習い事のこと

生活にかかるお金のこと (食費や病院にかかるお金, 電気・ガス・水道代など)
 学校でかかるお金のこと (給食費や教科書代など)
 自分と家族の関係のこと
 自分以外の家庭内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど)
 病気や障害のある家族のこと
 自分のために使える時間が少ない (遊んだり勉強をする時間など特にない)

問 11.

問 10 のような「悩み」や「困っていること」があるとき、相談をしたり、話を聞いてくれる人が近くにいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

相談相手や話を聞いてくれる人がいる 相談相手や話を聞いてくれる人がいない

問 12.

「悩み」や「困っていること」について、相談できるところを知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の先生 スクールソーシャルワーカー
 子ども家庭支援センターすこやか 教育相談所
 児童館・青少年ステーション CAPS
 民生委員・児童委員 児童相談所 ひとつも知らない その他

③家族やお家のことについて教えてください

問 13.

家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。(ここで言う「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)

(答えは 1 つ) ★

いる いない

問 14.

問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。

あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

お母さん → 問 15-a へ お父さん → 問 15-a へ
 おばあさん・ひいおばあさん → 問 15-b へ
 おじいさん・ひいおじいさん → 問 15-b へ
 お兄さん・お姉さん → 問 15-c へ
 弟・妹 → 問 15-c へ その他 → 問 15-d

問 15-a.

この質問は、問 14 で、「お母さん」「お父さん」のお世話をしていると答えた人にお聞きし

ます。

「お母さん」「お父さん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。
あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65才以上)
介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)
認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)
身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)
知的障害のため
こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
その他の病気やけがのため
日本語が苦手なため
その他

問 15-b.

この質問は、問 14 で、「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「おばあさん・ひいおばあさん」「おじいさん・ひいおじいさん」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65才以上)
介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)
認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)
身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)
知的障害のため
こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
その他の病気やけがのため
日本語が苦手なため
その他

問 15-c.

この質問は、問 14 で、「お兄さん・お姉さん」「弟・妹」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「お兄さん・お姉さん」「弟・妹」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としてい

ますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

幼いため
 介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)
 身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)
 知的障害のため
 病気のため
 日本語が苦手なため
 その他

問 15-d.

この質問は、問 14 で、「その他」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

その人は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65 才以上)
 幼いため
 介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)
 認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)
 身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)
 知的障害のため
 こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
 依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)
 その他の病気やけがのため
 日本語が苦手なため
 その他

問 16.

あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家事 (食事の用意や片付け, そうじ, 服の洗濯(せんたく), 買い物など)
 きょうだいのお世話や送り迎(むか)え
 お風呂(ふろ)・トイレの手伝い
 買い物や散歩にいっしょに行く
 病院へいっしょに行く
 話を聞く
 見守り
 通訳 (日本語が苦手な人のために通訳したり, 耳が不自由な人へ手話で通訳をするが

苦手な人のために通訳したり，耳が不自由な人へ手話で通訳をする)
家のお金の管理 (生活に必要なお金を預かっている・使い道を考えたり，買い物をするなど)
薬の管理 (薬を飲んだか，多く飲んでないかなどを確かめたり，手助けをする)
その他

問 17.

あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

お母さん お父さん おばあさん・ひいおばあさん
おじいさん・ひいおじいさん お兄さん・お姉さん 弟・妹
しんせきの人 自分のみ 福祉(ふくし)サービスの人 (ヘルパーさんなど)
その他

問 18.

あなたはお世話を何歳の時からしていますか。

※はっきりと分からない場合は，大体の年で答えてください。

※分からない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

(自由記述)

問 19.

あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

お母さん お父さん おばあさん・ひいおばあさん
おじいさん・ひいおじいさん お兄さん・お姉さん 弟・妹
しんせきの人 自分のみ 福祉(ふくし)サービスの人 (ヘルパーさんなど)
その他

問 20.

あなたは1日のうち，何時間くらいお世話をしていますか。

※日によってちがう場合は，この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※分からない・答えたくない場合は「0」と入力してください。”

(自由記述)

問 21.

お世話をしていることで，以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校に行きたいのに休んでしまう
遅刻や早退をしてしまう
宿題など，勉強をする時間がない
眠る時間がたりない
友だちとあそぶことができない

塾や習い事，クラブ活動，部活動ができない
 将来や進路のことを考えられない
 自分の時間がとれない
 特にない
 その他

問 22.

お世話をすることに大変さを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

(答えはいくつでも)

体力の面で大変 気持ちの面で大変
 時間の余裕がない (もっと自分のための時間がほしい)
 特に大変さは感じていない

問 23.

あなたがお世話をしている家族のことや，お世話の悩(なや)みをだれかに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

ある ない

問 24.

問 23 で，お世話をしている家族のことや，お世話の悩(なや)みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。

それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家族 (母親，父親，祖母，祖父，兄弟)
 しんせき (おじ，おば など)
 友だち
 学校の先生 (保健室の先生以外)
 保健室の先生
 スクールソーシャルワーカー
 病院の先生や看護師，その他病院の人
 ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉(ふくし)サービスの人
 市役所や保健センターの人
 近所の人
 SNS で知り合った人 (ツイッターや LINE・インターネットなどで知り合った人)

問 25.

問 25 と問 26 は，問 23 で，お世話をしている家族のことや，お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

だれかに相談するほどの悩みではないから
 だれに相談をするのがよいかわからないから

相談できる人がいないから
家族のことは話しにくいから
家族のことを知られたくないから
家族のことを変な目で見られたくないから（親が何もしない、といったように、親を悪く思われたくないなど）
相談をしても何も変わらないから
その他

問 26.

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人にはいますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

いる いない

問 27.

学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも) ”

自分の今の状況について話を聞いてほしい
家族のお世話について相談にのってほしい
家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
自分が行っているお世話の全てをだれかに代わってほしい
自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい ※具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。→
自由に使える時間がほしい
進路や就職など将来の相談にのってほしい
勉強を教えてほしい お金の面で助けてほしい
その他

問 28.

問 27 で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも) ”

直接会って話したい 電話 SNS ※ツイッターや LINE・インターネットなど
電子メール その他

④ヤングケアラーについて

ヤングケアラーについての質問です。ヤングケアラーとは、大人がやると考えられているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響(えいきょう)が出てしまうことがあります。たとえば、次のような子どもです。

問 29.

「ヤングケアラー」という言葉を、これまでに聞いたことがありましたか。あてはまるものの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★”

聞いたことがあります、内容も知っている
聞いたことはあるが、よく知らない
聞いたことはない

問 30.

問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあります、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

テレビや新聞, ラジオ	雑誌や本	
SNS ※ツイッターや LINE・インターネットなど		
広告やチラシ, 掲示物(けいじぶつ)		
イベントや交流会など	学校	友だちや知り合いから聞いた
その他		

問 31.

あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

あてはまる	あてはまらない	わからない・答えたくない
-------	---------	--------------

問 32.

家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、必要だと思うこと、学校や周りの人にしてもらいたいこと、このアンケートへの感想、悩みや市役所にやってほしいことなど、何でも入力してください。

(自由に入力してください) ”

3 高校生世代調査内容

【調査依頼葉書文面】

高校生世代の生活についてのアンケート調査ご協力をお願い

皆さまには、日頃から、市の取組にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。このたび、市では高校生世代を対象に、普段の生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などを調べるためのアンケートを実施することになりました。

皆さんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。

このアンケートは、あなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。

アンケートは、インターネットのサイトを通じて行います。スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで次ページに印刷されているQRコードを読み取るかURLを検索窓に入力すると、回答のためのページが表示されます。

皆さまのご協力をお願いします。

①あなたのことについて教えてください。

問 1.

今のあなたは以下のどれですか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

高校1年生	高校2年生	高校3年生	働いている	その他
-------	-------	-------	-------	-----

問 2.

あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

男	女	その他
---	---	-----

問 3.

今、一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「人数も入力してください」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

(答えはいくつでも)

母	父	祖母・曾祖母 (ひいおばあさん)	祖父・曾祖父 (ひいおじいさん)
兄・姉	人数も入力してください→		
弟・妹	人数も入力してください→		
その他	人数も入力してください→		

問 4.

あなたの健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
----	------	-----	---------	------

②ふだんの生活について教えてください。

問 5.

あなたは、学校や仕事に行けないことがありますか。あてはまるもの1つにチェックをし

てください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 6.

あなたは、学校や仕事に遅刻することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 7.

あなたは、学校や仕事を早退することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 8.

授業や仕事の後に、部活動や塾、習い事、クラブ活動などをしていきますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

はい いいえ あてはまらない

問 9.

普段の生活において、あてはまるものはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

授業中・仕事中に寝てしまうことが多い
宿題ができていないことが多い
持ち物の忘れ物が多い
部活動や塾、習い事、クラブ活動等を休むことが多い
提出物を出すのが遅れることが多い
修学旅行などの宿泊行事を休む
保健室で過ごすことが多い
学校・職場では1人で過ごすことが多い
友だちと遊んだり、おしゃべりする時間が少ない
特にない

問 10.

今、悩んでいることや困っていることはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

友だちとのこと 学校・仕事のこと 進路・将来のこと
クラブ活動、部活動のこと 塾、習い事のこと
生活にかかるお金のこと (食費や病院にかかるお金、電気・ガス・水道代など)
学校でかかるお金のこと (給食費や教科書代など)

自分と家族の関係のこと
 自分以外の家庭内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど)
 病気や障害のある家族のこと
 自分のために使える時間が少ない (遊んだり勉強をする時間など特にない)

問 11.

問 10 のような「悩み」や「困っていること」があるとき、相談をしたり、話を聞いてくれる人が近くにいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

相談相手や話を聞いてくれる人がいる 相談相手や話を聞いてくれる人がいない

問 12.

「悩み」や「困っていること」について、相談できるところを知っていますか。知っているもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の先生 スクールソーシャルワーカー、ユースソーシャルワーカー
 子ども家庭支援センターすこやか 調布市子ども・若者総合支援事業「ここあ」
 教育相談所 児童館・青少年ステーション CAPS
 民生委員・児童委員 児童相談所 市役所
 ひとつも知らない その他

③家族やお家のことについて教えてください。

問 13.

家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。(ここで言う「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)

★

いる いない

問 14.

問 14 から問 28 までは、問 13 で、家族の中に、あなたがお世話をしている人が「いる」と答えた人にお聞きします。

あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

母 → 問 15-a へ 父 → 問 15-a へ
 祖母・曾祖母 (ひいおばあさん) → 問 15-b へ
 祖父・曾祖父 (ひいおじいさん) → 問 15-b へ
 きょうだい → 問 15-c へ その他 → 問 15-d へ

問 15-a.

この質問は、問 14 で、「母」「父」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「母」「父」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチ

エックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65才以上)

介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため(うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他

問 15-b.

この質問は、問 14で、「祖母・曾祖母(ひいおばあさん)」「祖父・曾祖父(ひいおじいさん)」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「祖母・曾祖母(ひいおばあさん)」「祖父・曾祖父(ひいおじいさん)」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65才以上)

介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている)

身体障害のため (足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。)

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他

問 15-c.

この質問は、問 14で、「きょうだい」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「きょうだい」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

幼いため

介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。)

身体障害のため (足や体が自由に動かない, 目や耳が不自由など)
知的障害のため
病気のため
日本語が苦手なため
その他

問 15-d.

この質問は, 問 14 で, 「その他」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

その人は, どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢のため (65 才以上)
幼いため
介護が必要 (ここで言う「介護」とは, 食事や身の回りのお世話などをすることです。)
認知症のため (ものをおぼえたり考えたりする力が弱くなって, 今までどおり生活ができなくなってしまっている)
身体障害のため (足や体が自由に動かない, 目や耳が不自由など)
知的障害のため
こころの病気のため(うつ病など。そうかもしれない場合も, チェックをしてください。)
依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず, 生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も, チェックをしてください。)
その他の病気やけがのため
日本語が苦手なため その他

問 16.

あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家事 (食事の用意や片付け, そうじ, 服の洗濯(せんたく), 買い物など)
きょうだいのお世話や送り迎(むか)え
お風呂(ふろ)・トイレの手伝い
買い物や散歩にいっしょに行く
病院へいっしょに行く
話を聞く
見守り
通訳 (日本語が苦手な人のために通訳したり, 耳が不自由な人へ手話で通訳をする)
家のお金の管理 (生活に必要なお金を預かっている・使い道を考えたり, 買い物をするなど)
薬の管理 (薬を飲んだか, 多く飲んでないかなどを確かめたり, 手助けをする)
その他

問 17.

あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。あてはまるもの全てにチェックをして

ください。

(答えはいくつでも)

母 父	祖母・曾祖母 (ひいおばあさん)	祖父・曾祖父 (ひいおじいさん)
きょうだい	親戚の人	自分のみ
その他	福祉サービスの人	(ヘルパーさんなど)

問 18.

あなたはお世話を何才の時からしていますか。

※はっきりと分からない場合は、大体の年で答えてください。

※分からない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

(自由記述)

問 19.

あなたはどれくらいお世話をしていますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほぼ毎日	週に3~5日	週に1~2日	1か月に数日	その他
------	--------	--------	--------	-----

問 20.

あなたは1日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。

※日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※分からない・答えたくない場合は「0」と入力してください。”

(自由記述)

問 21.

お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校・仕事に行きたいのに休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう
宿題や資格取得など、勉強をする時間がない	眠る時間がたりない
友だちとあそぶことができない	塾や習い事、クラブ活動、部活動ができない
将来や進路のことを考えられない	自分の時間がとれない
仕事に集中できない	特になし
その他	

問 22.

お世話をすることに大変さを感じていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

体力の面で大変	気持ちの面で大変
時間の余裕がない	(もっと自分のための時間がほしい)
特に大変さは感じていない	

問 23.

あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことはありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

ある ない

問 24.

問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。

それはだれですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家族 (母親, 父親, 祖母, 祖父, 兄弟) 親戚 (おじ, おば など)
友だち 学校の先生 (保健室の先生以外) 保健室の先生・健康相談室の人
職場の上司や同僚 スクールソーシャルワーカー
病院の先生や看護師, その他病院の人
ヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービスの人
市役所や保健センターの人
近所の人 その他

問 25.

問 25 と問 26 は、問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

誰かに相談するほどの悩みではないから 誰に相談をするのがよいかわからないから
相談できる人がいないから 家族のことは話しにくいから
家族のことを知られたくないから
家族のことを変な目で見られたくないから (親が何もしない, といったように, 親を悪く思われたくないなど)
相談をしても何も変わらないから
その他

問 26.

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをもしあなたが相談すれば聞いてくれる人はいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

いる いない

問 27.

学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

自分の今の状況について話を聞いてほしい
家族のお世話について相談にのってほしい
家族の病気や障害, お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
自分が行っているお世話の全てをだれかに代わってほしい
自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい※具体的にどんなお世話, もしくはどんな時ですか。→

自由に使える時間がほしい
 進路や就職など将来の相談にのってほしい
 勉強を教えてほしい
 お金の面で助けてほしい
 その他
 特にない

問 28.

問 27 で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

直接会って話したい 電話 SNS (ツイッターや LINE・インターネットなど)
 電子メール その他

④ヤングケアラーについて

ヤングケアラーについての質問です。ヤングケアラーとは、大人がやると考えられているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響(えいきょう)が出てしまうことがあります。たとえば、次のような子どもです。

(イラスト)

問 29.

「ヤングケアラー」という言葉を、これまでに聞いたことがありましたか。あてはまるものの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

聞いたことがあり、内容も知っている
 聞いたことはあるが、よく知らない
 聞いたことはない

問 30.

問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

テレビや新聞, ラジオ 雑誌や本
 SNS (ツイッターや LINE・インターネットなど)
 広告やチラシ, 掲示物(けいじぶつ)
 イベントや交流会など 学校
 友だちや知り合いから聞いた その他

問 31.

あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。あてはまるもの1つにチェック

をしてください。

(答えは1つ)

あてはまる	あてはまらない	分からない・答えたくない
-------	---------	--------------

問 32.

家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、必要だと思うこと、学校や周りの人にしてもらいたいこと、このアンケートへの感想、悩みや市役所にやってほしいことなど、何でも入力してください。

(自由に入力してください)

(自由記述)

4 大学生世代調査内容

【調査依頼葉書文面】

大学生世代の生活についてのアンケート調査ご協力をお願い

皆さまには、日頃から、市の取組にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、市では大学生世代を対象に、普段の生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などを調べるためのアンケートを実施することになりました。

皆さんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。

このアンケートは、あなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。

アンケートは、インターネットのサイトを通じて行います。スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで次ページに印刷されているQRコードを読み取るかURLを検索窓に入力すると、回答のためのページが表示されます。

皆さまのご協力をお願いします。

①あなたのことについて教えてください。

問 1.

あなたの性別について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

男	女	その他または答えたくない
---	---	--------------

問 2.

あなたの年齢を教えてください。

(年齢を数字で入力してください) ”

(自由記述)

問 3.

現在の住まい方を教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

家族と同居	→ 問 3-a へ	一人暮らし(シェアハウスを含む)	寮	その他
-------	-----------	------------------	---	-----

問 3-a.

一緒に住んでいるのは誰ですか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。「人数も入力してください」と書かれているものは、何人いるか入力してください。

(答えはいくつでも)

母親	父親	祖母・曾祖母	祖父・曾祖父
兄・姉	人数も入力してください→	弟・妹	人数も入力してください→
その他の人	人数も入力してください→		

問 4-a.

あなたの身体面の健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
----	------	-----	---------	------

問 4-b.

あなたの精神面の健康状態について教えてください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

よい まあよい ふつう あまりよくない よくない

②ふだんの生活について教えてください。

問 5.

あなたの属性をお答えください。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ) ★

大学生 → 問 6 へ 専修学校・専門学校生（予備校を含む） → 問 6 へ
常勤の仕事についている パート・アルバイトなど
無職・休職中 その他

問 6.

学生の方にお聞きします。

日々の生活においてこれらに取り組む時間を希望通りに確保できていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の授業の受講(ゼミを含む) 学校の授業の予習復習, 課題に取り組む時間
部活・サークル アルバイトや仕事
就職活動(説明会, インターンへの応募・参加を含む) 趣味・娯楽・交友

問 7-a.

学校や職場へ行けない事がありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 7-b.

学校や職場に遅刻することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 7-c.

学校や職場を早退することがありますか。あてはまるもの1つにチェックをしてください。

(答えは1つ)

ほとんどない たまにある よくある

問 8.

普段の生活で、下に挙げたようなことはありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

課題や予習復習ができていないことが多い
持ち物の忘れ物が多い
部活・サークル等を休むことが多い
提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い

合宿等の行事を欠席する
 学校や職場ではひとりで過ごすことが多い
 友人と遊んだり，話したりする時間が少ない
 特にない

問 9.

皆さんにお聞きします。

現在「悩み」や「困っていること」はありますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

友人との関係のこと 学業成績のこと 就職・進路のこと
 職場の人間関係のこと 部活動・サークル活動のこと
 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと 課外活動や習い事ができないこと
 アルバイト・仕事のこと 家庭の経済的状況のこと 自分と家族の関係のこと
 家族内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど)
 病気や障害のある家族のこと 自分のために使える時間が少ないこと
 その他

問 10.

問 9 のような「悩み」や「困っていること」があるとき，相談をしたり，話を聞いたりしてくれる人がいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

相談相手や話を聞いてくれる人がいる 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
 相談や話はしたくない

③ 家族やお家のことについて教えてください。

問 11.

家族の中に，あなたがお世話をしている人はいますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ) ★

現在いる 現在はいないが，過去にいた 現在も過去もない

問 12-a.

問 12 から問 28 は問 11 で，「現在いる」「現在はいないが，過去にいた」と答えた人にお聞きします。

あなたはお世話をいつから行っていますか。(はっきりと分からない場合は，だいたいでも構いません。) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

小学校就学以前から → 問 12-b へ
 小学校低学年 (1~3 年生) から → 問 12-b へ
 小学校高学年 (4~6 年生) から → 問 12-b へ
 中学生から → 問 12-b へ
 高校生から → 問 12-b へ

大学等の入学や就職以降

問 12-b.

この質問は、問 12-a で、「大学等への入学や就職以降」と回答した方以外にお聞きします。お世話をしていることで、大学等への進学や就職の際に苦労したこと・影響を教えてください。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

受験勉強をする時間が取れなかった
学費等の制約や経済的な不安があった
実家から通える範囲等の通学・通勤面の制約があった
家族等から世話を優先するよう求められた
進学するか働くか迷った
大学以外の進学先と迷った
その他
特にない

問 12-c.

この質問は、問 11 で、「現在はいないが、過去にいた」と答えた人にお聞きします。いつまでお世話をしていましたか。(はっきりと分からない場合は、だいたいでかまいません。) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

中学入学以前まで 高校入学以前まで 大学入学以前まで
大学等の入学や就職まで 直近まで(上記以降) その他

問 13.

あなたはそのお世話をだれと一緒にしていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

母親 父親 祖母・曾祖母 祖父・曾祖父
きょうだい 親戚の人 自分ひとり 福祉サービスの人 (ヘルパーさんなど)
その他(詳しく記入してください)

問 14.

あなたはどれくらいお世話をしていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

ほぼ毎日 週に 3~5 日 週に 1~2 日 1 か月に数日 その他

問 15.

あなたは 1 日のうち、何時間くらいお世話をしていますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください)

※日によってちがう場合は、この 1 か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

※分からない・答えたくない場合は「0」と入力してください。

(自由記述)

問 16.

あなたがお世話をしている人はだれですか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

母親 → 問 16-a へ	父親 → 問 16-a へ
祖母・曾祖母 → 問 16-b へ	祖父・曾祖父 → 問 16-b へ
きょうだい → 問 16-c へ	
その他の人(どんな人かを記入してください) → 問 16-d へ	

問 16-a.

この質問は、問 16 で、「母親」「父親」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。「母親」「父親」は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢(65歳以上)のため 介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。) 認知症のため (ものを覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている) 身体障害のため (手足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など) 知的障害のため こころの病気のため (うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。) 依存症のため (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。) その他の病気やけがのため 日本語が苦手なため その他(詳しく記入してください)
--

問 16-b.

この質問は、問 16 で、「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「祖母・曾祖母」「祖父・曾祖父」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢(65歳以上)のため 介護が必要 (ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。) 認知症のため (ものを覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている) 身体障害のため (手足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など)

知的障害のため

こころの病気のため（うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。）

依存症のため（お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。）

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他（詳しく記入してください）

問 16-c.

この質問は、問 16 で、「きょうだい」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

「きょうだい」は、どのような理由でお世話を必要(ひつよう)としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

幼いため（小さいため）

介護が必要（ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。）

身体障害のため（手足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など）

病気のため

日本語が苦手なため

その他（詳しく記入してください）

問 16-d.

この質問は、問 16 で、「その他の人」のお世話をしていると答えた人にお聞きします。

その人は、どのような理由でお世話を必要としていますか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

高齢(65歳以上)のため

幼いため（小さいため）

介護が必要（ここで言う「介護」とは、食事や身の回りのお世話などをすることです。）

認知症のため（ものを覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおり生活ができなくなってしまっている）

身体障害のため（手足や体が自由に動かない、目や耳が不自由など）

知的障害のため

こころの病気のため（うつ病など。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。）

依存症のため（お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている。そうかもしれない場合も、チェックをしてください。）

その他の病気やけがのため

日本語が苦手なため

その他（詳しく記入してください）

問 17.

あなたはどのようなお世話をしていますか。（問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と

回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家事 (食事の準備やそうじ, 洗濯(せんたく)など)
 きょうだいの世話や保育所等への送迎など
 身体的な介護 (入浴やトイレ, 食事のお世話など)
 外出の付き添い (買い物, 散歩など)
 通院の付き添い
 感情面のサポート (愚痴を聞く, 話相手になるなど)
 見守り
 通訳(日本語や手話など)
 金銭管理 (生活に必要なお金を預かっている・使い道を考えたり, 買い物をするなど)
 薬の管理 (薬を飲んだか, 多く飲んでないかなどを確かめたり, 手助けをする)
 家計を助ける (働く)
 その他 (詳しく記入してください)

問 18.

お世話をしていることで、やりたかったがあきらめたことはありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の授業や仕事に行きたくても行けなかった
 単位をとれなかった, 留年・休学した
 課題・予習復習をする時間が取れなかった
 留学をあきらめた
 睡眠が十分に取れなかった
 友人と遊ぶことができなかった
 部活・サークル・課外活動・習い事等ができなかった, もしくは辞めざるを得なかった
 アルバイトができなかった
 就職・進路の変更を考えざるを得なかった, 変更した
 一人暮らしをしたくてもできなかった
 恋愛をしたくてもできなかった
 自分の時間がとれなかった
 仕事をやめた
 その他

問 19.

お世話をしていることで、今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことはありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

学校の授業や仕事に行きたくても行けない

単位取得，進級・卒業できるか不安がある
課題・予習復習をする時間が取れない
留学に行けない
仕事に専念できない
睡眠が十分に取れない
友人と遊ぶことができない
部活や習い事ができない
アルバイトができない
就職活動の時間が取れない
希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない
一人暮らしができるか不安がある
恋愛・結婚に対する不安がある
その他

問 20.

お世話をしていることで，就職や転職に関し不安はありますか。（問 11 で「現在はいないが，過去にいた」と回答した人は，当時のことを回答してください）あてはまるもの全てにチェックをしてください。

（答えはいくつでも）

正社員として就職できるか不安がある 休まず働けるか不安がある
通勤できる地域が限られる 働ける時間帯が限られる
就職先について考える時間がない その他
分からない 特にない

問 21.

お世話をすることにきつさを感じていますか。（問 11 で「現在はいないが，過去にいた」と回答した人は，当時のことを回答してください）あてはまるもの全てにチェックをしてください。

（答えはいくつでも）

身体的にきつい 精神的にきつい 時間的余裕がない
特にきつさは感じていない

問 22.

ご自身がお世話をする理由をどのようにとらえていますか。（問 11 で「現在はいないが，過去にいた」と回答した人は，当時のことを回答してください）あてはまるもの全てにチェックをしてください。

（答えはいくつでも）

自分がお世話をしたいと思うため 自分がお世話をしないと家族が困るため
ほかにお世話をできる人がいないため
ほかの家族や親せき等から世話をしよう言われているため
その他 分からない・考えたことがない

問 23.

あなたがお世話をしている家族のことや，お世話の悩みをだれかに相談したことはありま

すか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ) ★

ある	ない
----	----

問 24.

問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ある」と答えた人にお聞きします。

それはだれですか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

家族 (父, 母, 祖父, 祖母, きょうだい)	親戚 (おじ, おばなど)
友人	交際相手, 配偶者
学校の教員	
学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他学校の職員・機関
医師や看護師, その他病院の人	
ホームヘルパーやケアマネジャー, 福祉サービスの人	
役所の人 (自治体の保健センター等含む)	
近所の人	SNS 上での知り合い
その他	

問 25.

問 23 で、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことが「ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

誰かに相談するほどの悩みではない
家族外の人に相談するような悩みではない
誰に相談するのがよいかわからない
相談できる人が身近にいない
家族のここのため話しにくい
家族のことを知られたくない
家族に対して偏見を持たれたくない
相談しても状況が変わると思わない
その他

問 26.

お世話をしている家族のことや、もしあなたが相談すればお世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

いる	いない
----	-----

問 27.

学校や職場の周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

自分のいまの状況について話を聞いてほしい → 問 28 へ
家族のお世話について相談にのってほしい → 問 28 へ
家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい ※具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか⇒
自由に使える時間がほしい
進路や就職など将来の相談にのってほしい
学校の勉強や学習のサポート
家庭への経済的な支援
学費への支援・奨学金等
その他 特にない 分からない

問 28.

問 27 で「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのようなやり方で話や相談をしたいですか。(問 11 で「現在はいないが、過去にいた」と回答した人は、当時のことを回答してください) あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

直接会って話したい	電話
SNS (ツイッターや LINE・インターネットなど)	
電子メール	その他

④ヤングケアラーについて

ヤングケアラーについての質問です。ヤングケアラーとは、大人がやると考えられているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響(えいきょう)が出てしまうことがあります。たとえば、次のような子どもです。

(イラスト)

問 29.

「ヤングケアラー (または若者ケアラー)」という言葉を知っていますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ) ★

聞いたことがあります、内容も知っている	聞いたことはあるが、よく知らない
聞いたことはない	

問 30.

問 29 で「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるもの全てにチェックをしてください。

(答えはいくつでも)

テレビや新聞, ラジオ	雑誌や本
SNS (ツイッターや LINE・インターネットなど)	
広告やチラシ, 掲示物	イベントや交流会など
学校や職場	友人・知人から聞いた
	その他

問 31.

あなた自身は「ヤングケアラー (または若者ケアラー)」にあてはまると思いますか。あてはまるもの 1 つにチェックをしてください。

(答えは 1 つ)

現在あてはまる	現在はあてはまらないが、かつてはあてはまったと思う
あてはまらない	分からない

問 32.

ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや要望などを自由に記述してください。

(自由に入力してください)

登録番号
(刊行物番号)
2022-266

調布市子どもの生活実態に関する調査報告書

発行日 令和5年3月
発行 調布市
編集 子ども生活部子ども政策課
〒182-8511
調布市小島町2-35-1
042-481-7757